



J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2019 SUMMARY REPORT



# J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2019 SUMMARY REPORT

Jリーグ スタジアム観戦者調査2019 サマリーレポート





# Contents

● 調査結果の要約  
Executive Summary 2

● 調査の概要  
Outline of Survey 3

● Jリーグとコミュニティ  
J.League and the Community  
社会貢献の評価 5

● 観戦者のプロフィール  
Sample Profile  
性別 11  
年齢 14  
居住地 21  
自由裁量所得 23  
観戦歴 24  
サポーター歴 25

● スタジアム観戦の動機  
Fan Motivation  
観戦の動機やきっかけ 27  
チームアイデンティフィケーション 32  
スタジアム観戦についての勧誘行動 33  
スタジアム観戦についての被勧誘行動 34  
ファンコミュニティ 36

● 観戦行動の特徴  
Fan Behavior  
観戦頻度 38  
アクセス時間 47  
同伴者 50  
情報入手経路 59  
チケット入手方法 61  
● J3調査の要約  
Executive Summary of J3 62

● 付録  
Appendix 72



**[調査時期]** 2019年4月20日～9月15日  
**[調査対象]** スタジアム観戦者、11歳以上の男女個人：24,070名  
**[調査方法]** スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法  
**[回収状況]** 有効回収数：23,189票

## 調査結果の要約 Executive Summary

### ■ 調査概要

調査の対象は、55クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、24,070名とし、23,189票(有効回収率:96.3%)の有効回答を得た。調査の時期は、2019年4月20日から9月15日であった。

### ■ Jリーグと地域社会

Jリーグと地域社会との関係については、ホームタウンにおいて重要な役割(85.5%)を果たしている、ホームタウンへ大きな貢献(82.7%)、若い人たちの生活にいい影響(78.7%)をしているという意見が支持されており、肯定的な評価が目立った。

### ■ 観戦者のプロフィール

観戦者の平均年齢は42.8歳で、男性の割合は62.4%であった。クラブの活動区域内に居住する割合は86.3%、自由に使えるお小遣いの平均は、1ヶ月あたり36,100円であった。

### ■ 観戦の特徴

年間の観戦頻度の平均は、J1来場者は11.0回、J2は14.3回であった。スタジアムまでの平均所要時間は52.2分であり、二人で来場する人が45.4%、家族と来場する人が54.3%であった。また、10年以上、特定のクラブのサポーターである層は48.6%であった。

### ■ チケット

シーズンチケット購入している割合は46.4%であった。

### ■ 観戦動機と勧誘行動

好きなクラブの応援のために、およびサッカー観戦が好きだから、などが主な観戦の動機となっていた。周囲を勧誘に誘うとした割合は57.9%、周囲から観戦を誘われるとした割合は37.0%であった。

Jリーグと地域社会	
Jクラブは地域で重要な役割	85.5%
Jクラブは地域に大きく貢献	82.7%
サッカーは若い人たちにいい影響	78.7%
Jリーガーは社会の模範	69.3%

観戦者のプロフィール		
年齢	平均年齢	42.8歳(36.7歳 ※同伴来場の子どもの含めた場合)
	年齢層	40代(26.9%)を中心に50代(20.5%)と30代(16.8%)が続く
性別	男性構成比	62.4%
居住地	活動区域内居住率	86.3%
自由裁量所得	月額平均	36,100円

観戦の特徴		
観戦頻度	J1平均	11.0回/シーズン
	J2平均	14.3回/シーズン
アクセス	平均所要時間	52.2分
同伴者	同伴者数(平均)	(回答者含み)2.6名
	二人で来場する割合	45.4%
	家族と来場する割合	54.3%
サポーター歴	10年以上	48.6%

チケット	
シーズンチケット購入率	46.4%

観戦動機とファンコミュニティ		
観戦動機	好きなクラブの応援	平均得点4.54(5点満点)
	サッカー観戦が好き	平均得点4.53(5点満点)
勧誘行動	周囲を勧誘に誘う	57.9%
被勧誘行動	周囲から観戦を誘われる	37.0%
リアルコミュニティ	スタジアムでの仲間がいる	54.7%
ヴァーチャルコミュニティ	ネット上での仲間がいる	22.3%

協力 筑波大学体育系准教授  
 早稲田大学スポーツ科学学術院教授  
 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授  
 筑波大学体育系准教授  
 岩手大学人文社会科学部教授  
 日本福祉大学社会福祉総合研修センターコーディネーター  
 作新学院大学経営学部特任講師  
 法政大学スポーツ健康学部専任講師  
 帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科助教  
 富山大学人間発達科学部地域スポーツコース准教授  
 佐賀大学教育学部教授  
 城西大学経営学部准教授  
 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授  
 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系講師  
 岡山大学大学院教育学研究科准教授  
 日本文理大学経営経済学部経営経済学科准教授  
 大阪体育大学体育学部准教授  
 山梨学院大学現代ビジネス学部准教授  
 仙台大学スポーツ科学研究科教授  
 信州大学総合人間科学系教授  
 名城大学人間健康学部スポーツ健康学科教授  
 九州産業大学人間科学部准教授  
 新潟経営大学助教  
 北九州市立大学地域戦略研究所教授  
 静岡大学学術院教育学領域准教授  
 びわこ成蹊スポーツ大学准教授  
 筑波大学体育系非常勤研究員  
 法政大学スポーツ健康学部准教授

仲澤真  
 原田宗彦  
 藤本淳也  
 高橋義雄  
 浅沼道成  
 荒深裕規  
 石川智  
 井上尊寛  
 岩村聡  
 神野賢治  
 坂元康成  
 佐々木達也  
 佐藤充宏  
 隅野美砂輝  
 高岡敦史  
 竹田隆行  
 徳山友  
 長倉富貴  
 永田秀隆  
 橋本純一  
 平野貴也  
 福田拓哉  
 本間崇教  
 南博  
 村田真一  
 山本達三  
 吉岡那於子  
 吉田政幸

## 調査の概要 Outline of Survey

2019シーズンの来場者を対象に質問紙調査を行い、本報告書を作成した。調査の対象は、55クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、24,070名とし、23,189票(有効回収率:96.3%)の有効回答を得た。調査の時期は、2019年4月20日から9月15日であり、調査の対象となったゲームおよび会場等については、下記に示すとおりである。

対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
									有効回収数	ホームクラブ応援者	
札幌	18	7月7日	松本	札幌ド	14:03	屋内	18,663人	420	419	406	99.8%
仙台	14	6月1日	名古屋	ユアスタ	14:03	晴	12,853人	446	437	401	98.0%
鹿島	18	7月6日	磐田	カシマ	19:03	雨のち曇	17,442人	413	413	378	100.0%
浦和	24	8月23日	松本	埼玉	19:33	曇	27,038人	440	440	404	100.0%
FC東京	21	8月3日	C大阪	味スタ	19:03	晴	28,721人	451	446	380	98.9%
川崎F	20	7月27日	大分	等々力	19:03	曇	22,715人	421	416	388	98.8%
横浜FM	12	5月18日	神戸	日産ス	14:03	晴	44,210人	417	414	311	99.3%
湘南	21	8月3日	鹿島	BMWス	19:03	晴	14,237人	450	405	361	90.0%
松本	11	5月12日	札幌	サンアル	13:04	晴	16,646人	416	413	395	99.3%
清水	8	4月20日	C大阪	アイスタ	15:03	曇	11,028人	415	414	395	99.8%
磐田	22	8月11日	湘南	ヤマハ	19:03	晴	13,762人	418	414	381	99.0%
名古屋	22	8月10日	川崎F	豊田ス	19:03	晴	42,819人	446	436	295	75.3%
G大阪	19	7月13日	清水	パナスタ	19:04	雨	25,719人	500	486	439	97.2%
C大阪	20	7月20日	仙台	ヤンマー	19:03	曇	15,574人	500	493	443	98.6%
神戸	20	7月20日	横浜FM	ノエスタ	18:03	曇	20,269人	500	490	378	98.0%
広島	21	8月3日	札幌	Eスタ	19:04	晴	12,672人	500	479	442	95.8%
鳥栖	13	5月26日	鹿島	駅スタ	14:03	晴	14,130人	424	421	373	99.3%
大分	19	7月13日	札幌	昭和電ド	19:03	屋内	12,384人	500	417	408	83.4%
<b>J1計</b>							<b>8,077</b>	<b>7,753</b>	<b>6,978</b>	<b>96.0%</b>	

対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
									有効回収数	ホームクラブ応援者	
山形	16	6月2日	鹿児島	NDスタ	14:03	晴	6,808人	422	417	383	98.8%
水戸	23	7月21日	琉球	Ksスタ	18:04	曇	4,432人	418	415	370	99.3%
栃木	17	6月9日	千葉	栃木G	14:03	曇	5,663人	500	499	386	99.8%
大宮	14	5月18日	栃木	NACK	14:03	晴時々曇	9,534人	500	479	431	95.8%
千葉	27	8月10日	愛媛	フクアリ	18:03	晴	11,229人	415	415	387	100.0%
柏	26	8月4日	琉球	三協F柏	19:03	晴	8,441人	412	411	370	99.8%
東京V	23	7月20日	愛媛	味スタ	19:03	曇	4,086人	421	411	312	97.6%
町田	30	9月1日	千葉	町田	18:03	曇のち雨のち晴	4,052人	449	444	392	98.9%
横浜FC	16	6月2日	琉球	ニッパツ	14:03	曇	4,433人	447	447	358	100.0%
甲府	22	7月13日	愛媛	中銀スタ	18:03	雨	6,010人	409	407	375	99.5%
新潟	16	6月1日	甲府	デンカS	14:03	晴	12,018人	506	493	464	97.4%
金沢	30	8月31日	鹿児島	石川西部	19:03	晴	4,114人	500	478	432	95.6%
岐阜	17	6月8日	新潟	岐阜良川	15:03	晴	7,307人	500	427	403	85.4%
京都	26	8月4日	東京V	たけびし	18:03	晴れ	8,845人	473	468	364	98.9%
岡山	14	5月19日	琉球	Cスタ	17:03	曇	7,196人	450	449	416	99.8%
山口	11	4月28日	金沢	みらスタ	16:03	曇	6,605人	414	409	386	98.8%
徳島	27	8月10日	甲府	鳴門大塚	19:04	晴	4,987人	500	463	435	92.6%
愛媛	26	8月4日	岡山	ニンスタ	19:03	晴	4,556人	390	381	346	97.7%
福岡	18	6月16日	柏	レベスタ	18:03	晴	10,348人	480	440	366	91.7%
長崎	15	5月25日	徳島	トラスタ	14:03	晴のち曇	6,113人	418	416	409	99.5%
鹿児島	24	7月27日	長崎	白波スタ	19:03	晴	5,741人	419	390	359	93.1%
琉球	19	6月22日	甲府	タピスタ	18:03	雨	3,952人	428	417	366	97.4%
<b>J2計</b>							<b>9,871</b>	<b>9,576</b>	<b>8,510</b>	<b>97.0%</b>	

<b>J1 J2合計</b>	<b>17,948</b>	<b>17,329</b>	<b>15,488</b>	<b>96.6%</b>
----------------	---------------	---------------	---------------	--------------

対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
									有効回収数	ホームクラブ応援者	
八戸	14	6月30日	秋田	ダイスタ	13:03	曇のち雨	1,833人	401	398	328	99.3%
岩手	14	6月29日	北九州	いわスタ	15:03	雨	786人	285	285	215	100.0%
秋田	23	9月15日	讃岐	ソユスタ	16:03	曇のち晴	12,777人	415	413	364	99.5%
福島	11	6月9日	相模原	とうスタ	13:04	曇	1,183人	370	295	247	79.7%
群馬	13	6月23日	讃岐	正田スタ	19:03	曇時々雨	2,149人	402	385	350	95.8%
YS横浜	15	7月7日	熊本	ニッパツ	17:03	雨	1,373人	355	355	147	100.0%
相模原	20	8月10日	C大阪23	ギオンス	17:03	晴	2,385人	370	369	308	99.7%
長野	16	7月14日	鳥取	長野U	17:03	雨	2,917人	412	412	383	100.0%
富山	17	7月19日	YS横浜	富山	19:03	曇	2,212人	500	369	318	73.8%
藤枝	12	6月15日	富山	藤枝サ	17:03	雨	748人	403	397	265	98.5%
沼津	12	6月16日	秋田	愛鷹	15:03	晴	2,397人	411	408	326	99.3%
鳥取	18	7月27日	熊本	とリスタ	19:03	曇	2,857人	428	425	375	99.3%
讃岐	12	6月15日	YS横浜	ピカスタ	18:03	雨	1,120人	391	386	361	98.7%
北九州	15	7月6日	長野	ミクススタ	18:03	晴	4,820人	540	524	448	97.0%
熊本	19	8月4日	秋田	えがおS	19:03	晴	3,914人	439	439	397	100.0%
<b>J3計</b>							<b>6,122</b>	<b>5,860</b>	<b>4,832</b>	<b>95.7%</b>	

<b>J1 J2 J3合計</b>	<b>24,070</b>	<b>23,189</b>	<b>20,320</b>	<b>96.3%</b>
-------------------	---------------	---------------	---------------	--------------

# Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

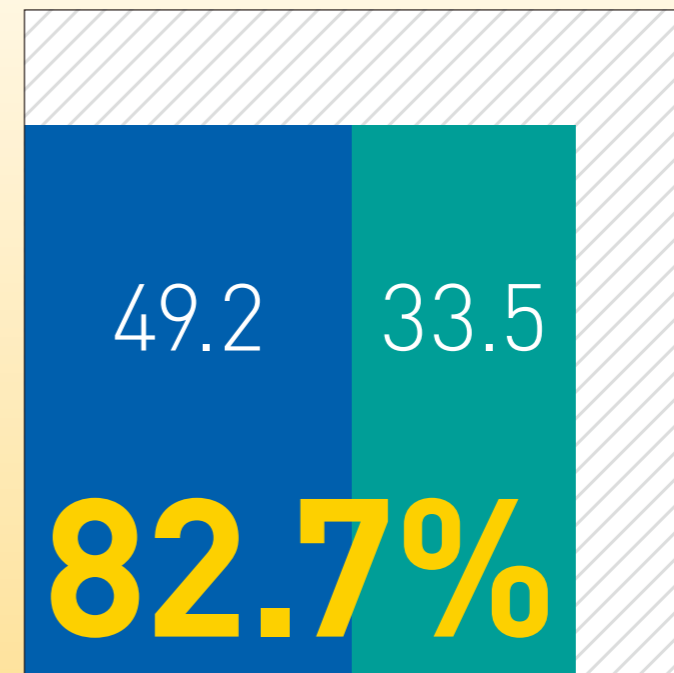
## J.League and the Community

Jリーグとコミュニティ

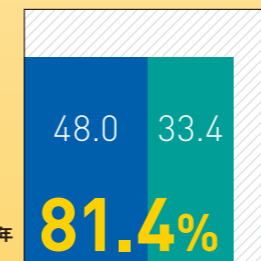


■ 大いにあてはまる ■ あてはまる

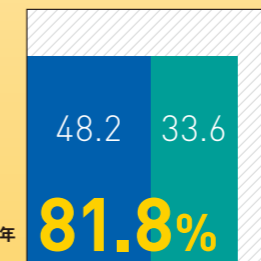
2019年



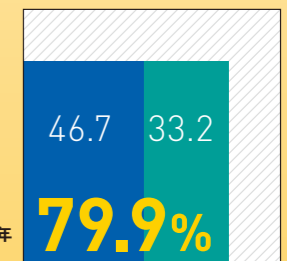
2018年



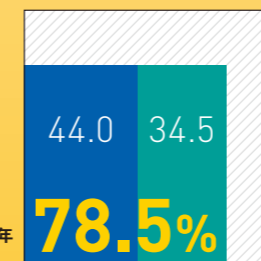
2017年



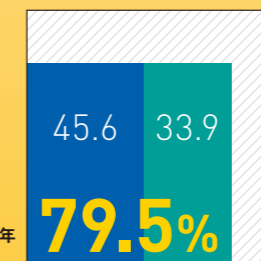
2016年



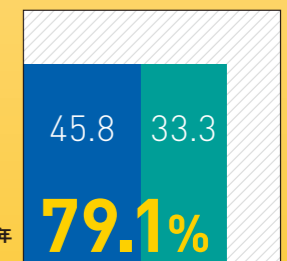
2015年



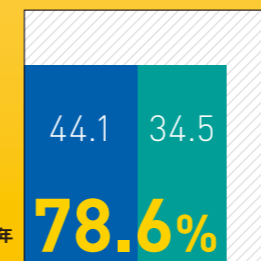
2014年



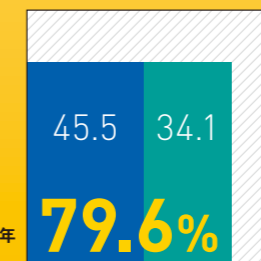
2013年



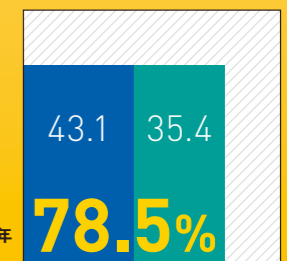
2012年



2011年



2010年

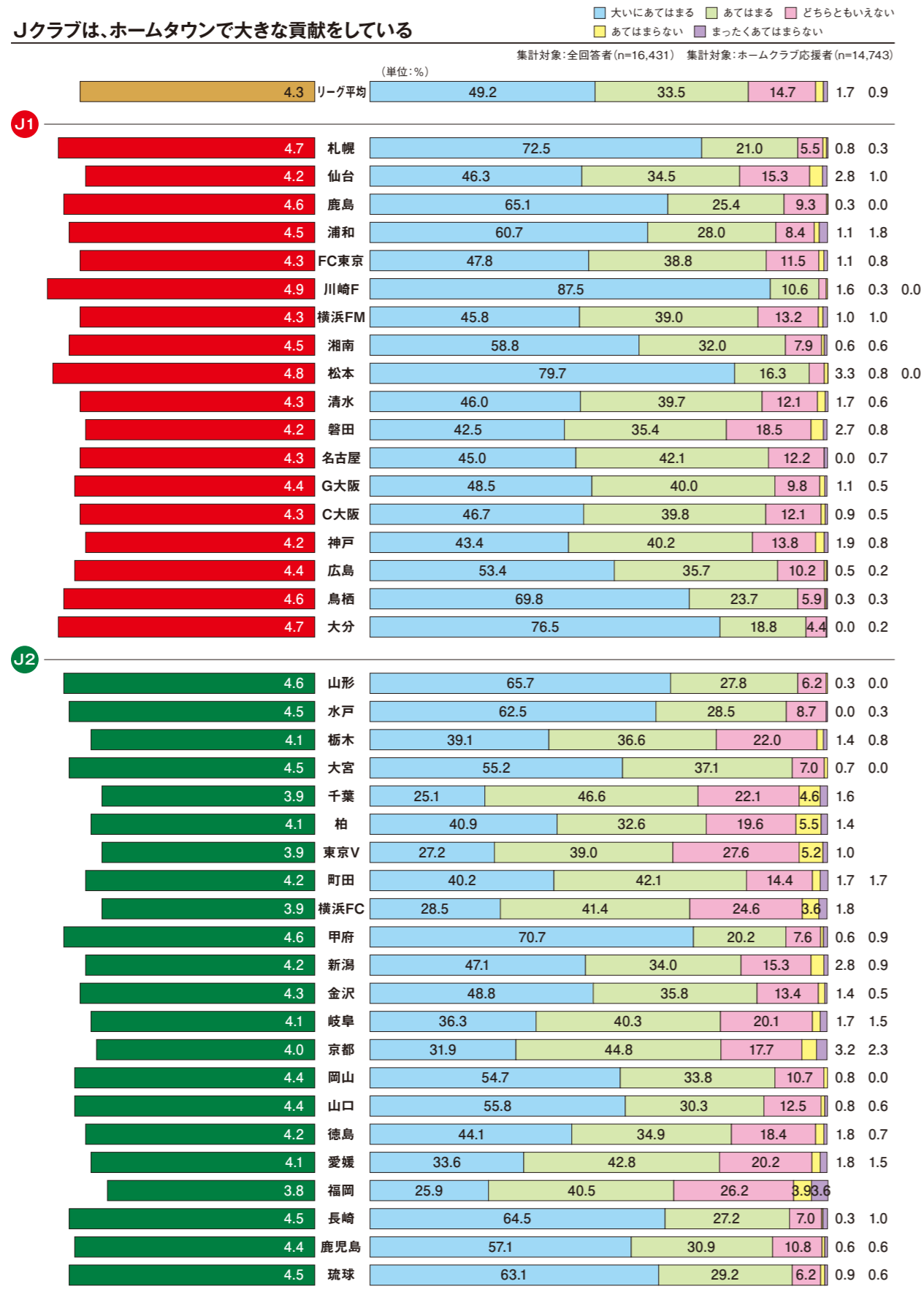




## 82.7% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブはホームタウンで貢献していると評価している。

「Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている」という見解に対して、観戦者全体の82.7% (49.2%+33.5%) が肯定的である。クラブ別に見ると、川崎Fの4.9ポイントが最も高く、松本が4.8ポイント、札幌・大分が4.7ポイントで続いている。

### Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

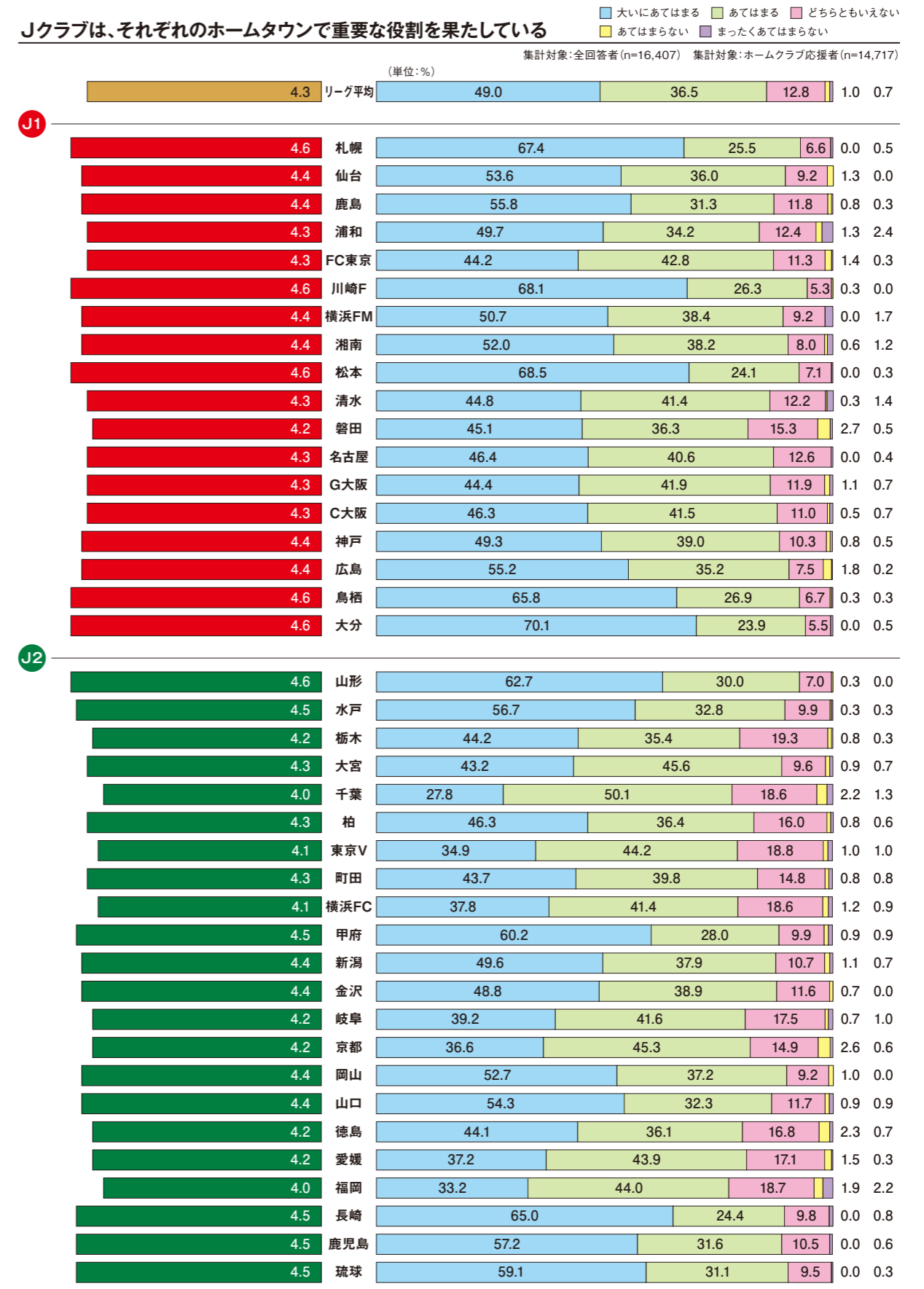


\*ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である。

## 85.5% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブが、それぞれの地域で重要な役割を果たしていると感じている。

「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の85.5% (49.0%+36.5%) が肯定的である。クラブ別に見ると、札幌・川崎F・松本・鳥栖・大分・山形の4.6ポイントが最も高くなっている。

### Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている



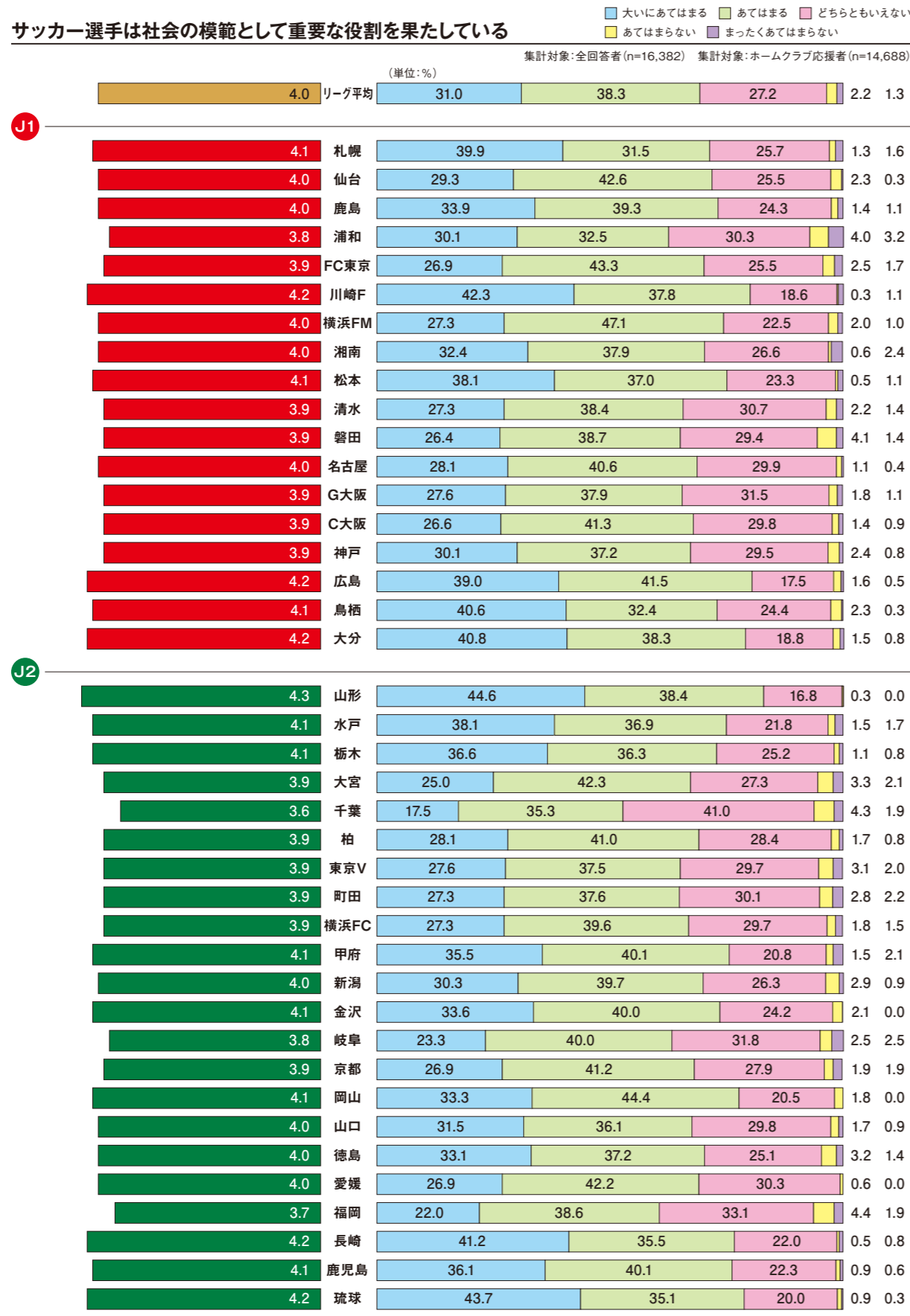
\*ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である。



## 69.3% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカー選手は社会の模範として重要であると感じている。

「サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の69.3% (31.0%+38.3%) が肯定的である。クラブ別にみると、山形(4.3ポイント)、川崎F・広島・大分、長崎・琉球(4.2ポイント)のスコアが高くなっている。

### サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている

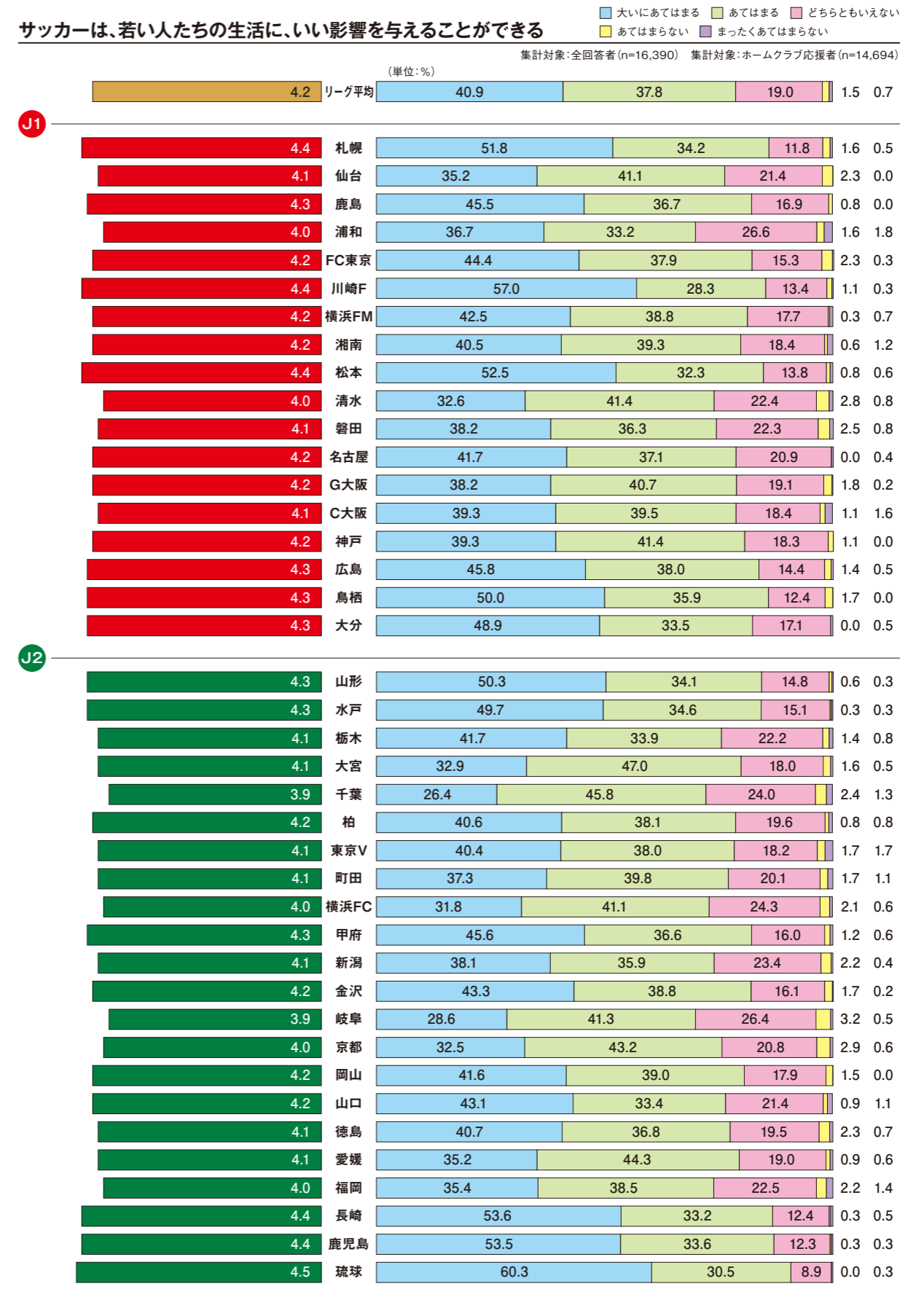


\*ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である。

## 78.7% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカーは若者にいい影響を与えていると考えている。

「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、観戦者全体の78.7% (40.9%+37.8%) が肯定的である。クラブ別にみると、琉球(4.5ポイント)、札幌・川崎F・松本・長崎・鹿児島(4.4ポイント)の観戦者の評価が高くなっている。

### サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる



\*ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である。



# Sample Profile

## 観戦者のプロフィール



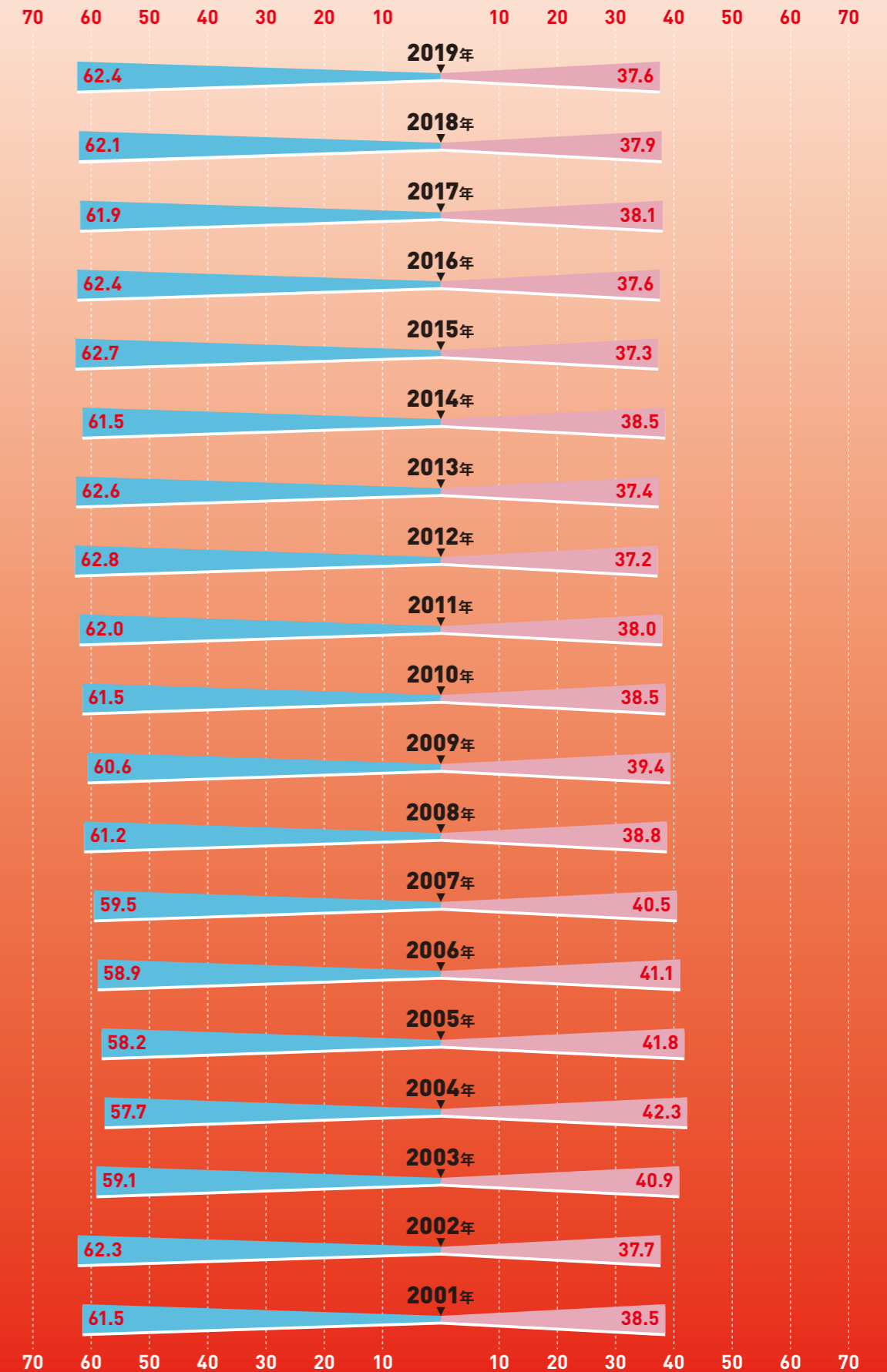
観戦者のプロフィールとして掲載された内容は、(調査対象年齢を満11歳以上としていることなど)調査方法による一定の制限を受けたものであり、「調査対象のプロフィール (sample profile)」として理解される必要がある。

## 性別 (Jリーグ平均)

■ 男性 ■ 女性

集計対象 [リーグ平均]: 全回答者

2019年 n=17,324 / 2018年 n=17,404 / 2017年 n=17,125 / 2016年 n=17,556 / 2015年 n=17,155  
2014年 n=17,234 / 2013年 n=17,253 / 2012年 n=16,711 / 2011年 n=16,457 / 2010年 n=16,359  
2009年 n=16,033 / 2008年 n=14,452 / 2007年 n=12,973 / 2006年 n=12,937 / 2005年 n=13,003  
2004年 n=12,131 / 2003年 n=11,633 / 2002年 n=19,270 / 2001年 n=7,390





## 女性比は4割弱で推移、長崎は女性比が5割超

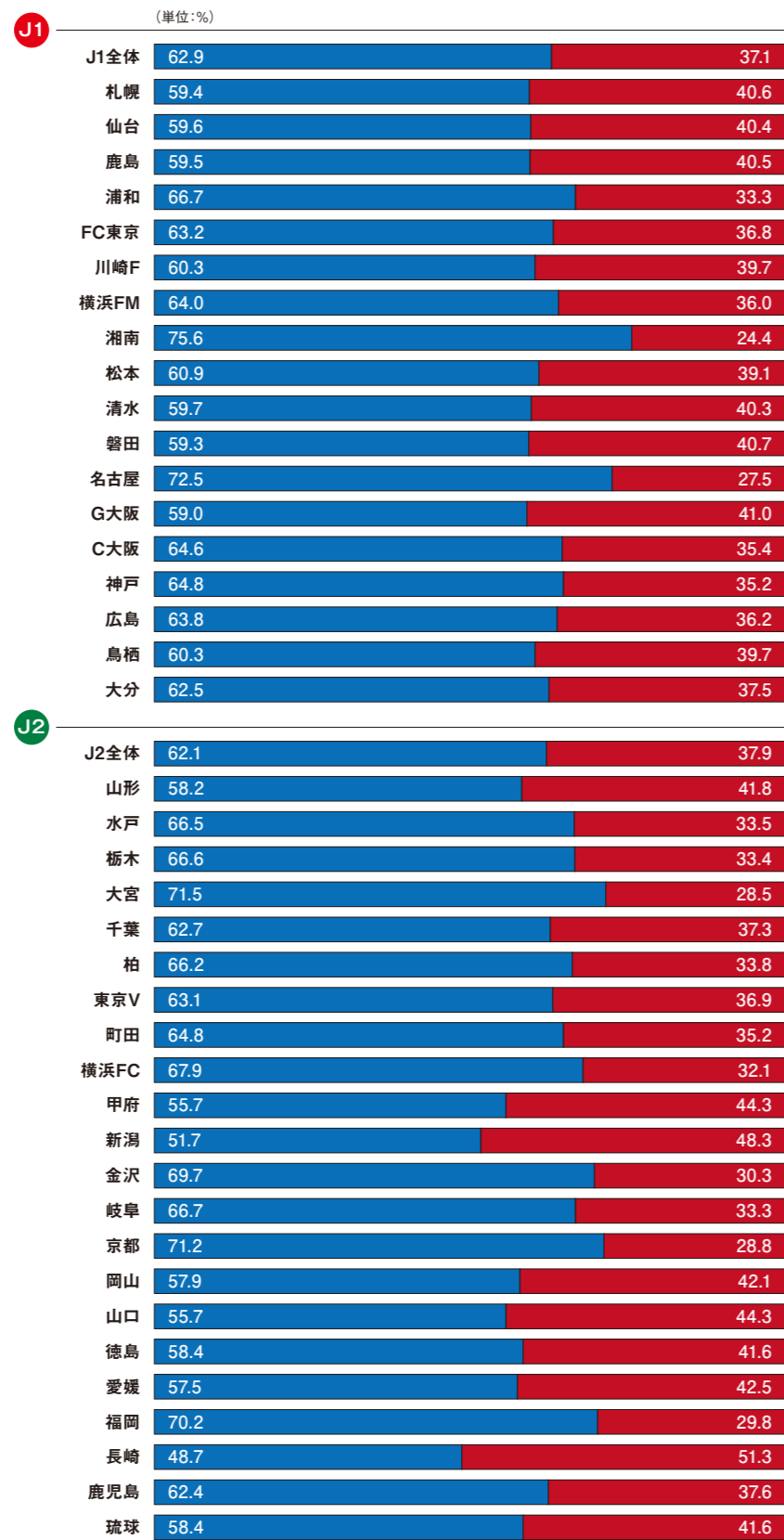
観戦者の性別は、約6割(62.4%)が男性で約4割(37.6%)が女性であり、性別構成比は例年と同様の傾向である(P11参照)。J1とJ2では、性別構成に大きな違いはみられず、J1では、湘南(75.6%)、名古屋(72.5%)などが、J2では大宮(71.5%)、京都(71.2%)などが男性比率が高く、女性比率の高いクラブは長崎(51.3%)、新潟(48.3%)などである。



### 性別(クラブ別)

■ 男性 ■ 女性

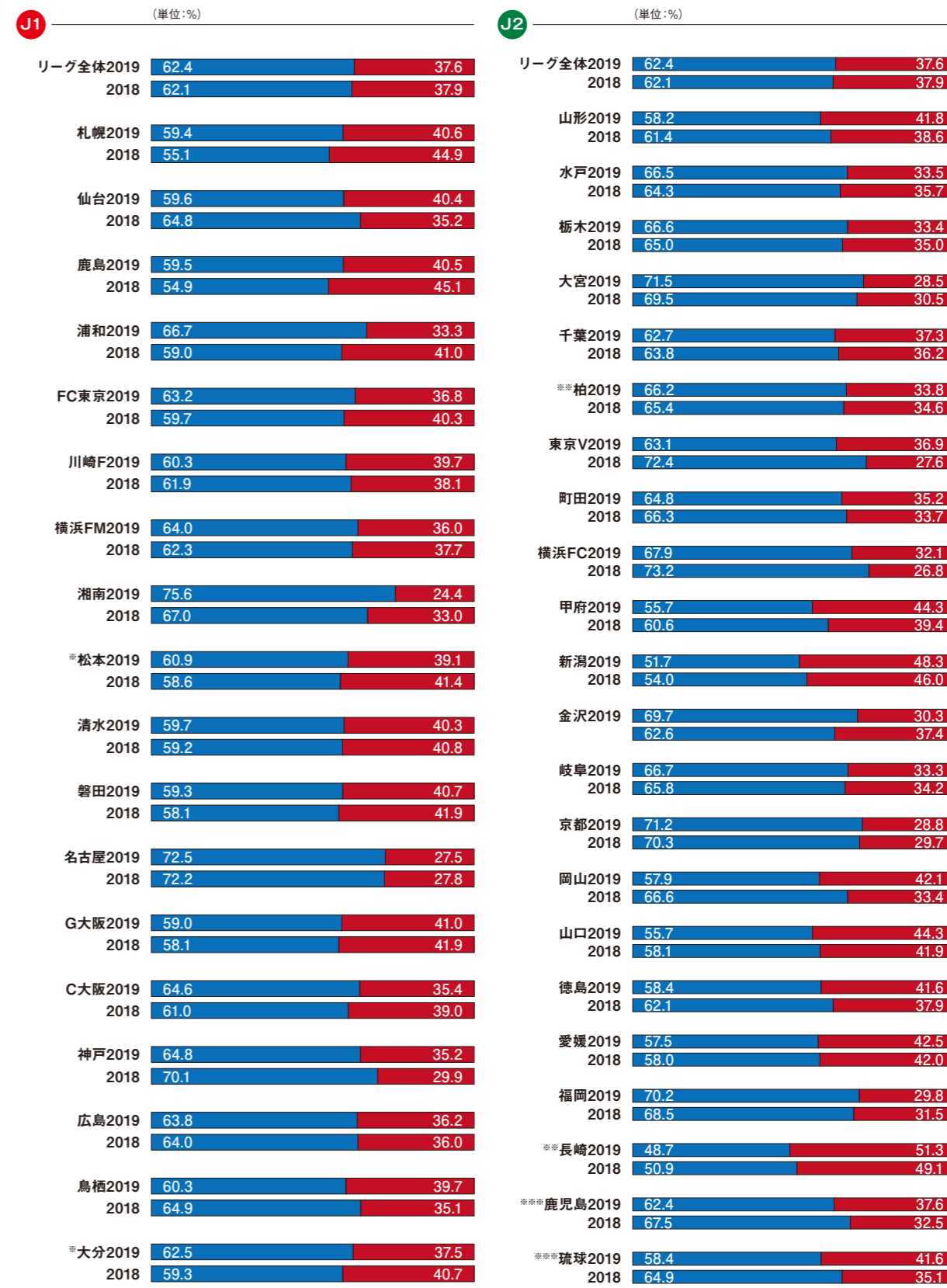
集計対象:全回答者(n=17,324) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=15,484)



### 性別(2019/2018比較)

■ 男性 ■ 女性

集計対象:全回答者(2019 n=17,324/2018 n=17,404) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,484/2018 n=15,298)



\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

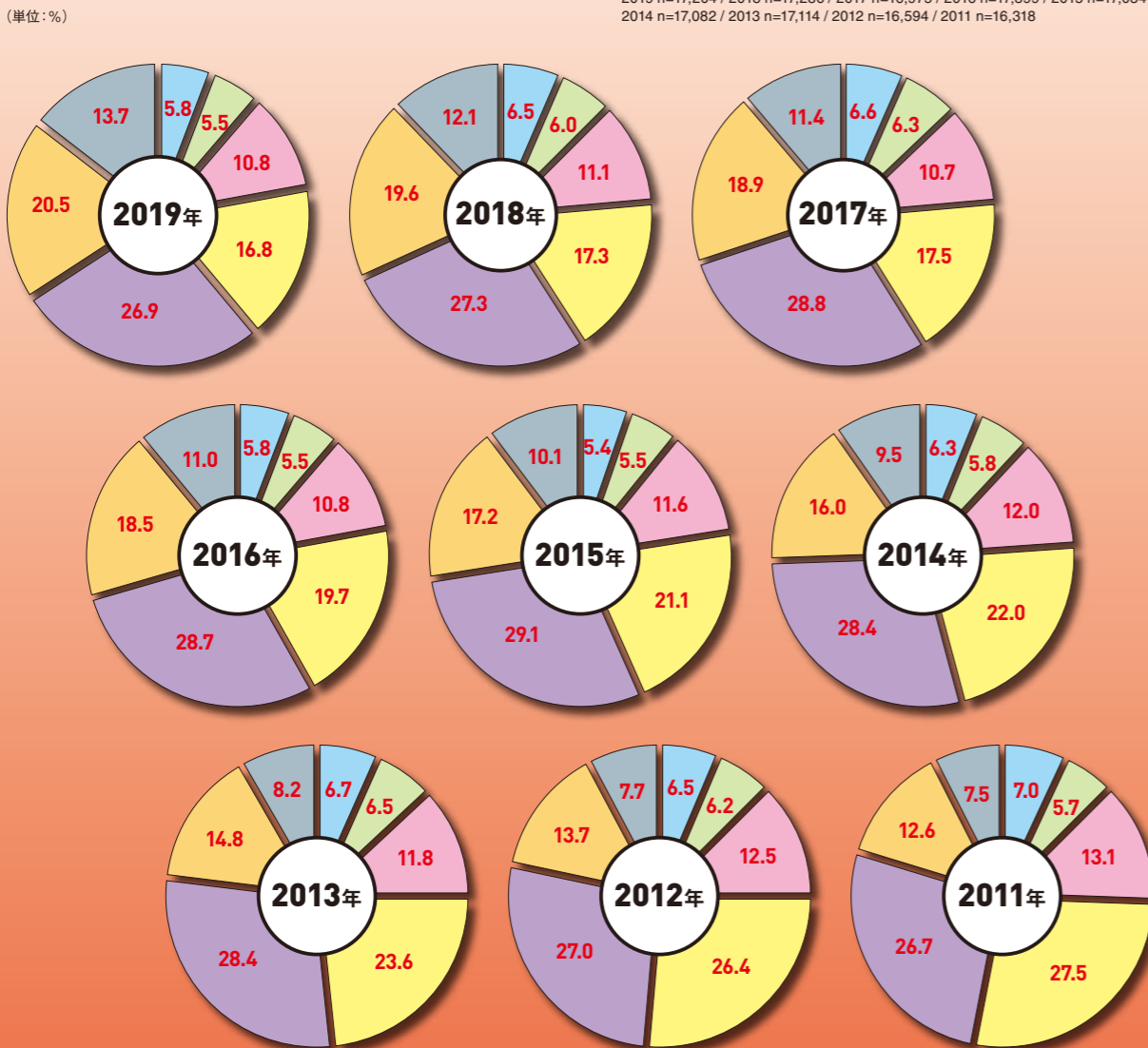


# 年齢分布

18歳以下 19~22歳 23~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上

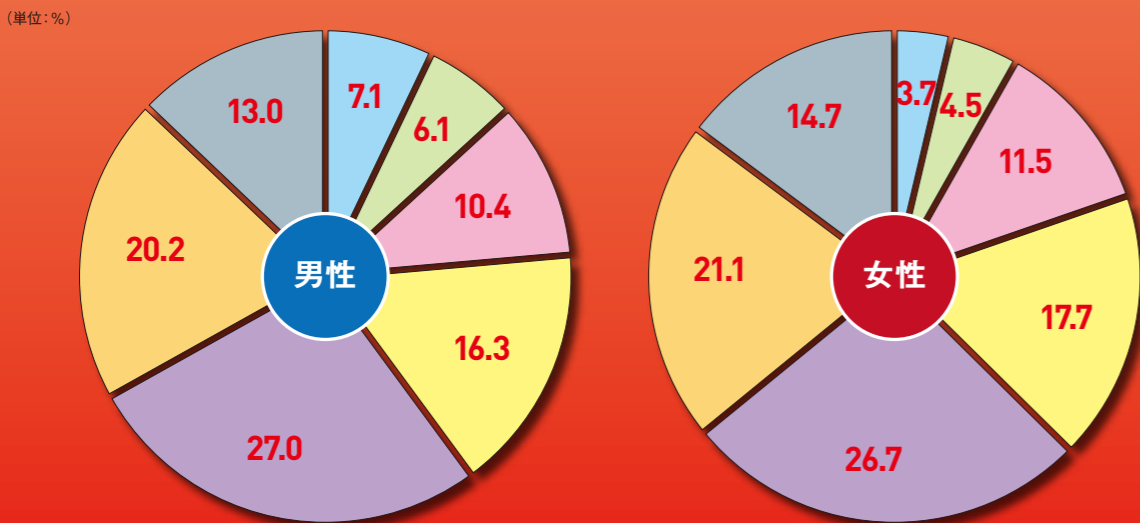
## 年齢分布(Jリーグ平均)の推移

集計対象:全回答者  
 2019 n=17,204 / 2018 n=17,286 / 2017 n=16,975 / 2016 n=17,399 / 2015 n=17,034  
 2014 n=17,082 / 2013 n=17,114 / 2012 n=16,594 / 2011 n=16,318



## 2019年年齢分布(男女別)

集計対象:全回答者(n=17,201)

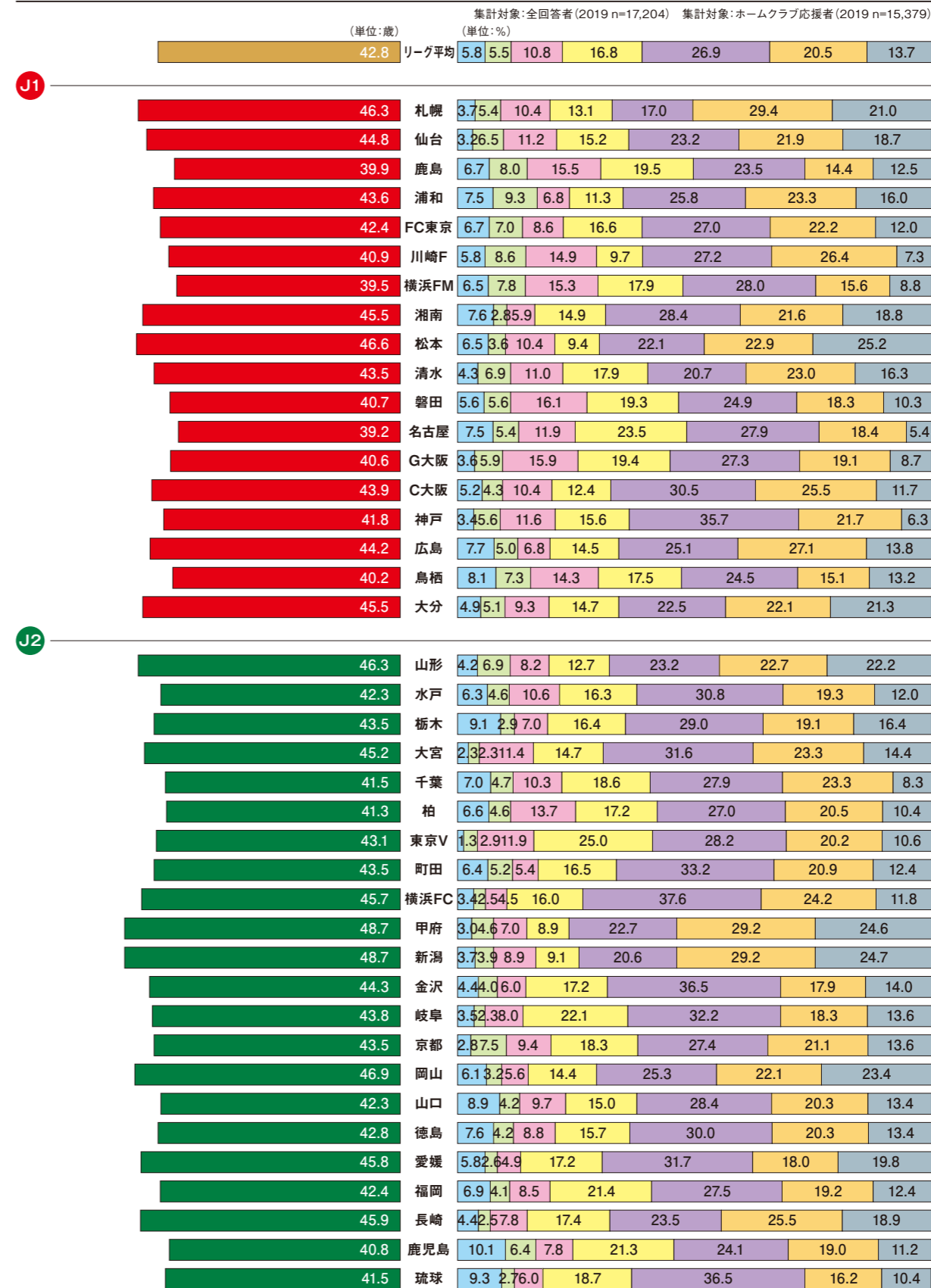


# 平均年齢はリーグ全体で42.8歳

観戦者の平均年齢は全体で42.8歳である。昨年より0.9歳上がっている。年齢層では、40代(26.9%)、50代(20.5%)、30代(16.8%)が中心となっている。性別による年齢構成比に大きな違いはない。平均年齢が高いクラブはJ1では松本(46.6歳)、札幌(46.3歳)、湘南・大分(45.5歳)など、J2では甲府・新潟(48.7歳)、岡山(46.9歳)、山形(46.3歳)などである。一方、平均年齢が低いクラブは、名古屋(39.2歳)、横浜FM(39.5歳)、鹿島(39.9歳)などである。

## 平均年齢・年齢分布(クラブ別)

11歳-18歳 19-22歳 23-29歳 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60歳以上



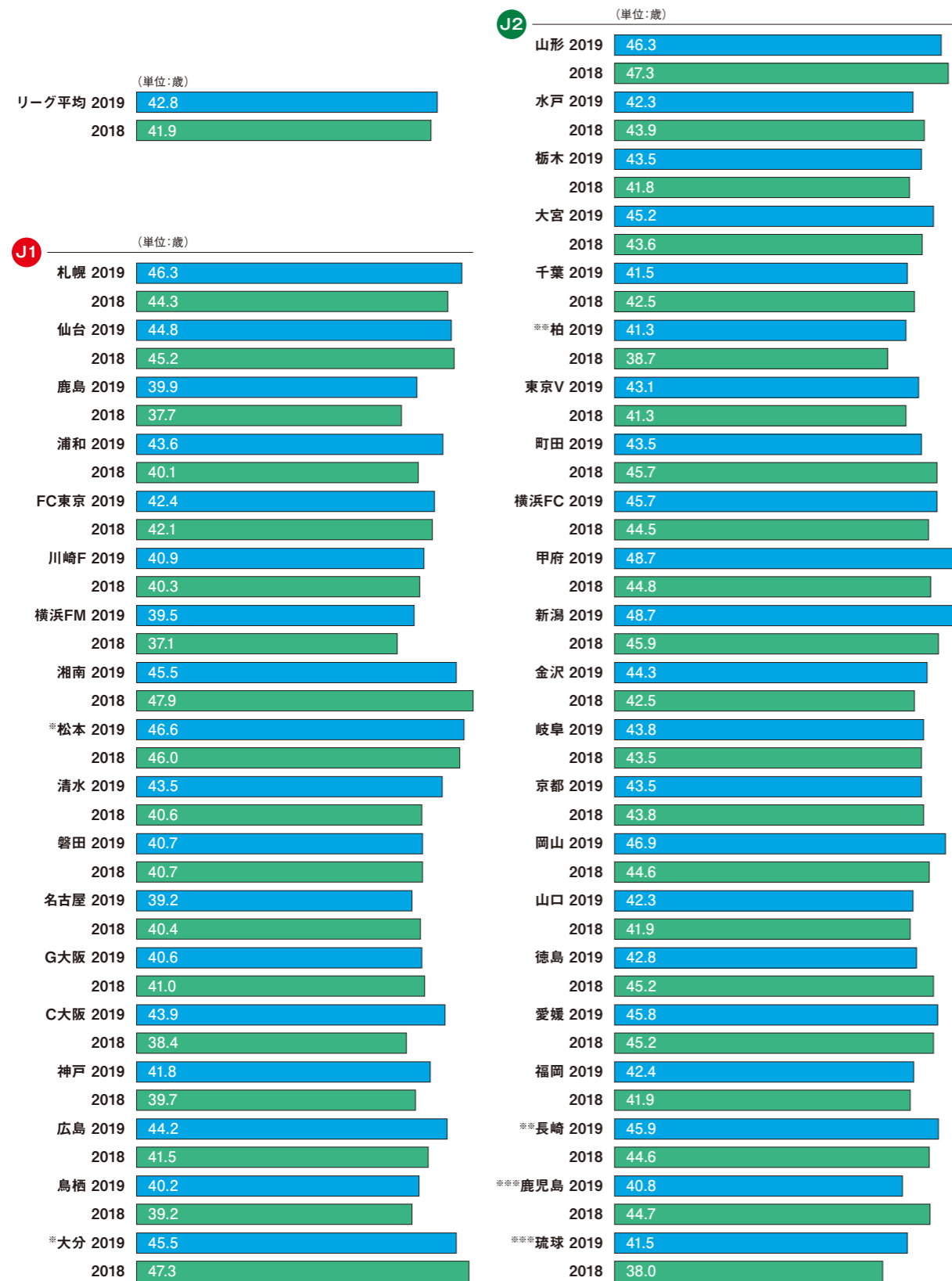




平均年齢(2019/2018比較)

■ 2019実績 ■ 2018実績

集計対象:全回答者(2019 n=17,204/2018 n=17,286) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,379/2018 n=15,194)

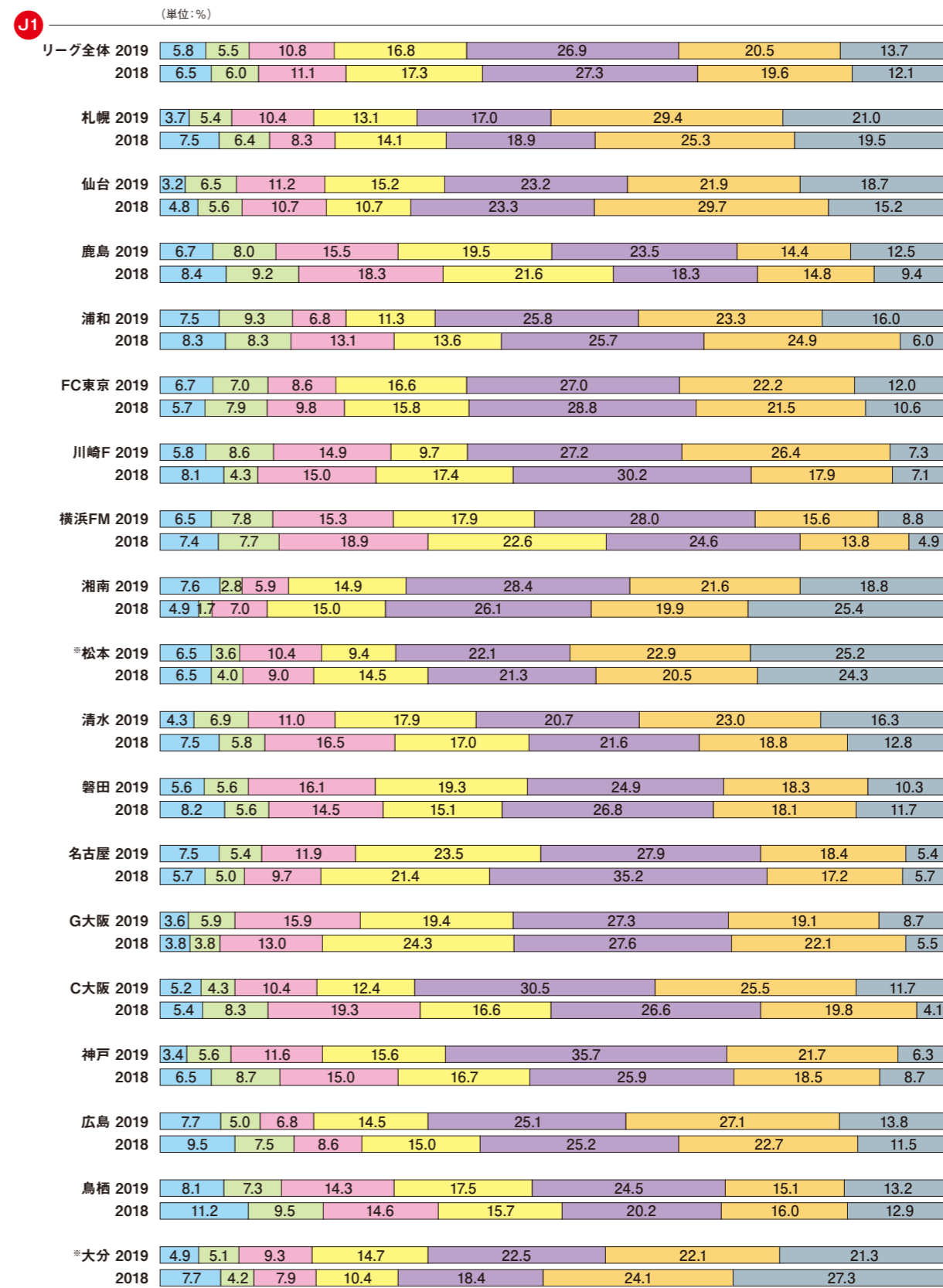


\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

J1年齢分布(2019/2018比較)

■ 11歳-18歳 ■ 19-22歳 ■ 23-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上

集計対象:全回答者(2019 n=17,204/2018 n=17,286) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,379/2018 n=15,194)



\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属





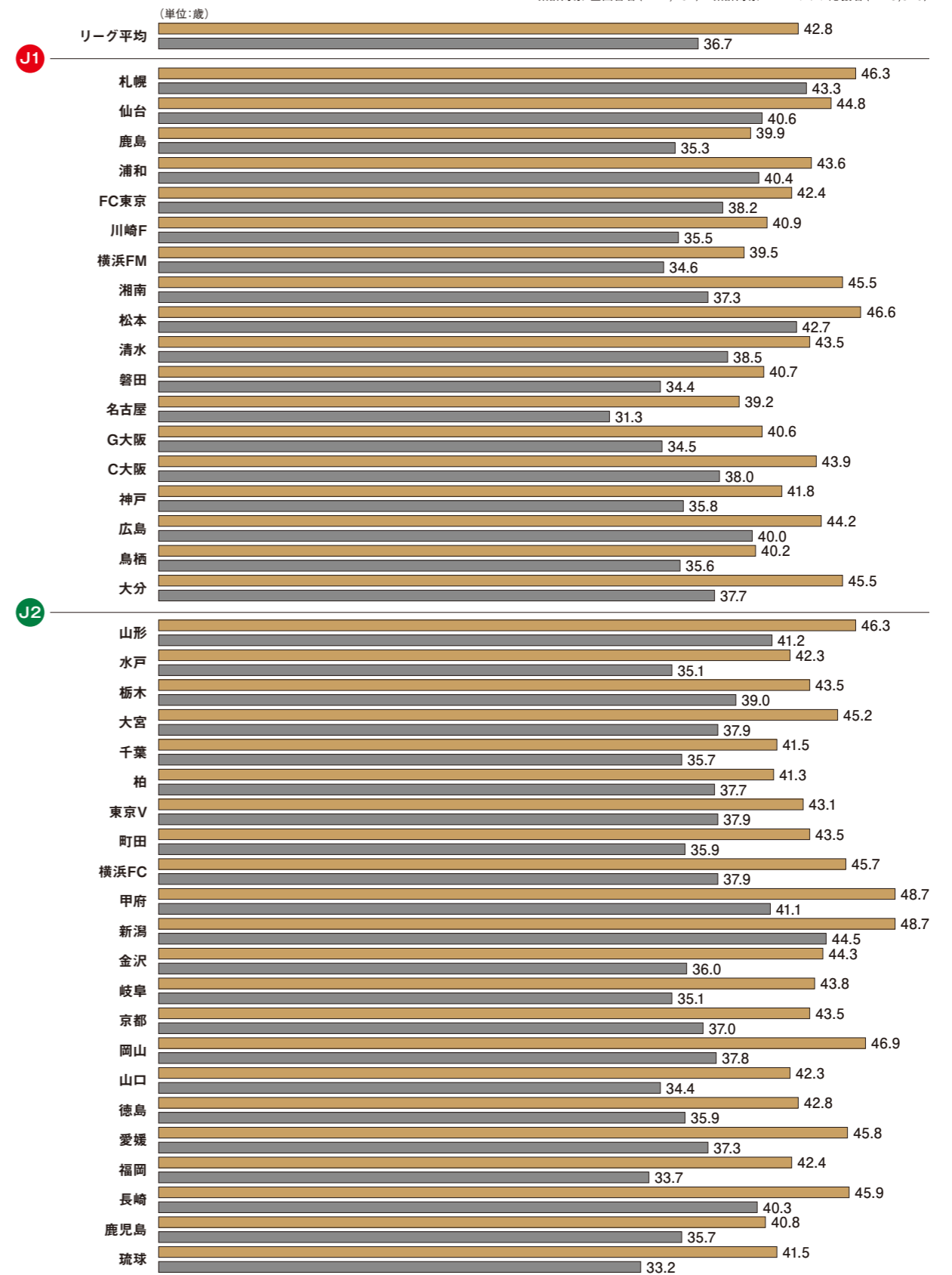
## 一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、リーグ全体で36.7歳

※本調査は、これまで継続的に、11歳以上の来場者を対象にデータ収集をしていたが、2014シーズンより、同伴来場の子どもの年齢を調査項目に加え、新たに算出している。

観戦者の平均年齢は全体で42.8歳である(P15参照)が、回答者と一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、36.7歳となった(脚注)。一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢が低いクラブは、名古屋(31.3歳)、琉球(33.2歳)、福岡(33.7歳)などである。

### 調査対象の平均年齢と同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢

■ 調査対象の平均年齢  
■ 同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢



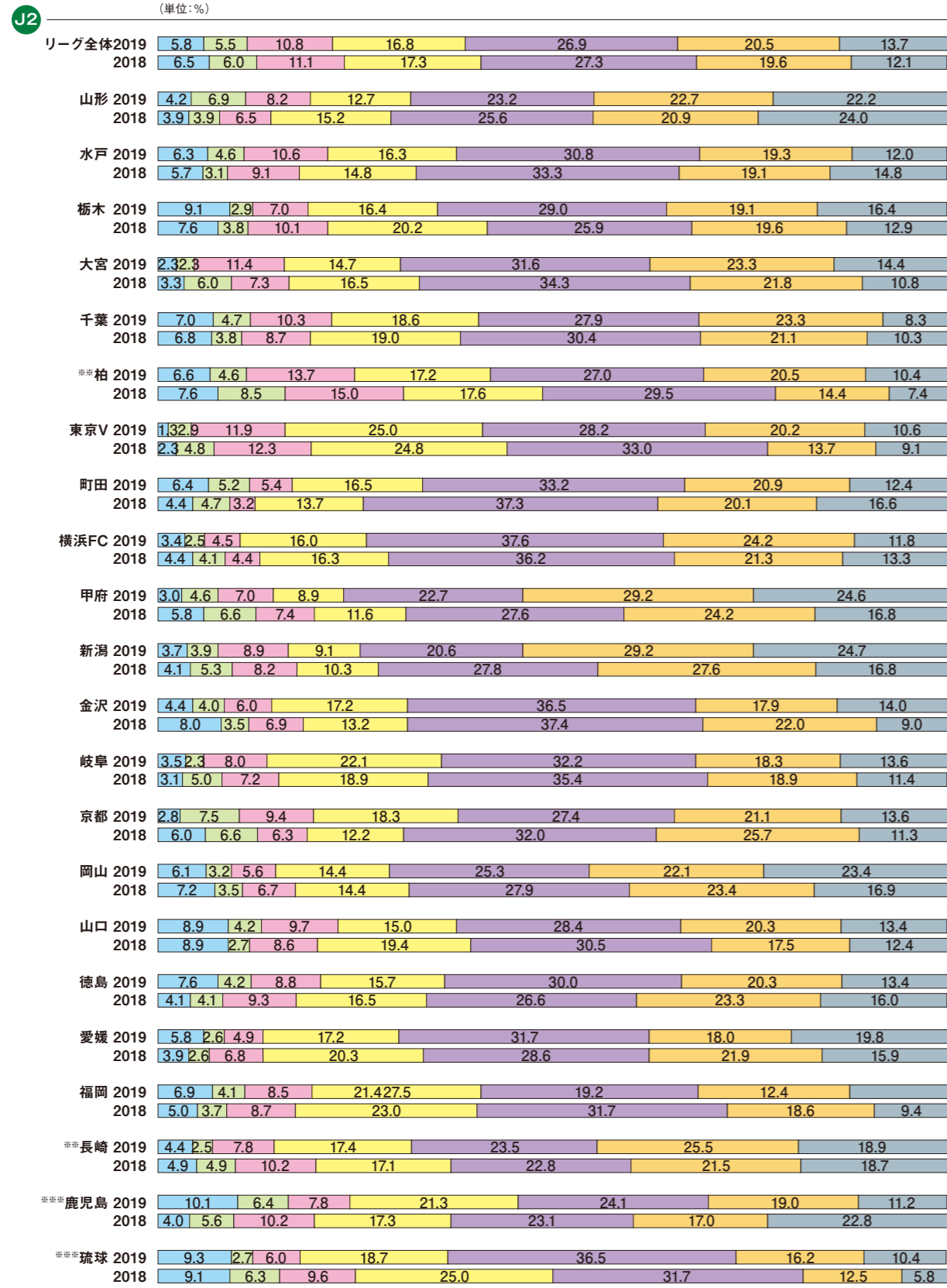
J2

J1

### J2年齢分布(2019/2018比較)

■ 11歳-18歳 ■ 19-22歳 ■ 23-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上

集計対象: 全回答者 (2019 n=17,204/2018 n=17,286) 集計対象: ホームクラブ応援者 (2019 n=15,379/2018 n=15,194)



\*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

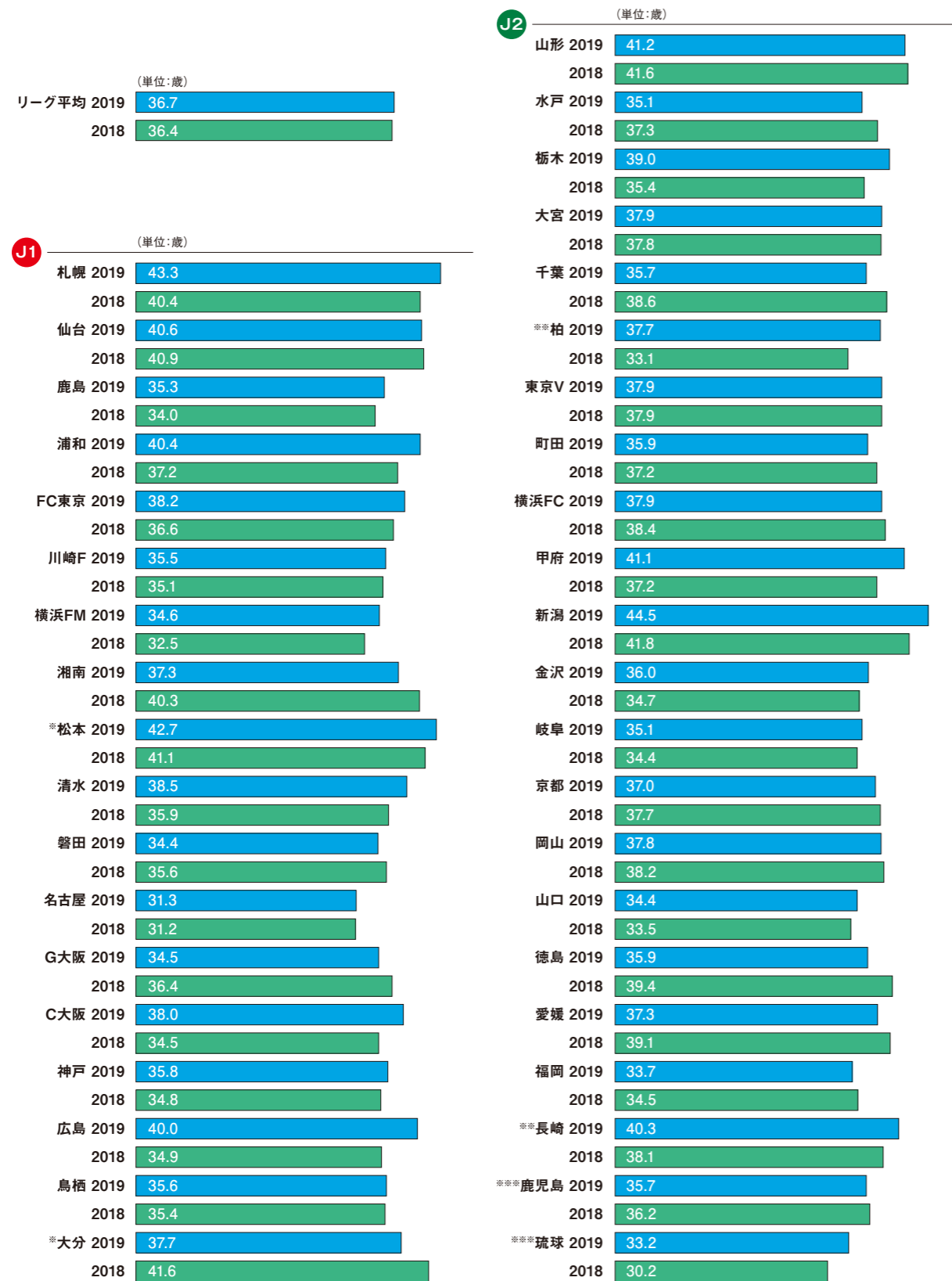




同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢(2019/2018比較)

■ 2019実績 ■ 2018実績

集計対象:全回答者(2019 n=17,204/2018 n=17,286) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,379/2018 n=15,194)



※松本、大分は2018シーズンJ2に所属 ※※柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 ※※※鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

全体の86.3%がホームタウンのある都道府県に居住

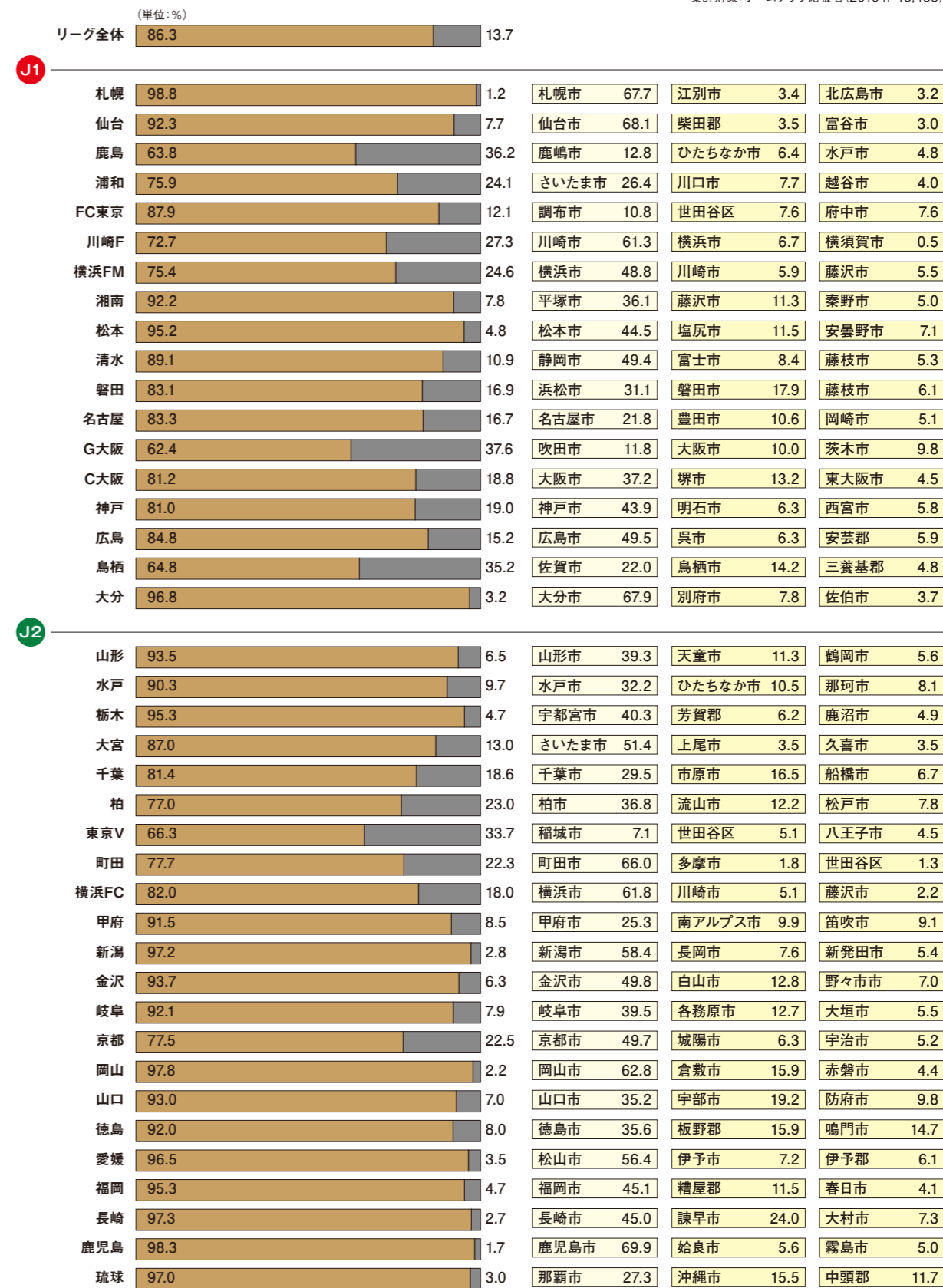
全体の86.3%がホームタウンのある都道府県に居住しており、G大阪(62.4%)、鹿島(63.8%)、鳥栖(64.8%)、東京V(66.3%)などに、活動区域に居住する割合が低い傾向が、札幌(98.8%)、鹿児島(98.3%)などに、活動区域に居住する割合が高い傾向がみられる。

居住地(活動区域・市区郡町村内訳)

※居住地(都道府県下詳細)上位3市区郡町村

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,435)



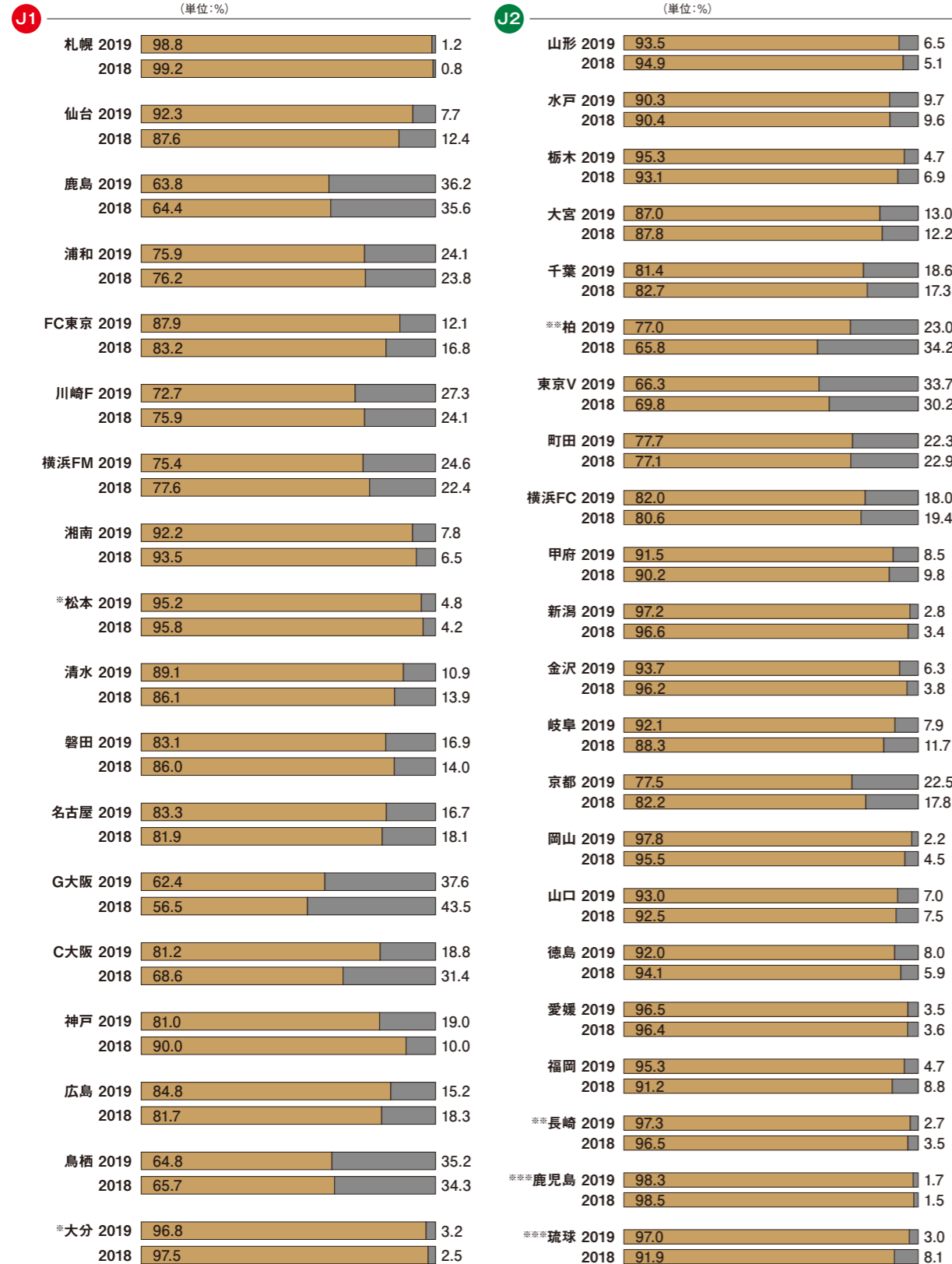




居住地(活動区域2019/2018比較)

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=15,435/2018 n=15,226)



\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

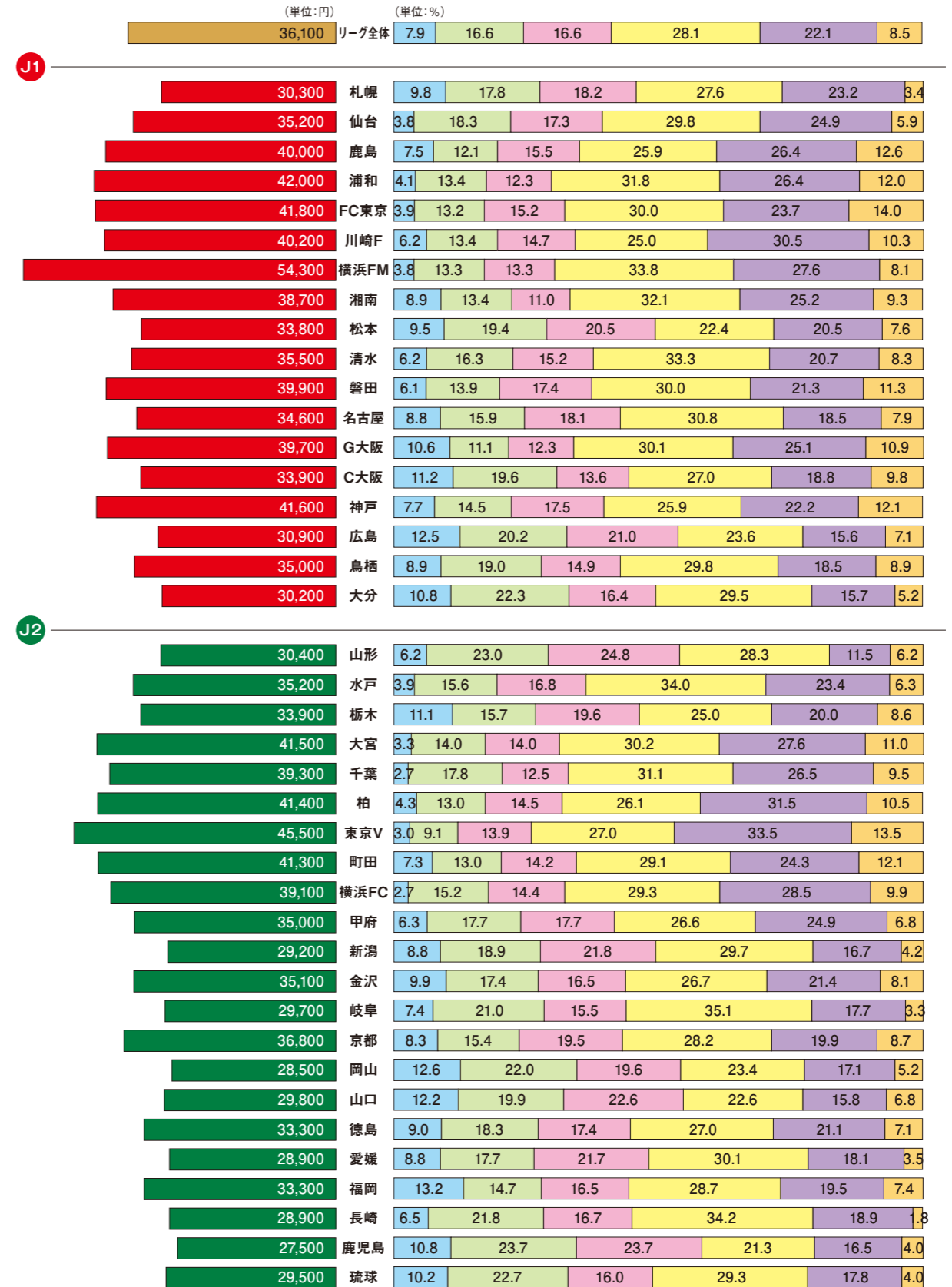
お小遣いは、微増の36,100円

観戦者の自由裁量所得(レジャーや趣味等に自由に使える1ヵ月の金額)は、平均(リーグ全体)で36,100円であり、これまでとほぼ同水準(2018:35,900円、2017:34,900円、2016:35,400円、2015:35,100円)となっている。

自由裁量所得

■ 0-9,999円 ■ 10,000-19,999円 ■ 20,000-29,999円 ■ 30,000-49,999円 ■ 50,000~99,999円 ■ 100,000円以上

集計対象: 全回答者(n=12,053) 集計対象: ホームクラブ応援者(n=10,890)





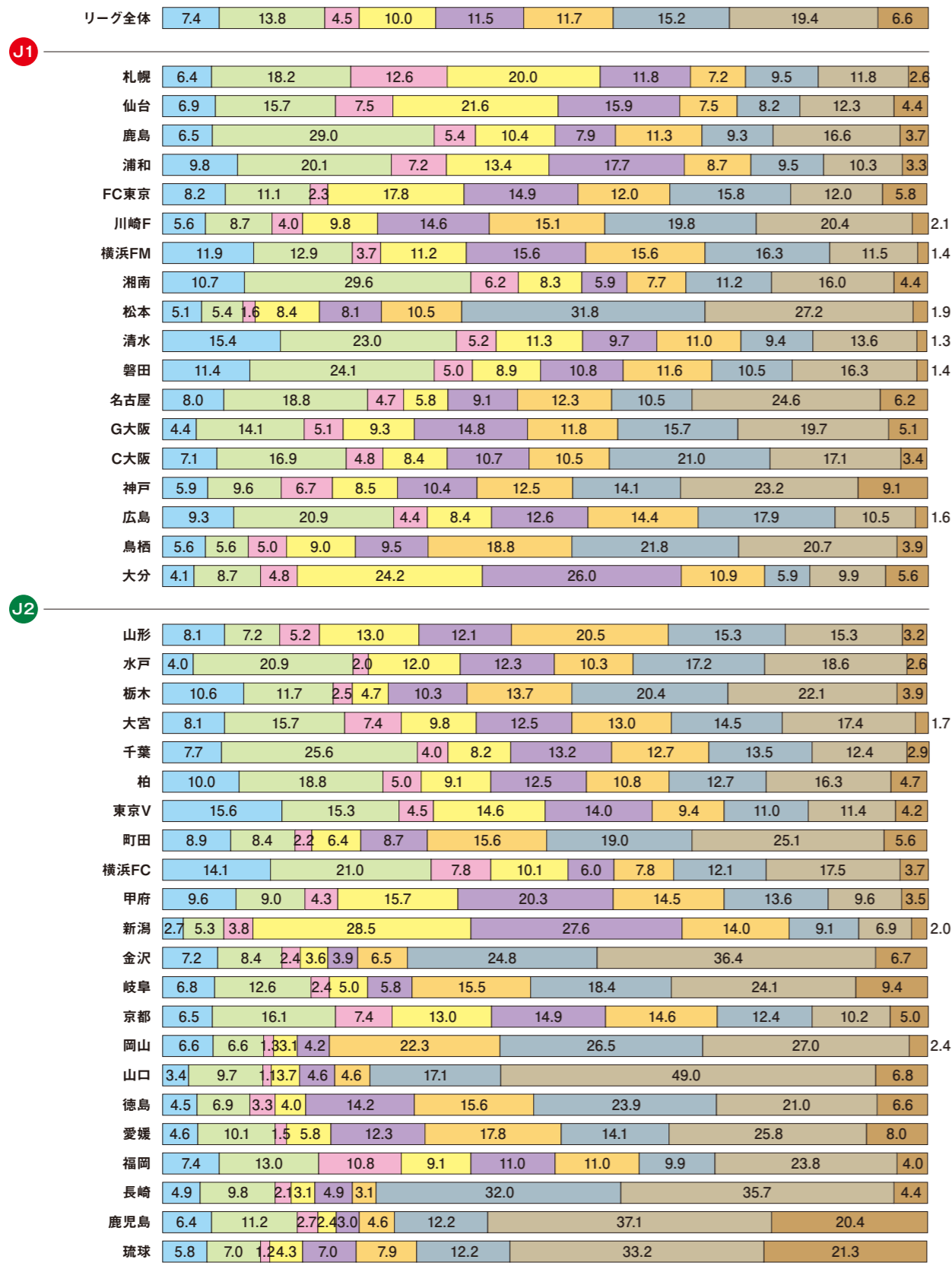
## 2019シーズン新規参入層は6.6%で、鹿兒島、琉球は新規参入層が2割超

2019シーズンから観戦を始めた新規参入層の構成比は6.6%であり、2018シーズン(5.6%)と同様の水準である。この新規参入層のファンの多いクラブは、琉球(21.3%)、鹿兒島(20.4%)であり、突出している。Jリーグ開幕以前より観戦をしていた観戦者は、全体の7.4%であり、東京V(15.6%)、清水(15.4%)、横浜FC(14.1%)などは、その層が多くなっている。また、Jリーグ開幕直後(1993~1995シーズン)に観戦を開始した観戦者は全体の13.8%であり、湘南(29.6%)、鹿島(29.0%)の観戦者に、その時期に観戦を始めた人が多いことがみとれる。

### 観戦歴

1992年以前 1993~1995年頃 1996~1998年頃 1999~2002年頃 2003~2006年頃  
2007~2010年頃 2011~2014年頃 2015~2018年頃 今シーズンから(2019)

集計対象:全回答者(n=16,291) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=14,697)



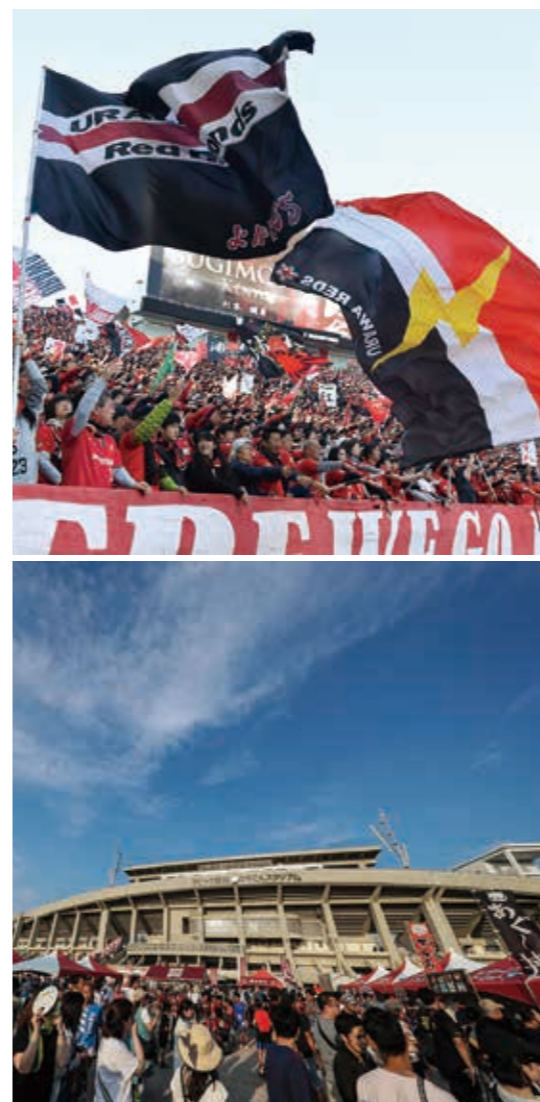
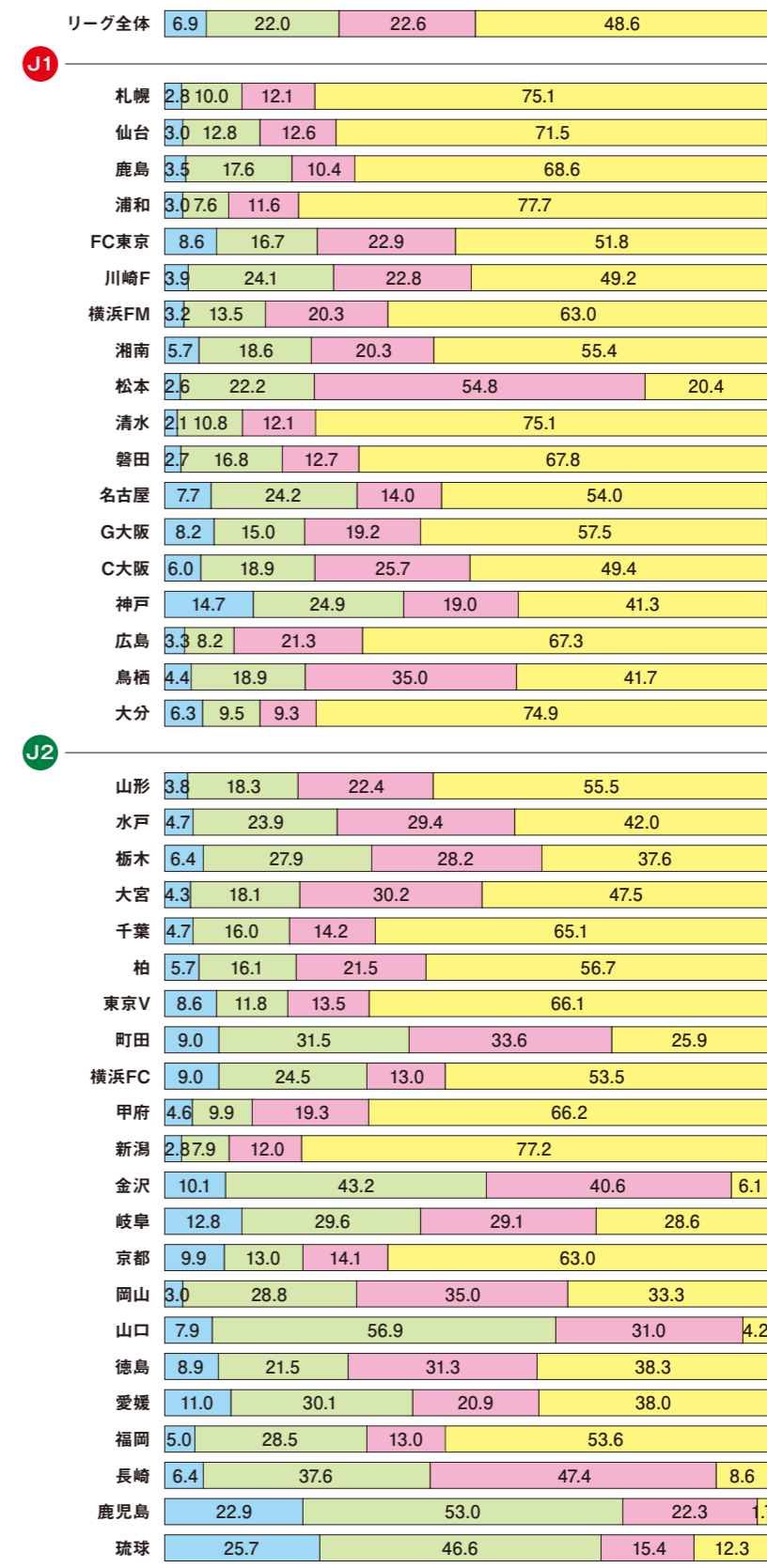
## 2019シーズンから新たにサポーターなった人は6.9%

観戦者に、どのくらいの期間、特定のクラブを応援しているかについて尋ねたところ、10年以上とする割合が最も高く48.6%となっている。10年以上の長いサポーター歴をもつ観戦者の割合が高いクラブには、浦和(77.7%)、新潟(77.2%)、札幌・清水(75.1%)、大分(74.9%)などがあげられる。2019シーズンからサポートクラブを持つようになったとする観戦者は全体の6.9%であり。そのような観戦者の割合が高いクラブは、琉球(25.7%)、鹿兒島(22.9%)などがあげられる。

### サポーター歴

1年目 2-4年目 5-9年目 10年以上

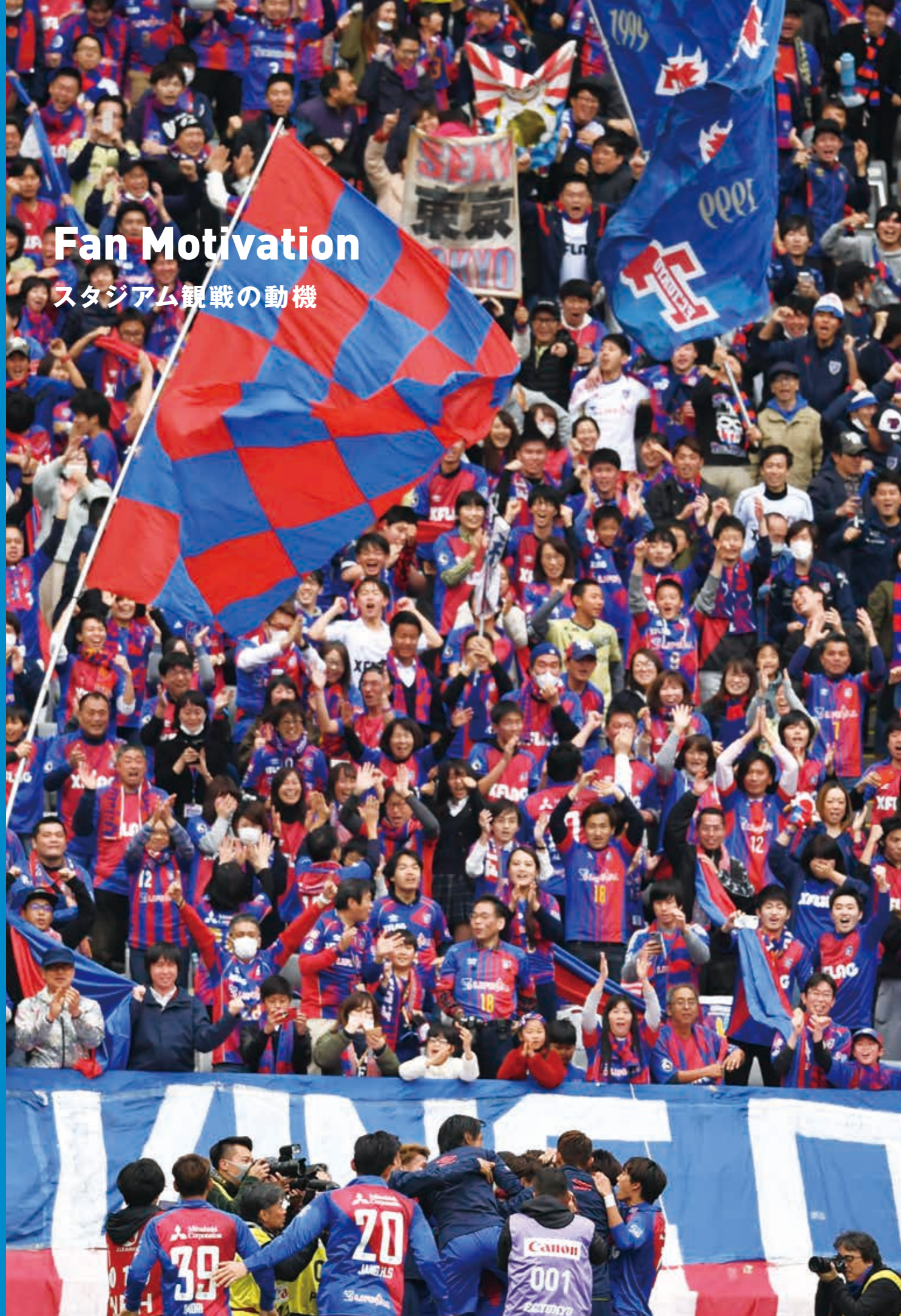
集計対象:ホームクラブ応援者(n=15,176)





# Fan Motivation

## スタジアム観戦の動機



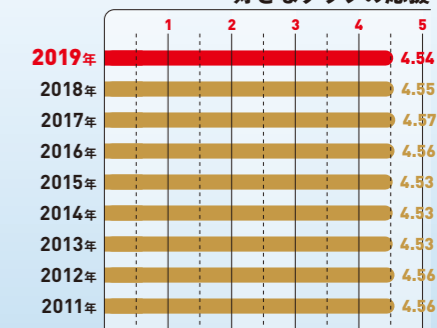
### 観戦の動機やきっかけ

集計対象: 全回答者

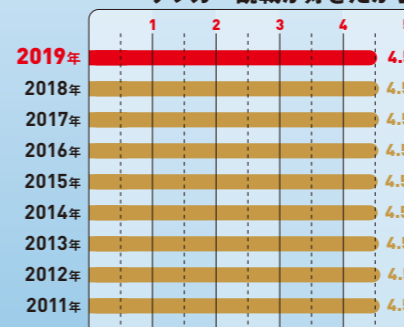
2019 n=16,054 / 2018 n=15,906 / 2017 n=15,733 / 2016 n=16,191 / 2015 n=15,931  
2014 n=15,697 / 2013 n=15,697 / 2012 n=15,114 / 2011 n=15,002

※数値は、五段階評定尺度（あてはまる：5～あてはまらない：1）で求めたスコアの平均値

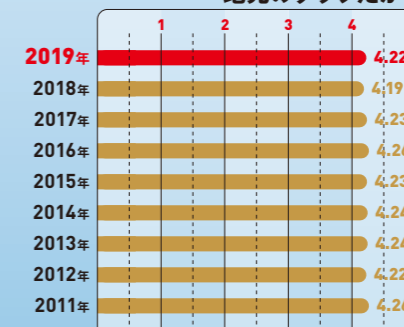
好きなクラブの応援



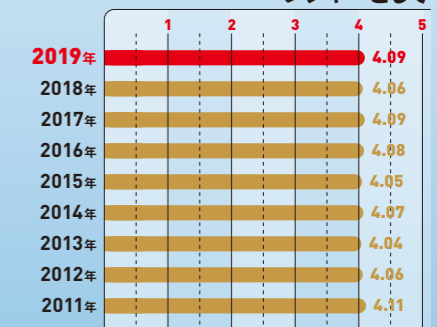
サッカー観戦が好きだから



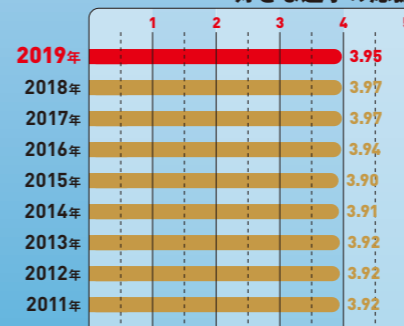
地元のクラブだから



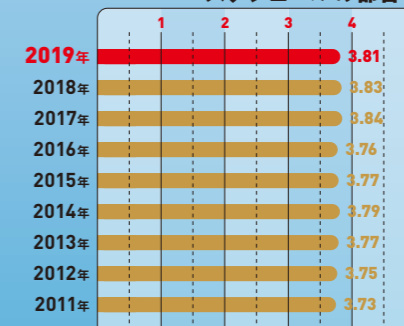
レジャーとして



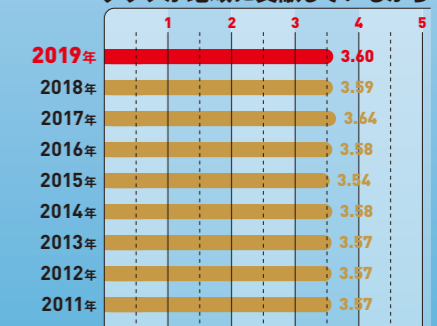
好きな選手の応援



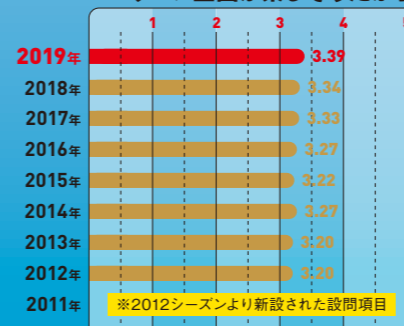
スケジュールの都合で



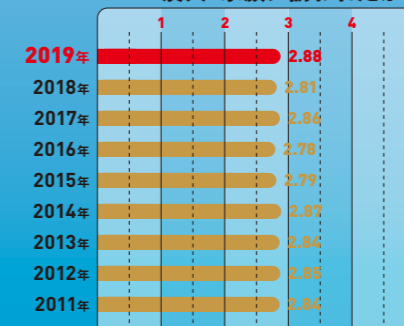
クラブが地域に貢献しているから



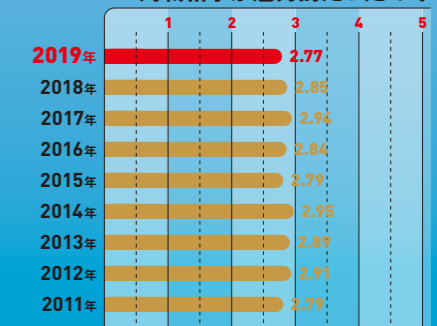
スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから



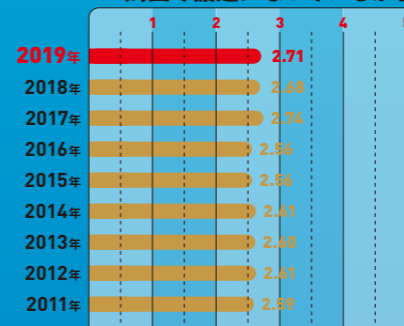
友人・家族に誘われたから



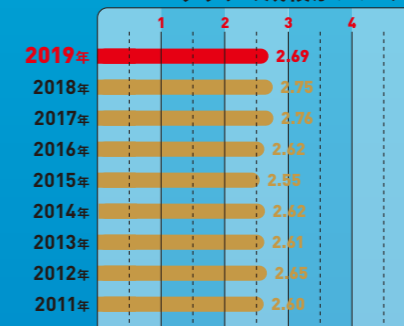
対戦相手が魅力的だったから



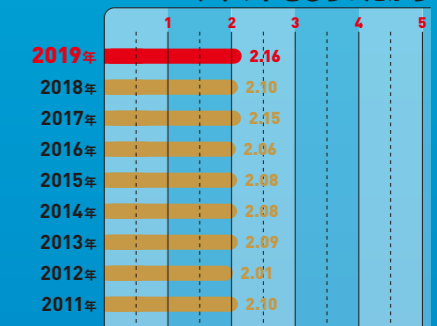
周囲で話題になっているから



クラブの成績がいいので



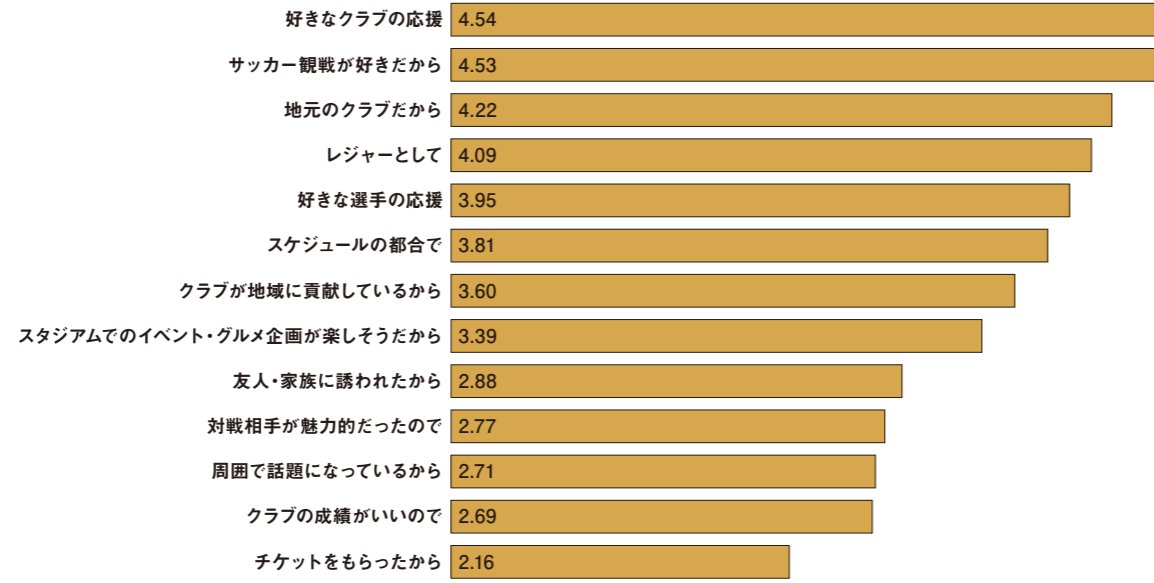
チケットをもらったから





観戦の動機やきっかけ

集計対象:全回答者(2019 n=16,054)



数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)で求めたスコアの平均値

	好きなクラブの応援	サッカー観戦が好きだから	地元のクラブだから	レジャーとして	好きな選手の応援	スケジュールの都合
1	札幌 52.8	札幌 52.3	札幌 54.1	川崎F 52.9	川崎F 53.3	名古屋 52.2
2	浦和 52.4	鳥栖 52.0	大分 53.8	鹿児島 52.1	鳥栖 52.4	山口 51.9
3	大分 52.3	川崎F 51.8	鹿児島 53.5	大分 52.0	神戸 52.2	京都 51.7
4	川崎F 52.1	大分 51.7	岡山 53.2	松本 51.8	G大阪 51.9	山形 51.7
5	鳥栖 51.8	C大阪 51.7	松本 53.1	札幌 51.8	C大阪 51.4	鹿島 51.6
6	水戸 51.7	磐田 51.7	長崎 53.0	名古屋 51.6	横浜FM 51.3	鹿児島 51.5
7	広島 51.7	広島 51.6	山形 52.8	湘南 51.5	広島 51.2	琉球 51.5
8	東京V 51.5	水戸 51.6	金沢 52.8	鳥栖 51.3	長崎 51.2	長崎 51.3
9	清水 51.5	名古屋 51.3	琉球 52.7	長崎 51.3	水戸 51.1	金沢 51.2
10	柏 51.5	清水 51.0	山口 52.6	琉球 51.2	柏 51.0	札幌 51.2
11	松本 51.4	鹿島 51.0	甲府 52.3	山形 51.2	鹿島 51.0	清水 51.0
12	湘南 51.4	山形 50.9	愛媛 52.2	水戸 51.2	札幌 50.8	広島 50.9
13	鹿島 51.2	FC東京 50.9	名古屋 51.7	甲府 51.1	大分 50.7	柏 50.8
14	C大阪 51.1	横浜FM 50.9	新潟 51.7	広島 51.1	栃木 50.5	水戸 50.8
15	FC東京 50.8	G大阪 50.8	栃木 51.6	金沢 50.9	磐田 50.4	鳥栖 50.8
16	山形 50.5	浦和 50.7	水戸 51.5	山口 50.8	東京V 50.4	岡山 50.6
17	鹿児島 50.4	神戸 50.7	湘南 51.4	FC東京 50.7	横浜FC 50.3	C大阪 50.6
18	横浜FM 50.4	長崎 50.4	広島 51.3	岡山 50.5	清水 50.2	大分 50.3
19	G大阪 50.3	京都 50.3	仙台 51.2	C大阪 50.5	FC東京 50.2	新潟 50.1
20	長崎 50.3	柏 50.2	鳥栖 50.7	横浜FM 50.4	山口 50.2	川崎F 50.1
21	磐田 50.2	湘南 50.2	京都 50.0	鹿児島 50.3	山形 50.0	磐田 50.0
22	名古屋 50.0	仙台 50.0	徳島 50.0	G大阪 50.2	徳島 49.9	愛媛 49.9
23	神戸 50.0	栃木 49.9	福岡 50.0	神戸 50.1	鹿児島 49.9	FC東京 49.8
24	岡山 50.0	横浜FC 49.8	清水 49.9	大宮 50.1	松本 49.9	栃木 49.8
25	新潟 49.9	松本 49.6	町田 49.8	栃木 49.8	名古屋 49.8	岐阜 49.7
26	山口 49.7	鹿児島 49.6	岐阜 49.6	町田 49.8	京都 49.6	松本 49.7
27	甲府 49.7	甲府 49.4	C大阪 48.9	徳島 49.6	湘南 49.5	大宮 49.6
28	京都 49.7	金沢 49.3	神戸 48.7	京都 49.3	浦和 49.4	横浜FM 49.5
29	金沢 49.7	琉球 49.3	大宮 48.6	磐田 49.3	大宮 49.4	湘南 49.5
30	町田 49.6	大宮 49.2	柏 48.3	柏 49.0	仙台 49.1	仙台 49.4
31	横浜FC 49.5	東京V 49.2	磐田 48.2	清水 48.9	町田 49.1	千葉 49.3
32	大宮 48.9	新潟 49.1	FC東京 48.2	岐阜 48.7	千葉 49.0	福岡 49.2
33	仙台 48.7	千葉 49.1	千葉 48.1	愛媛 48.3	岡山 48.8	G大阪 49.0
34	琉球 48.4	岡山 48.7	川崎F 46.0	仙台 48.0	新潟 48.8	甲府 49.0
35	栃木 48.2	福岡 48.5	横浜FC 45.5	福岡 48.0	甲府 48.6	町田 48.7
36	徳島 48.0	山口 48.1	浦和 45.5	横浜FC 47.9	琉球 48.4	徳島 48.5
37	千葉 47.6	徳島 48.0	G大阪 45.5	新潟 47.6	金沢 48.4	神戸 48.4
38	愛媛 46.5	町田 47.6	鹿島 45.4	東京V 47.3	愛媛 47.8	横浜FC 47.5
39	福岡 45.9	愛媛 47.3	横浜FM 44.7	千葉 46.9	福岡 47.7	東京V 46.5
40	岐阜 42.7	岐阜 45.0	東京V 39.4	浦和 45.3	岐阜 45.5	浦和 45.4

※数値は、5段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)でもとめたスコアの平均値を偏差値換算したものである

「好きなクラブの応援」と「サッカー観戦が好きだから」が主な観戦の動機

観戦の動機やきっかけとしては、観戦者全体では、「好きなクラブの応援」(4.54)、および「サッカー観戦が好きだから」(4.53)が主なものとなっており、次いで、「地元のクラブだから」(4.22)、「レジャーとして」(4.09)が続いている。この上位4項目については、昨シーズンと同じ傾向である。各動機におけるクラブごとの偏差値換算スコアは下記のとおりである。



	応援しているクラブの地域貢献	スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから	友人・家族に誘われたから	対戦相手が魅力的	周囲で話題になっているから	クラブの成績	チケットをもらったから
1	松本 54.6	鹿児島 53.8	琉球 53.6	名古屋 57.4	松本 53.7	山形 57.7	福岡 54.4
2	甲府 53.7	岡山 53.5	鹿島 52.1	横浜FM 56.1	鹿児島 53.6	京都 57.0	琉球 54.0
3	大分 53.5	水戸 53.3	山口 51.9	鳥栖 54.3	琉球 53.5	大分 56.8	岐阜 53.6
4	鹿児島 53.4	栃木 52.8	名古屋 51.7	鹿児島 54.1	長崎 53.2	琉球 56.4	愛媛 53.1
5	長崎 53.3	山形 52.7	鹿児島 51.6	琉球 53.3	山形 52.9	水戸 56.3	名古屋 52.4
6	川崎F 53.3	鹿島 52.6	山形 51.2	湘南 53.0	大分 52.5	川崎F 56.1	京都 52.0
7	琉球 53.1	長崎 52.5	愛媛 51.1	福岡 52.5	山口 52.3	FC東京 55.7	鹿島 51.8
8	水戸 53.0	岐阜 52.2	甲府 51.1	福岡 52.5	山口 52.3	FC東京 55.7	鹿島 51.8
9	札幌 52.9	川崎F 52.2	長崎 51.1	川崎F 51.8	甲府 51.7	鹿島 55.0	水戸 51.6
10	山形 52.9	金沢 52.2	徳島 50.7	鹿島 51.8	徳島 51.6	柏 54.6	甲府 51.2
11	岡山 52.8	湘南 52.0	大分 50.6	岡山 51.7	名古屋 51.6	C大阪 54.3	金沢 51.2
12	湘南 52.3	松本 52.0	京都 50.6	愛媛 51.2	水戸 51.5	札幌 54.1	大宮 51.0
13	鳥栖 52.1	山口 51.6	川崎F 50.5	水戸 51.0	鹿島 51.4	大宮 54.1	C大阪 50.7
14	山口 51.7	愛媛 51.6	C大阪 50.5	京都 50.4	京都 51.0	長崎 53.4	山形 50.4
15	広島 51.4	琉球 51.2	金沢 50.4	広島 50.3	横浜FM 50.9	鳥栖 52.2	山形 50.4
16	金沢 51.0	名古屋 51.0	岡山 50.4	神戸 50.3	川崎F 50.8	横浜FM 51.2	清水 50.3
17	愛媛 50.7	徳島 50.3	水戸 50.4	大分 50.3	札幌 50.5	甲府 50.6	鹿児島 50.3
18	徳島 50.1	横浜FM 50.2	柏 50.1	長崎 50.2	金沢 50.5	徳島 50.5	新潟 50.2
19	名古屋 50.1	町田 49.9	岐阜 50.1	徳島 50.2	大宮 50.1	山口 49.9	仙台 50.2
20	栃木 50.1	C大阪 49.9	札幌 50.1	松本 50.1	岡山 50.0	湘南 49.3	長崎 50.0
21	大宮 49.9	清水 49.6	磐田 50.1	岐阜 49.9	柏 49.8	岡山 48.8	徳島 50.0
22	町田 49.7	甲府 49.5	栃木 50.0	FC東京 49.6	清水 49.6	松本 48.7	山口 49.6
23	仙台 49.5	広島 49.4	横浜FM 49.9	清水 49.5	仙台 49.5	栃木 48.3	川崎F 49.6
24	京都 49.4	札幌 49.3	G大阪 49.9	町田 49.4	FC東京 49.5	鹿児島 48.1	神戸 49.6
25	鹿島 49.4	新潟 49.3	FC東京 49.9	金沢 49.4	湘南 49.4	名古屋 48.0	FC東京 49.4
26	清水 49.2	千葉 49.3	広島 49.9	山形 49.2	広島 49.4	鳥栖 47.2	磐田 49.3
27	岐阜 49.2	FC東京 49.2	仙台 49.8	C大阪 49.1	磐田 49.3	愛媛 47.1	千葉 49.1
28	新潟 49.2	鳥栖 49.2	松本 49.7	仙台 48.7	栃木 49.3	G大阪 46.5	大分 49.1
29	横浜FM 48.9	大分 49.2	大宮 49.5	千葉 48.6	神戸 49.3	横浜FC 46.3	G大阪 48.9
30	FC東京 48.6	京都 49.0	清水 49.3	山口 48.5	岐阜 49.2	浦和 46.2	柏 48.7
31	C大阪 47.9	大宮 48.8	鳥栖 49.2	甲府 48.5	愛媛 49.1	神戸 45.5	松本 48.6
32	神戸 47.2	G大阪 48.7	神戸 49.1	柏 47.9	C大阪 49.0	岐阜 45.3	横浜FC 48.4
33	柏 47.0	柏 48.0	新潟 48.6	大宮 47.9	新潟 48.3	町田 45.2	横浜FM 48.4
34	磐田 46.8	磐田 47.9	千葉 48.5	横浜FC 47.8	浦和 48.1	清水 44.7	湘南 48.2
35	福岡 46.4	横浜FC 47.3	湘南 48.5	磐田 47.6	G大阪 47.9	東京V 44.3	町田 48.1
36	横浜FC 46.1	福岡 47.2	町田 48.5	新潟 47.5	町田 47.1	新潟 44.3	岡山 47.5
37	G大阪 46.0	神戸 46.7	浦和 48.4	G大阪 47.5	千葉 46.3	仙台 44.2	鳥栖 47.3
38	千葉 45.8	仙台 46.7	福岡 48.2	札幌 46.5	横浜FC 46.0	千葉 43.6	札幌 47.0
39	浦和 45.0	東京V 44.6	横浜FC 47.7	浦和 45.0	福岡 45.1	福岡 43.5	浦和 46.5
40	東京V 42.4	浦和 43.4	東京V 45.5	東京V 44.3	東京V 44.1	磐田 42.1	東京V 46.2

※数値は、5段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)でもとめたスコアの平均値を偏差値換算したものである





観戦の動機やきっかけ(2019/2018比較・クラブ別)

	好きなクラブの応援に		好きな選手の応援に		サッカー観戦が好きだから		クラブが地域貢献しているから		周囲で話題になっているから		レジャーとして		友人・家族に誘われたから		チケットをもらったから	
	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018
1	札幌	52.8	川崎F	52.8	川崎F	53.3	川崎F	54.4	札幌	52.3	磐田	52.4	松本	54.6	長崎	55.1
2	浦和	52.4	横浜FM	52.3	鳥栖	52.4	鳥栖	53.4	鳥栖	52.0	川崎F	51.8	甲府	53.7	松本	54.2
3	大分	52.3	浦和	51.9	神戸	52.2	神戸	53.1	川崎F	51.8	G大阪	51.8	大分	53.5	広島	54.1
4	川崎F	52.1	磐田	51.9	G大阪	51.9	磐田	52.4	大分	51.7	横浜FM	51.5	鹿児島	53.4	札幌	53.9
5	鳥栖	51.8	長崎	51.9	C大阪	51.4	G大阪	52.3	C大阪	51.7	清水	51.5	長崎	53.3	甲府	53.9
6	水戸	51.7	札幌	51.7	横浜FM	51.3	横浜FM	51.9	磐田	51.7	鳥栖	51.5	川崎F	53.3	川崎F	53.7
7	広島	51.7	広島	51.6	広島	51.2	広島	51.8	広島	51.6	水戸	51.6	C大阪	51.4	愛媛	52.6
8	東京V	51.5	松本	51.6	長崎	51.2	鹿児島	51.6	水戸	51.6	C大阪	51.4	鳥栖	53.0	愛媛	52.6
9	清水	51.5	鹿児島	51.5	水戸	51.1	C大阪	51.5	名古屋	51.3	札幌	51.3	札幌	52.9	鳥栖	52.5
10	柏	51.5	F東京	51.3	柏	51.0	横浜FC	51.4	清水	51.0	大分	51.3	山形	52.9	町田	52.4
11	松本	51.4	柏	50.9	鹿児島	51.0	札幌	51.4	鹿児島	51.0	神戸	51.1	岡山	52.8	水戸	52.3
12	湘南	51.4	町田	50.9	札幌	50.8	柏	51.1	山形	50.9	広島	51.1	湘南	52.3	岡山	52.3
13	鹿児島	51.2	大分	50.9	長崎	51.1	FC東京	50.9	福岡	51.1	鳥栖	52.1	山口	52.2		
14	C大阪	51.1	清水	50.7	長崎	51.0	松本	51.0	横浜FM	50.9	仙台	51.0	岐阜	51.3		
15	FC東京	50.8	G大阪	50.6	磐田	50.4	福岡	50.9	G大阪	50.8	F東京	51.0	広島	51.4	徳島	51.3
16	山形	50.5	山口	50.6	東京V	50.4	清水	50.4	浦和	50.7	柏	50.8	金沢	51.0	山形	51.0
17	鹿児島	50.4	鳥栖	50.4	横浜FC	50.3	徳島	50.4	神戸	50.7	鹿児島	50.6	愛媛	50.7	熊本	51.0
18	横浜FM	50.4	福岡	50.4	清水	50.2	町田	50.1	長崎	50.4	山形	50.6	徳島	50.1	神戸	50.9
19	G大阪	50.3	仙台	50.3	FC東京	50.2	山口	50.1	京都	50.3	浦和	50.4	名古屋	50.1	仙台	50.8
20	長崎	50.3	湘南	50.3	山口	50.2	F東京	50.0	柏	50.2	長崎	50.4	栃木	50.1	福岡	50.7
21	磐田	50.2	名古屋	50.3	山形	50.0	浦和	49.9	湘南	50.2	千葉	50.4	大宮	49.9	湘南	50.2
22	名古屋	50.0	山形	50.3	徳島	49.9	栃木	49.7	仙台	50.0	松本	50.4	町田	49.7	鹿児島	50.1
23	神戸	50.0	甲府	50.3	鹿児島	49.9	千葉	49.5	栃木	49.9	甲府	50.1	仙台	49.5	金沢	49.7
24	岡山	50.0	千葉	50.1	松本	49.9	讃岐	49.5	横浜FC	49.8	熊本	50.1	京都	49.4	讃岐	49.4
25	新潟	49.9	横浜FC	50.1	名古屋	49.8	大分	49.5	松本	49.6	横浜FC	50.0	鹿児島	49.4	清水	48.9
26	山口	49.7	C大阪	50.0	京都	49.6	仙台	49.2	鹿児島	49.6	水戸	49.7	清水	49.2	栃木	48.8
27	甲府	49.7	大宮	50.0	湘南	49.5	岡山	49.2	甲府	49.4	岡山	49.7	岐阜	49.2	磐田	48.6
28	京都	49.7	岡山	50.0	浦和	49.4	名古屋	48.9	金沢	49.3	大宮	49.3	新潟	49.2	C大阪	48.5
29	金沢	49.7	神戸	49.9	大宮	49.4	甲府	48.9	琉球	49.3	東京V	49.3	横浜FM	48.9	名古屋	47.8
30	町田	49.6	徳島	49.7	仙台	49.1	山形	48.6	大宮	49.2	徳島	49.3	FC東京	48.6	横浜FC	47.5
31	横浜FC	49.5	水戸	49.6	町田	49.1	東京V	48.4	東京V	49.2	栃木	49.0	C大阪	47.9	大宮	47.4
32	大宮	48.9	東京V	49.3	千葉	49.0	愛媛	48.3	新潟	49.1	町田	48.5	神戸	47.2	千葉	46.8
33	仙台	48.7	愛媛	49.0	岡山	48.8	水戸	48.2	千葉	49.1	湘南	48.2	柏	47.0	新潟	46.7
34	琉球	48.4	熊本	48.8	新潟	48.8	岐阜	48.1	岡山	48.7	岐阜	48.2	磐田	46.8	横浜FM	46.6
35	栃木	48.2	岐阜	48.7	甲府	48.6	湘南	47.8	福岡	48.5	讃岐	48.2	福岡	46.4	G大阪	46.6
36	徳島	48.0	讃岐	48.1	琉球	48.4	大宮	47.8	山口	48.1	愛媛	47.9	横浜FC	46.1	F東京	46.2
37	千葉	47.6	栃木	47.1	金沢	48.4	熊本	47.8	徳島	48.0	山口	47.8	G大阪	46.0	浦和	45.9
38	愛媛	46.5	新潟	46.5	愛媛	47.8	金沢	47.5	町田	47.6	新潟	47.1	千葉	45.8	柏	45.8
39	福岡	45.9	京都	45.4	福岡	47.7	新潟	46.7	愛媛	47.3	金沢	45.8	浦和	45.0	東京V	43.8
40	岐阜	42.7	金沢	41.7	岐阜	45.5	京都	45.4	岐阜	45.0	京都	45.6	東京V	42.4	京都	43.3

※数値は、5段階評定尺度(あてはまる:5~あてはまらない:1)でもとめたスコアの平均値を偏差値換算したものである

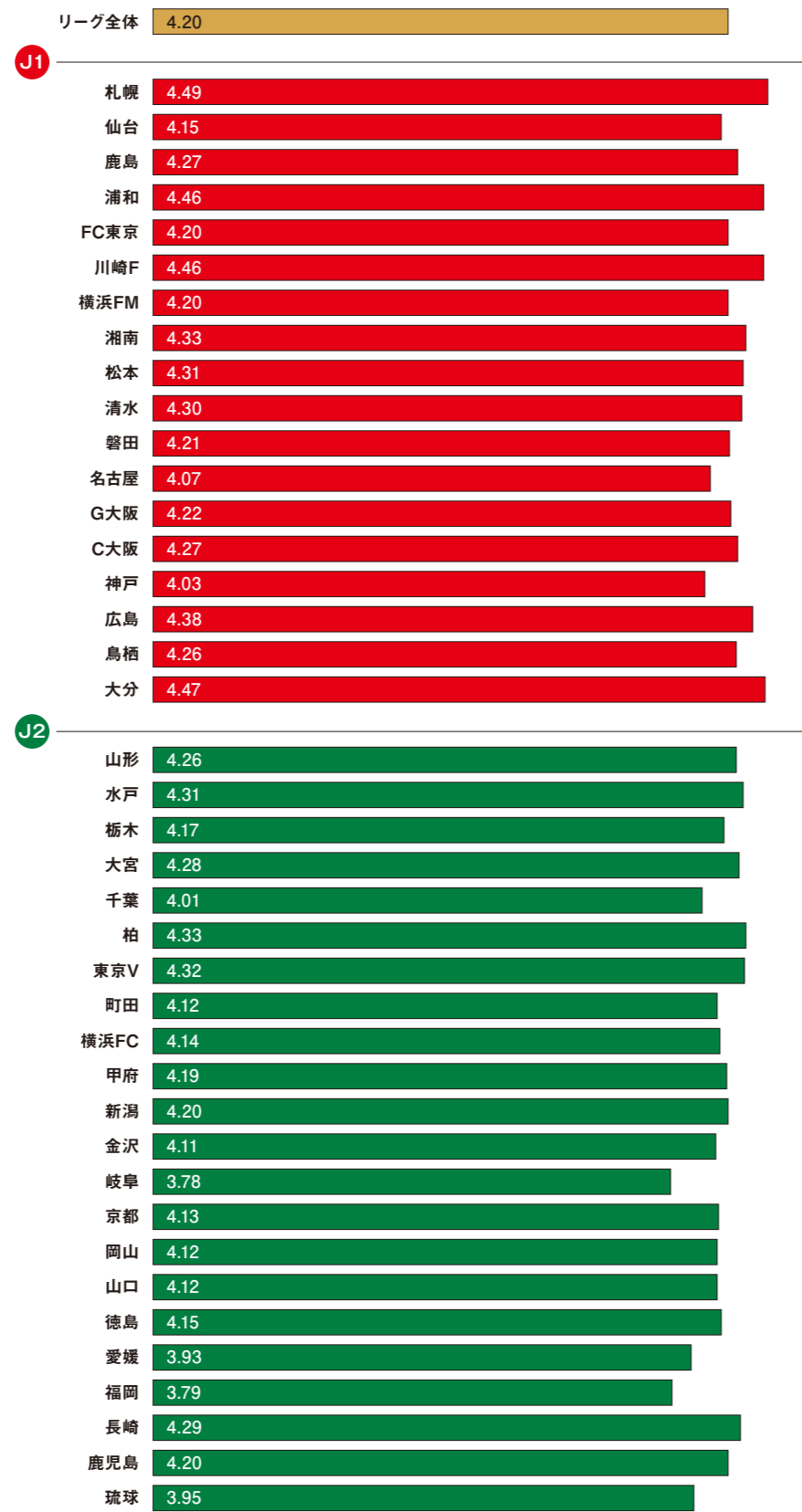


## 札幌(4.49)、大分(4.47)、浦和・川崎F(4.46)に高い傾向

観戦者のチームアイデンティフィケーションは、とても強く、平均で4.20(5点満点)となっている。札幌(4.49)、大分(4.47)、浦和・川崎F(4.46)に高い傾向がみられ、岐阜(3.78)、福岡(3.79)、愛媛(3.93)、琉球(3.95)に低い傾向がみられる。

### チームアイデンティフィケーション

集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=14,693)

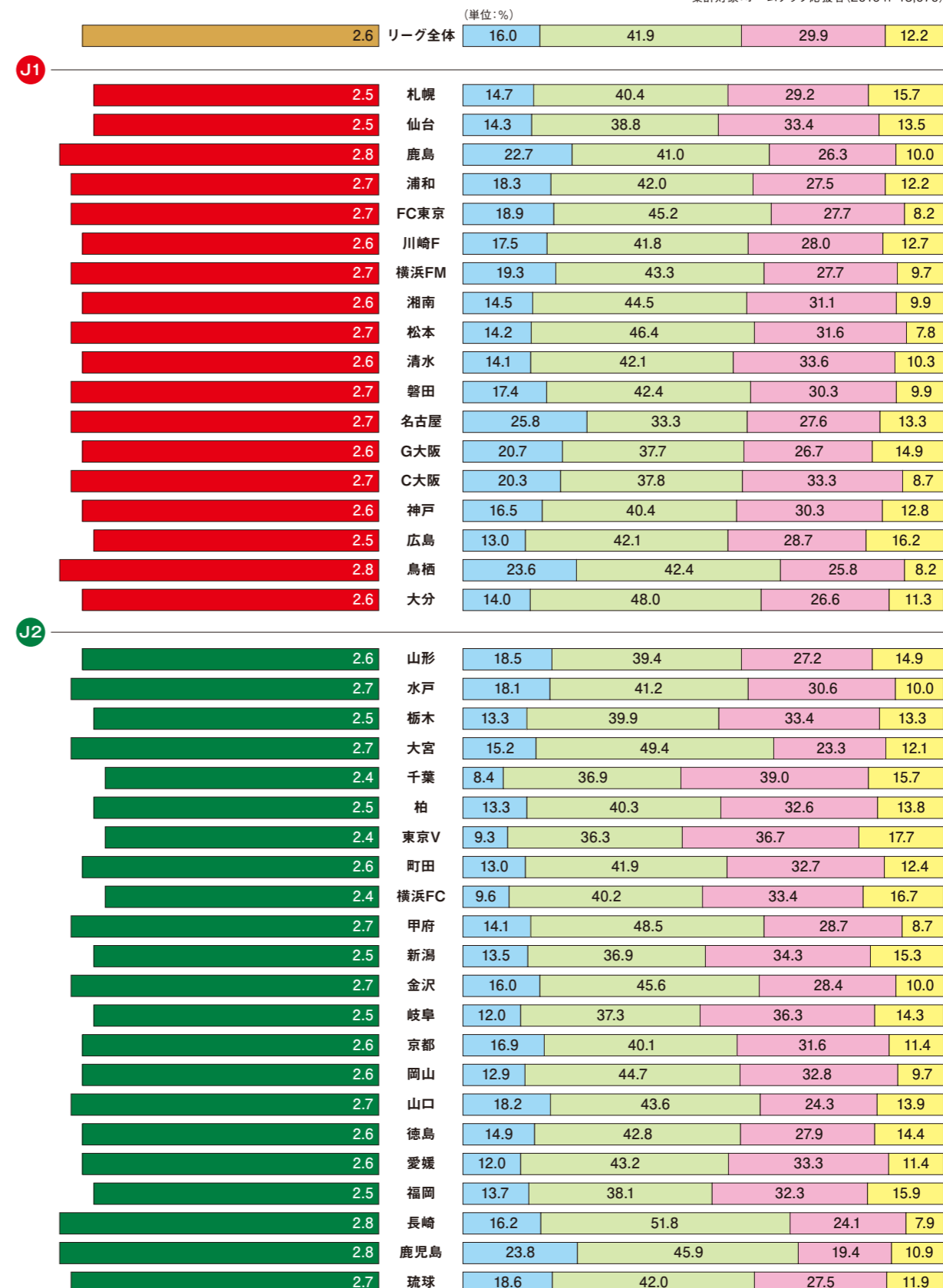


## 57.9%(よく誘う+時々誘う)の人がJリーグ観戦に誘っている

周囲の人をJリーグ観戦に誘うか、という「勧誘行動」については、「よく誘う」(16.0%)と「時々誘う」(41.9%)を合わせ、57.9%の観戦者が勧誘行動をしている。特に 鹿島・鳥栖・長崎・鹿児島(いずれも2.8)の観戦者に、勧誘行動が活発である傾向がみられる。

### スタジアム観戦についての勧誘行動

集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=15,070)



\*ポイントは、四段階順序尺度(よく誘う:4~まったく誘わない:1)で求めた回答の平均値である。



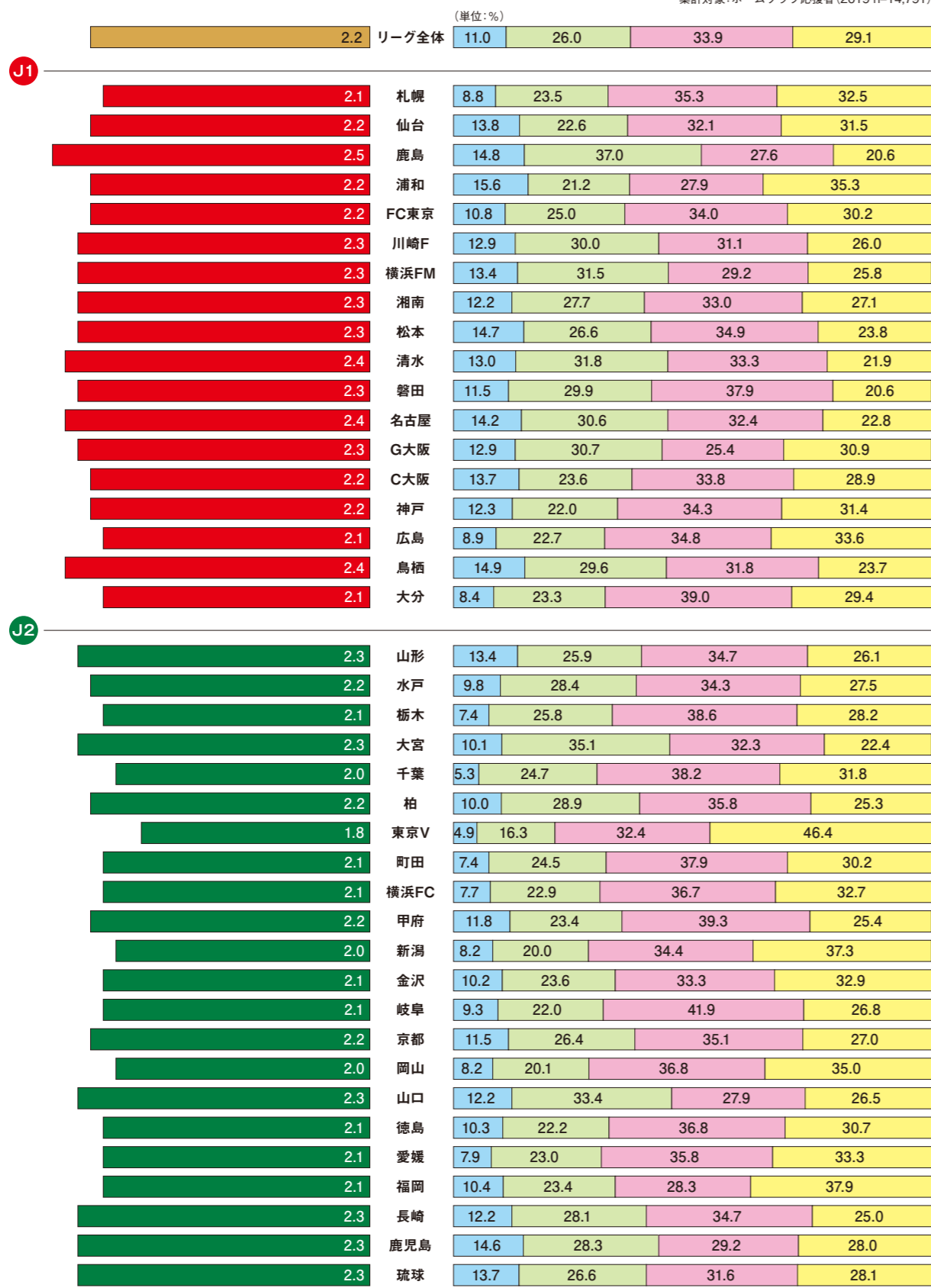
### 37.0% (よく誘われる+時々誘われる)の人が Jリーグ観戦に誘われている

周囲の人からJリーグ観戦に誘われますか、という「被勧誘行動」については、「よく誘われる」(11.0%)と「時々誘われる」(26.0%)を合わせ、37.0%の観戦者が周囲の人から勧誘されている。

#### スタジアム観戦についての被勧誘行動

よく誘われる 時々誘われる あまり誘われない まったく誘われない

集計対象: ホームクラブ応援者 (2019 n=14,791)

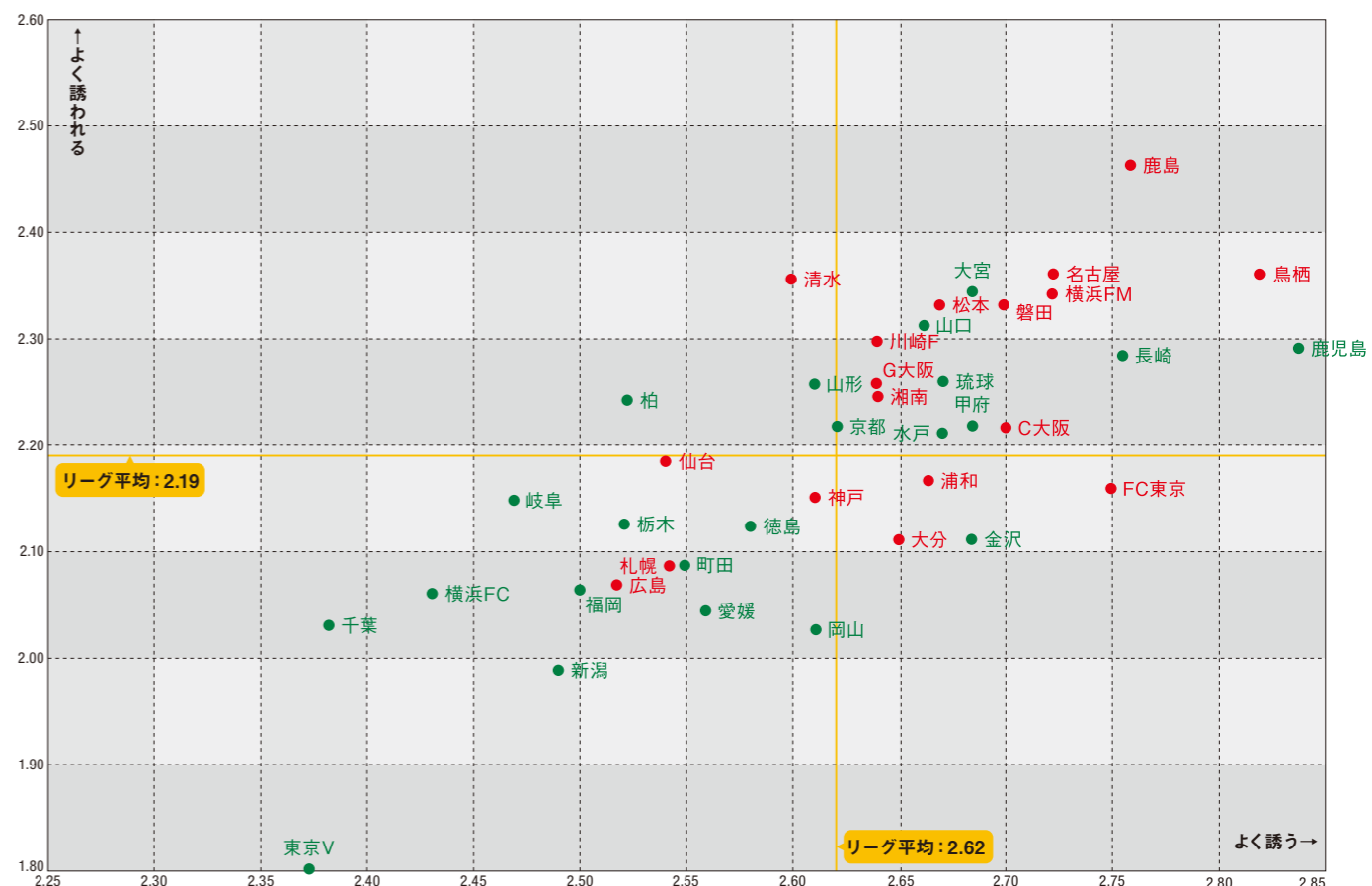


※ポイントは、四段階順序尺度(よく誘う:4 ~まったく誘わない:1)で求めた回答の平均値である。

### よく誘い合うのは鹿島、鳥栖、鹿児島

勧誘行動(P33)と被勧誘行動(P34)の関係から各クラブをプロットした結果、鹿島、鳥栖、鹿児島は観戦者間で、相互の勧誘行動が盛んであることがわかる。

#### スタジアム観戦についての勧誘行動・被勧誘行動

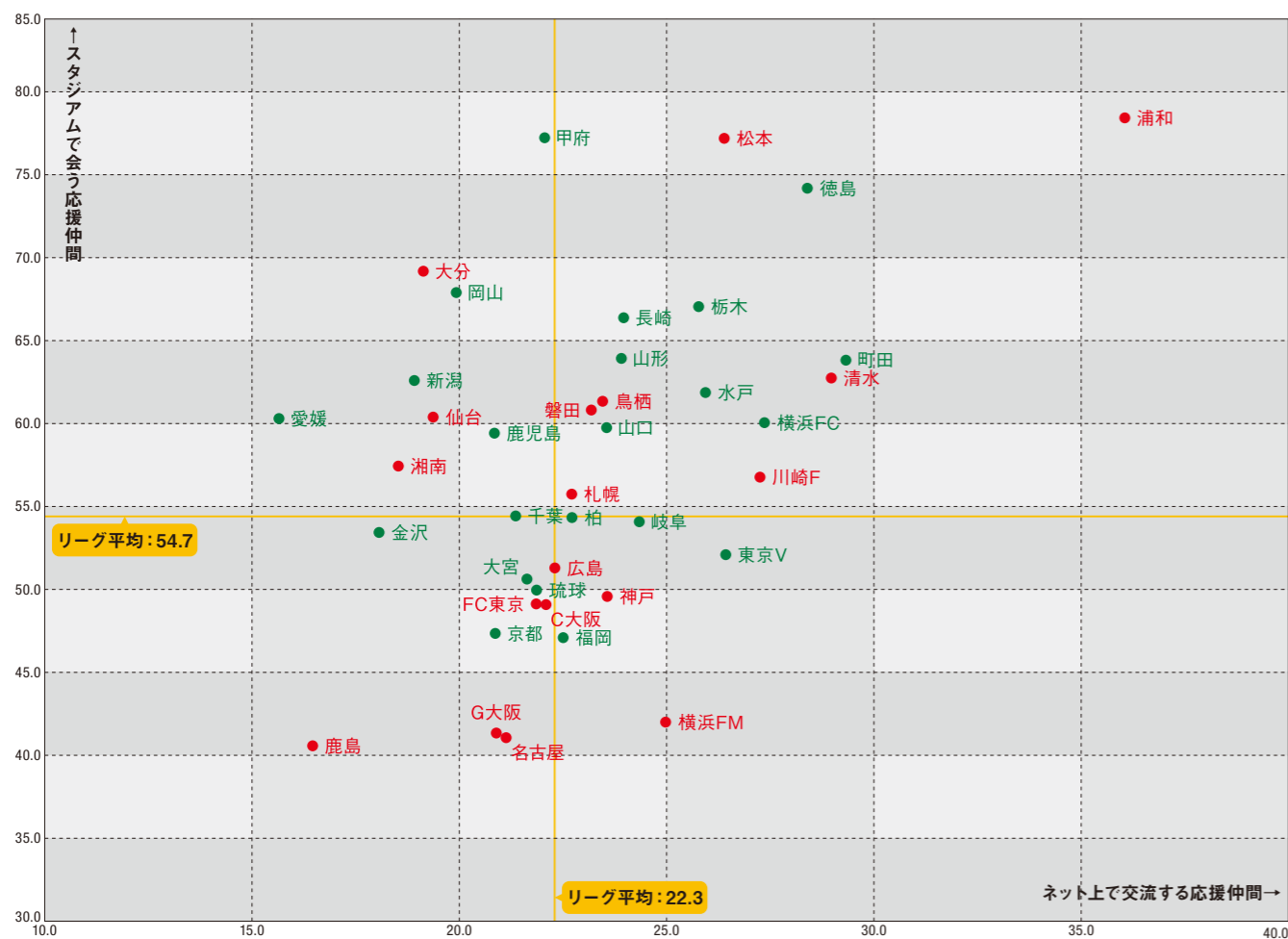




## 54.7%に「スタジアムでの観戦の仲間がいる」 22.3%に「ネット上での観戦の仲間がいる」

「スタジアムでの観戦の仲間がいる」とする割合は6割(54.7%)である。浦和(78.4%)松本、甲府(77.1%)、徳島(74.4%)でその割合が高い傾向があり、鹿島(40.5%)、名古屋(41.1%)、G大阪(41.3%)、横浜FM(41.5%)で低い傾向がみられる。ソーシャルメディアなどの「ネット上での観戦の仲間がいる」とする割合は2割(22.3%)である。浦和(36.2%)、町田(29.3%)、清水(29.2%)でその割合が高い傾向がみられる。

### ファンコミュニティ



Fan Behavior  
観戦行動の特徴



# J1・J2観戦頻度

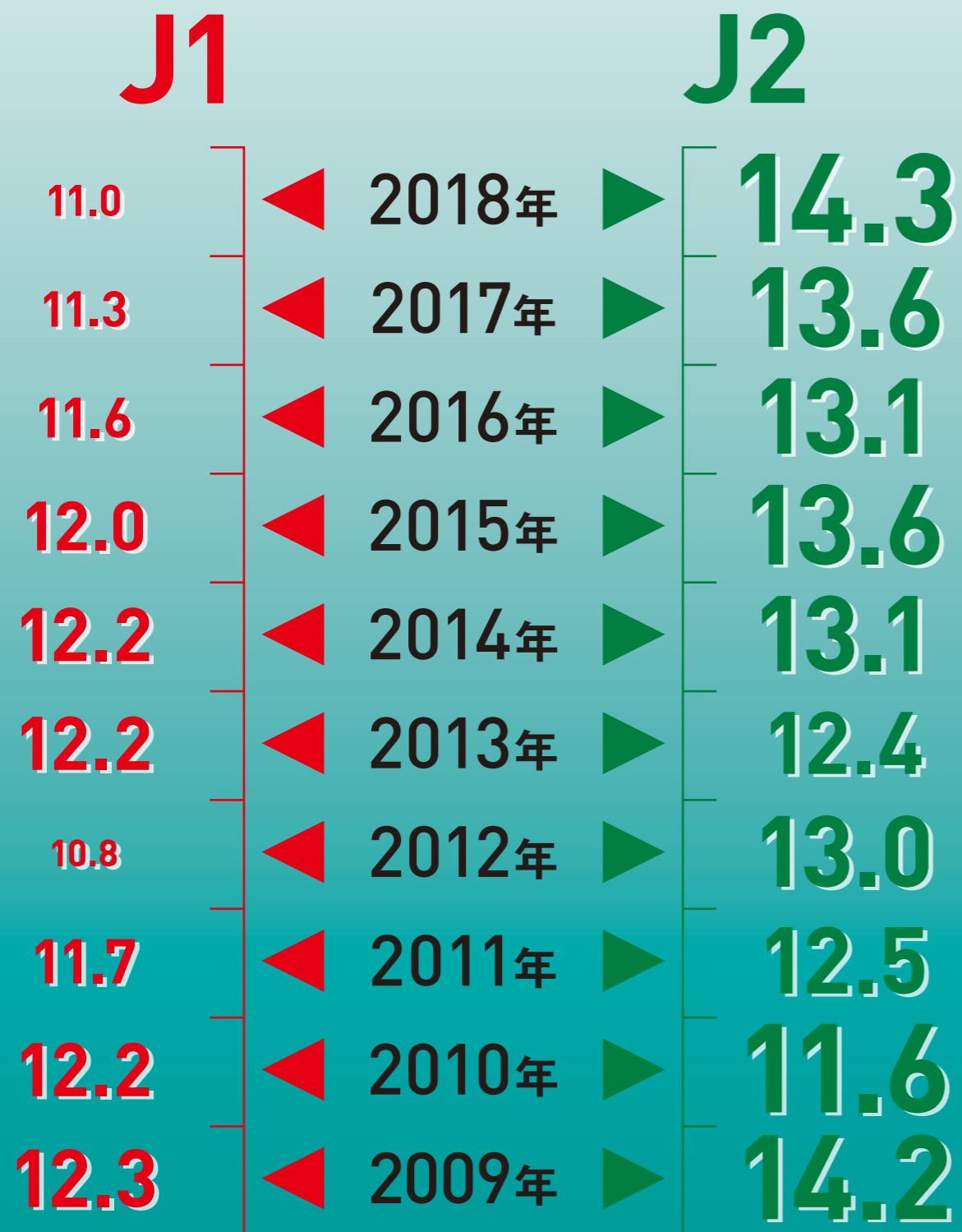
※各調査年における前シーズンの観戦実績についての設問

J1は微減、J2は微増。

2018年の観戦頻度は、2017年と比較すると、J1は減少、J2は増加している。

J2の試合数の変化は以下のとおりです。

J2 試合数	2018:42試合	2017:42試合	2016:42試合	2015:42試合	2014:42試合	2013:42試合
	2012:42試合	2011:38試合	2010:36試合	2009:51試合		



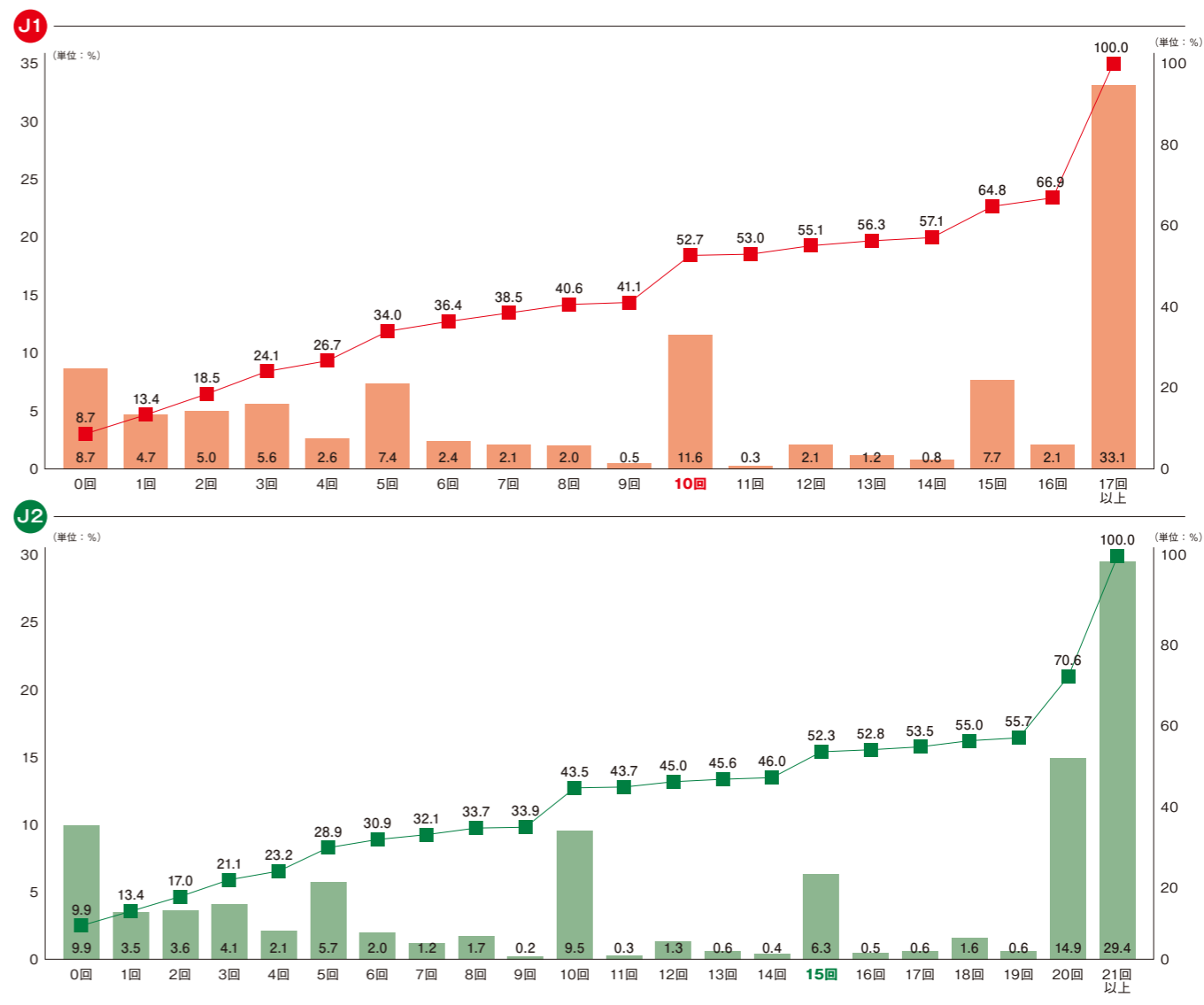
集計対象: J1 全回答者 [2018 n=7,525 2017 n=7,470 2016 n=7,560 2015 n=7,464 2014 n=7,509 2013 n=7,207 2012 n=7,329 2011 n=6,965 2010 n=7,768 2009 n=7,785]  
集計対象: J2 全回答者 [2018 n=9,155 2017 n=8,933 2016 n=8,877 2015 n=8,834 2014 n=8,240 2013 n=8,480 2012 n=8,407 2011 n=7,417 2010 n=7,417 2009 n=6,981]

# J1は「10回」、J2は「15回」が、スタジアム観戦頻度の中央値

J1の観戦者の33.1%が「シーズンあたり17回以上」、J2の観戦者の29.4%が「シーズンあたり21回以上」スタジアムに会場し、観戦すると回答している。J1は「10回」、J2は「15回」が年間観戦頻度の中央値であり、この傾向は昨シーズン同様である。

観戦頻度(2018シーズン実績) ※2018シーズン観戦実績についての質問

集計対象: J1 全回答者 (n=7,525) J2 全回答者 (n=9,155)





## J1平均は「11.0回/年」、J2平均は「14.3回/年」

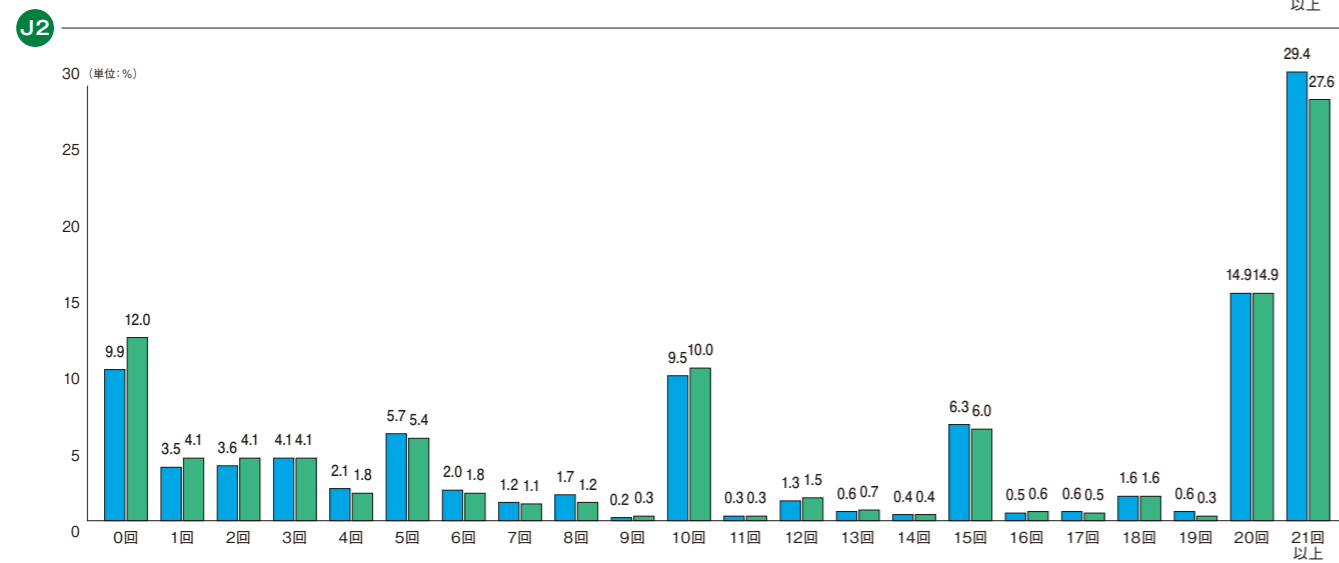
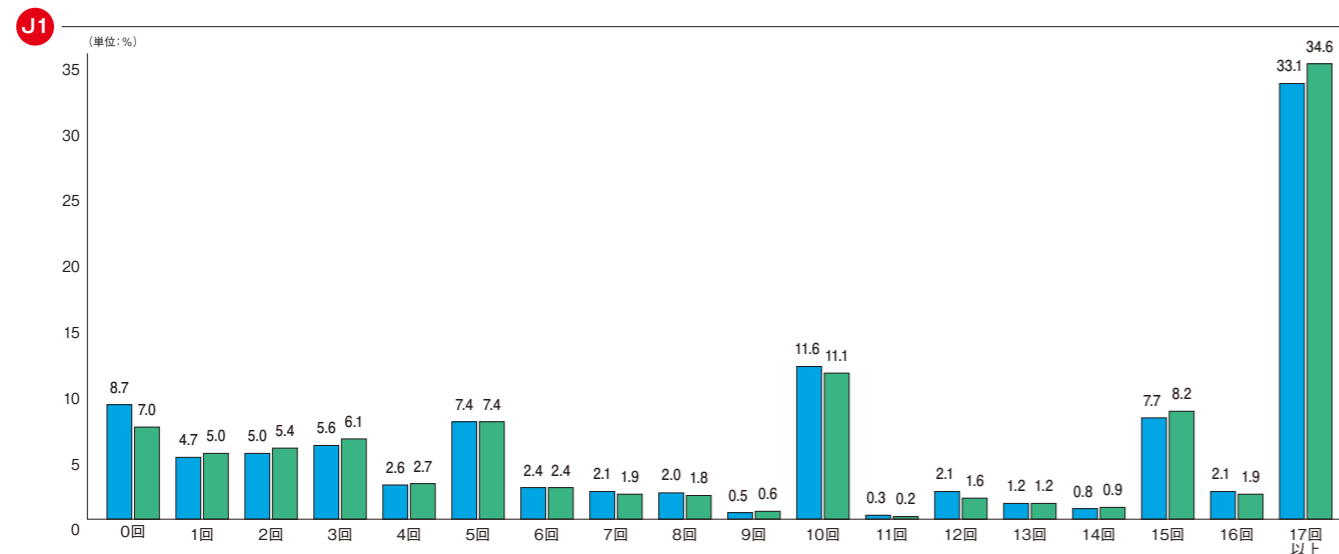
年間の平均観戦頻度については、J1リーグの観戦者が11.0回(昨年対比-0.3回)、J2リーグの観戦者が14.3回(昨年対比+0.7回)となっている。J1では浦和(16.4回)、川崎F(14.5回)などに、J2では東京V(18.0回)、甲府(17.9回)などに平均観戦頻度が高い傾向がみられる。

### 観戦頻度(2018/2017比較)

※2019シーズン調査対象による2018シーズンの観戦実績と  
2018シーズン調査対象による2017シーズンの観戦実績を比較

■ 2018実績 ■ 2017実績

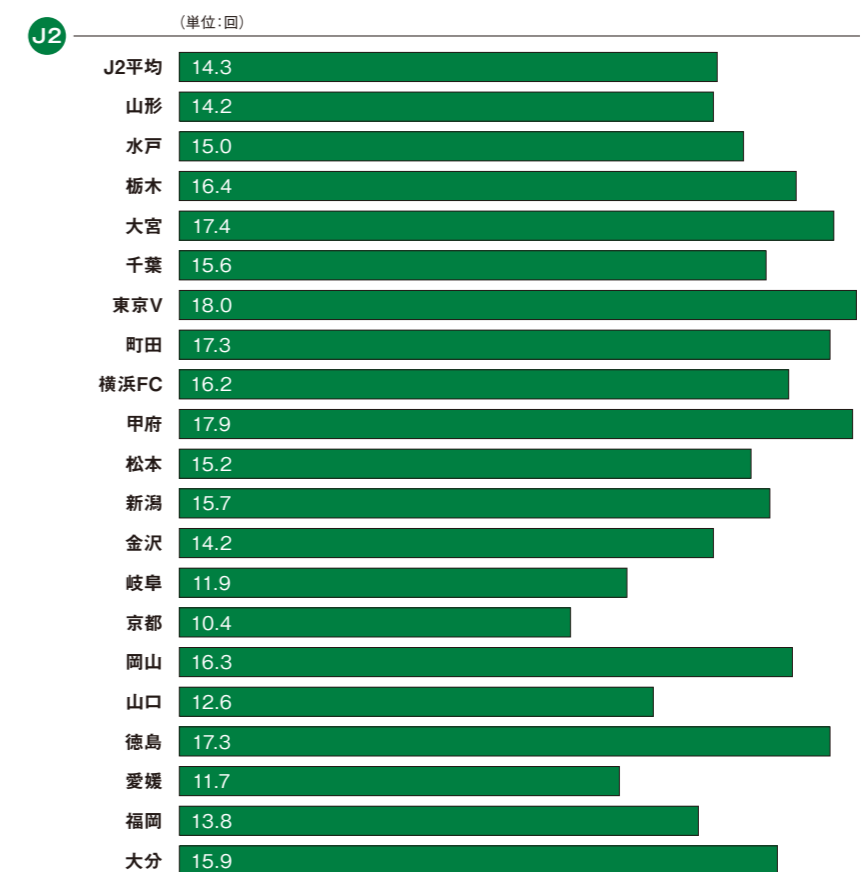
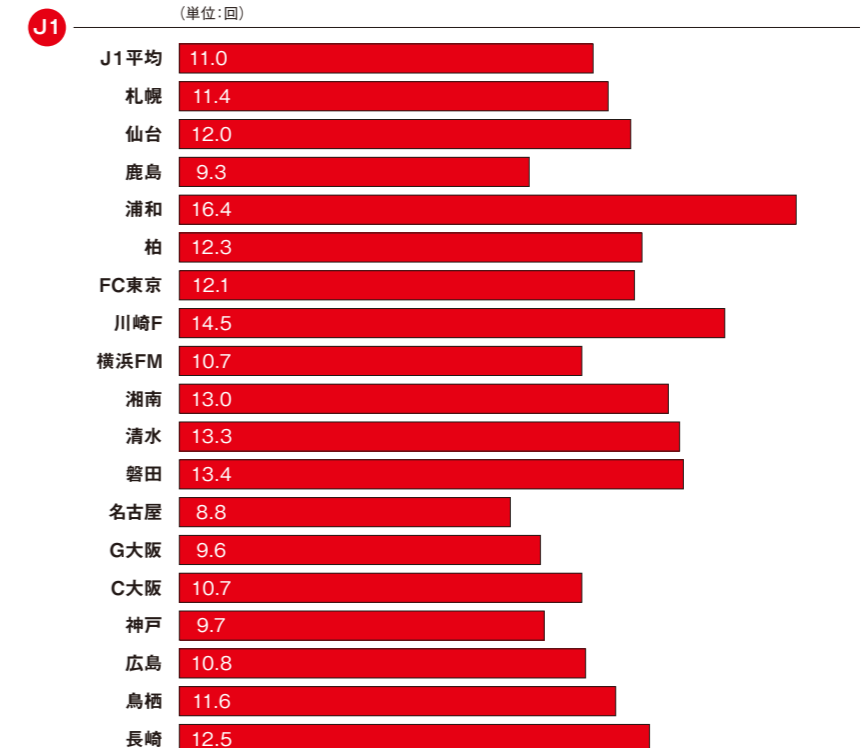
集計対象：J1全回答者(2018 n=7,525/2017 n=7,470) J2全回答者(2018 n=9,155/2017 n=8,933)



### 平均観戦頻度(2018シーズン実績・クラブ別)

※2018シーズン観戦実績についての質問

集計対象：J1全回答者(n=7,525) J1ホームクラブ応援者(n=6,805)  
集計対象：J2全回答者(n=9,155) J2ホームクラブ応援者(n=8,292)







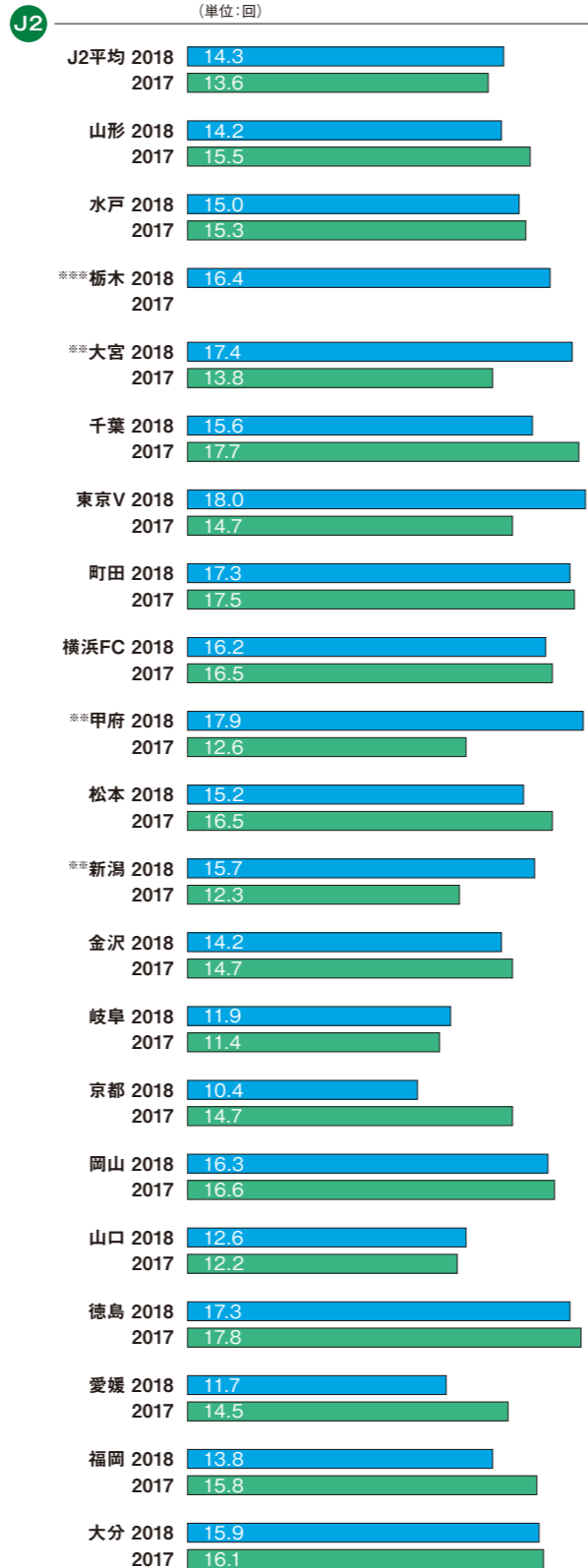
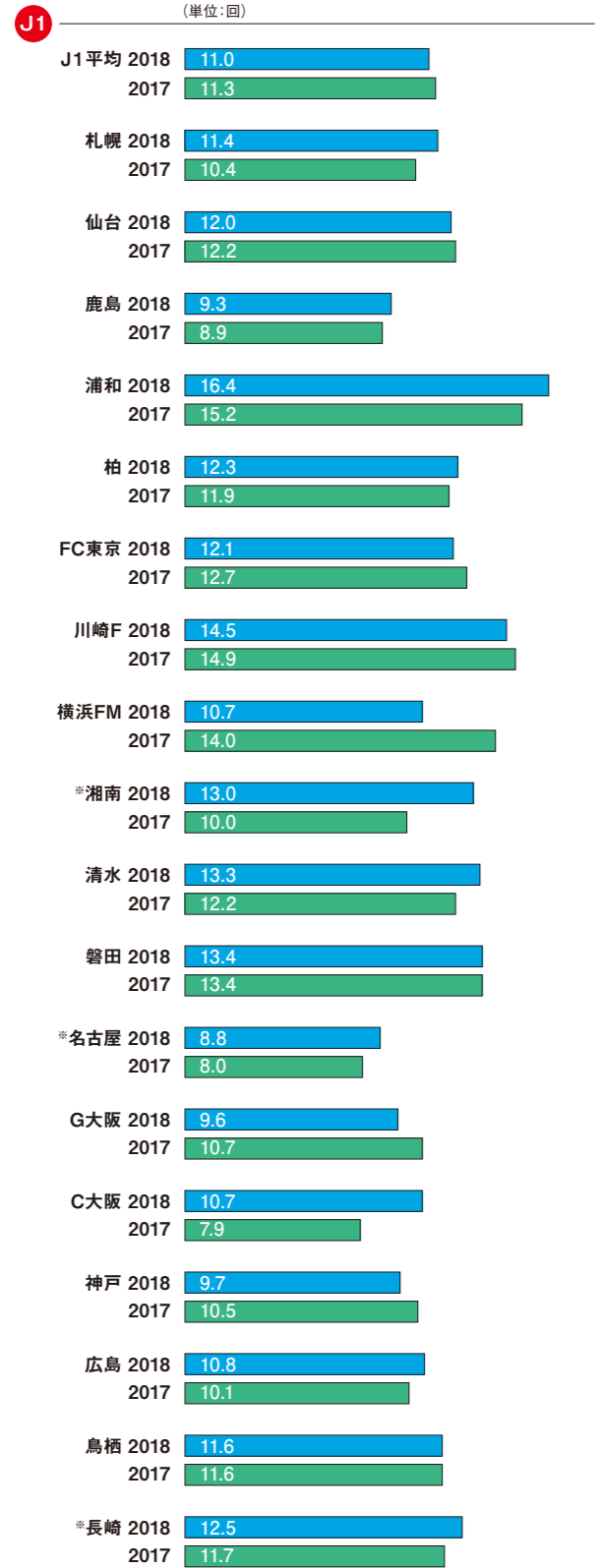
平均観戦頻度(2018/2017比較)

※2019シーズン調査対象による2018シーズンの観戦実績と  
2018シーズン調査対象による2017シーズンの観戦実績を比較

■ 2018実績 ■ 2017実績

集計対象: J1全回答者(2018 n=7,525/2017 n=7,470)  
集計対象: J1ホームクラブ応援者(2018 n=6,805/2017 n=6,827)

集計対象: J2全回答者(2018 n=9,155/2017 n=8,933)  
集計対象: J2ホームクラブ応援者(2018 n=8,292/2017 n=7,944)

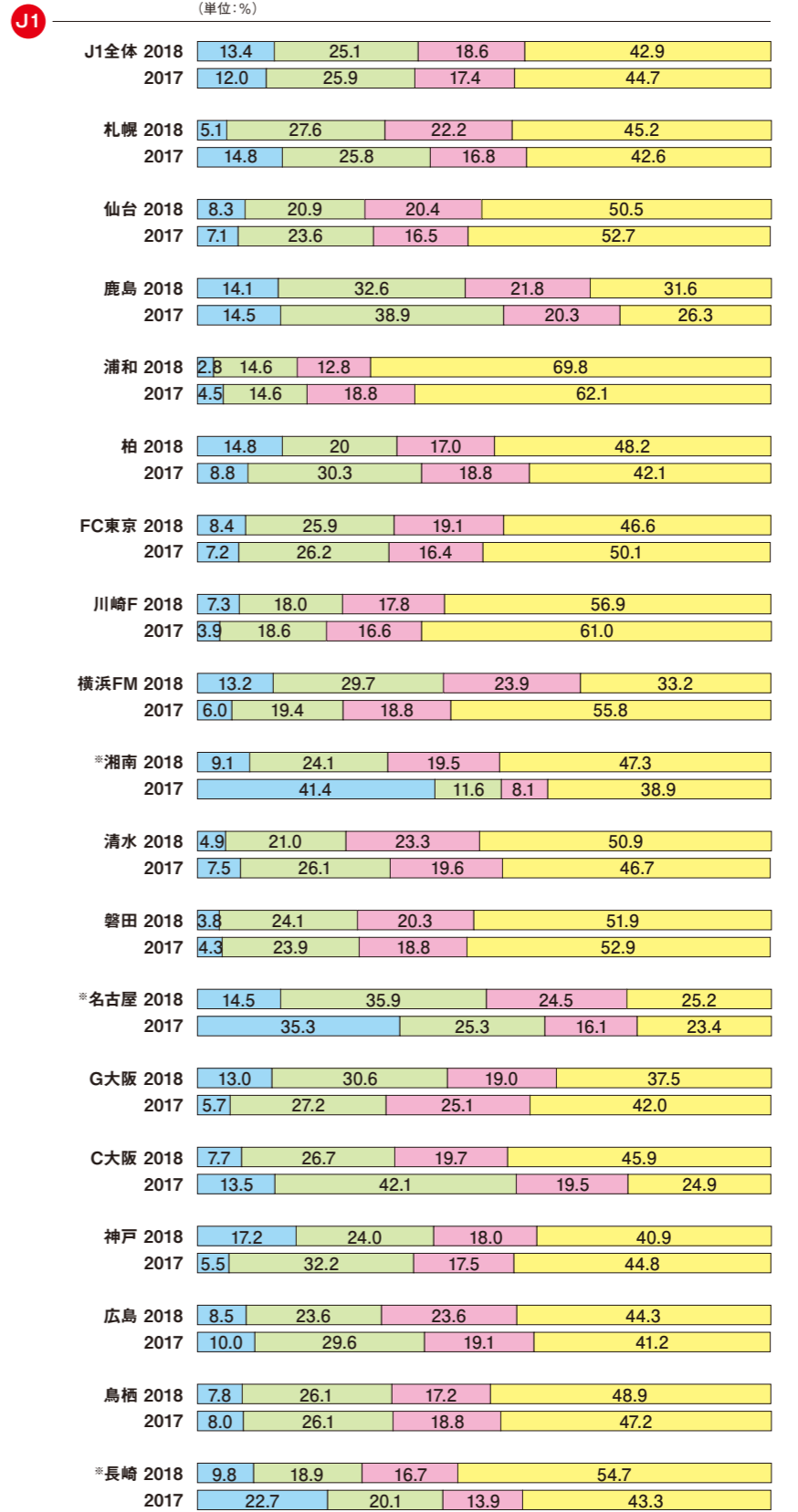


J1観戦頻度分析(2018/2017比較)

※2019シーズン調査対象による2018シーズンの観戦実績と  
2018シーズン調査対象による2017シーズンの観戦実績を比較

■ 0-1回 ■ 2-7回  
■ 8-14回 ■ 15回以上

集計対象: J1全回答者(2018 n=7,525/2017 n=7,470)  
集計対象: J1ホームクラブ応援者(2018 n=6,805/2017 n=6,827)



\*湘南、名古屋、長崎は2017シーズンJ2に所属 ※大宮、甲府、新潟は2017シーズンJ1に所属 ※栃木は2017シーズンJ3に所属

\*湘南、名古屋、長崎は2017シーズンJ2に所属



### J2観戦頻度分析(2018/2017比較)

※2019シーズン調査対象による2018シーズンの観戦実績と  
2018シーズン調査対象による2017シーズンの観戦実績を比較

■ 0-1回 ■ 2-7回  
■ 8-14回 ■ 15回以上

集計対象: J2 全回答者(2018 n=9,155/2017 n=8,933)  
集計対象: J2 ホームクラブ応援者(2018 n=8,292/2017 n=7,944)

		(単位:%)			
		0-1回	2-7回	8-14回	15回以上
J2全体	2018	13.4	18.7	13.9	54.0
	2017	16.1	18.1	14.3	51.5
山形	2018	11.0	22.7	14.8	51.5
	2017	6.6	15.0	15.3	63.2
水戸	2018	8.4	17.3	17.6	56.8
	2017	7.4	21.0	13.6	58.0
***栃木	2018	10.3	18.3	7.8	63.6
**大宮	2018	8.5	16.2	12.4	62.9
	2017	12.7	9.6	11.1	66.6
千葉	2018	9.8	18.7	13.5	58.0
	2017	7.1	10.4	14.5	68.0
東京V	2018	6.3	11.3	15.9	66.6
	2017	5.7	16.5	15.3	62.5
町田	2018	9.9	14.8	11.5	63.8
	2017	7.1	14.9	14.6	63.4
横浜FC	2018	9.6	15.5	16.4	58.5
	2017	8.6	15.0	16.1	60.3
**甲府	2018	5.0	15.5	12.4	67.1
	2017	12.1	21.5	16.4	50.0
**新潟	2018	6.8	15.2	14.1	63.9
	2017	11.1	18.1	17.6	53.2
松本	2018	8.2	13.6	12.8	65.4
	2017	6.1	15.4	10.9	67.7
金沢	2018	10.5	20.5	17.0	52.0
	2017	4.8	26.0	17.8	51.5
岐阜	2018	15.9	21.8	14.3	48.0
	2017	12.0	27.8	15.8	44.3
京都	2018	17.3	28.2	20.1	34.4
	2017	9.4	15.7	20.4	54.5
岡山	2018	4.2	16.2	17.0	62.7
	2017	7.1	14.5	14.0	64.3
山口	2018	9.6	26.4	17.3	46.7
	2017	14.4	27.8	15.9	41.9
徳島	2018	6.6	11.7	11.7	70.0
	2017	7.1	10.3	15.5	67.1
愛媛	2018	10.0	27.9	20.9	41.2
	2017	7.8	16.7	21.3	54.2
福岡	2018	3.5	24.1	20.3	52.0
	2017	5.1	15.5	17.8	61.6
大分	2018	3.2	13.9	14.5	68.4
	2017	4.7	9.9	18.4	67.0

\*\*\*大宮、甲府、新潟は2017シーズンJ1に所属 ※栃木は2017シーズンJ3に所属



### シーズンチケット所有者は観戦頻度が高い

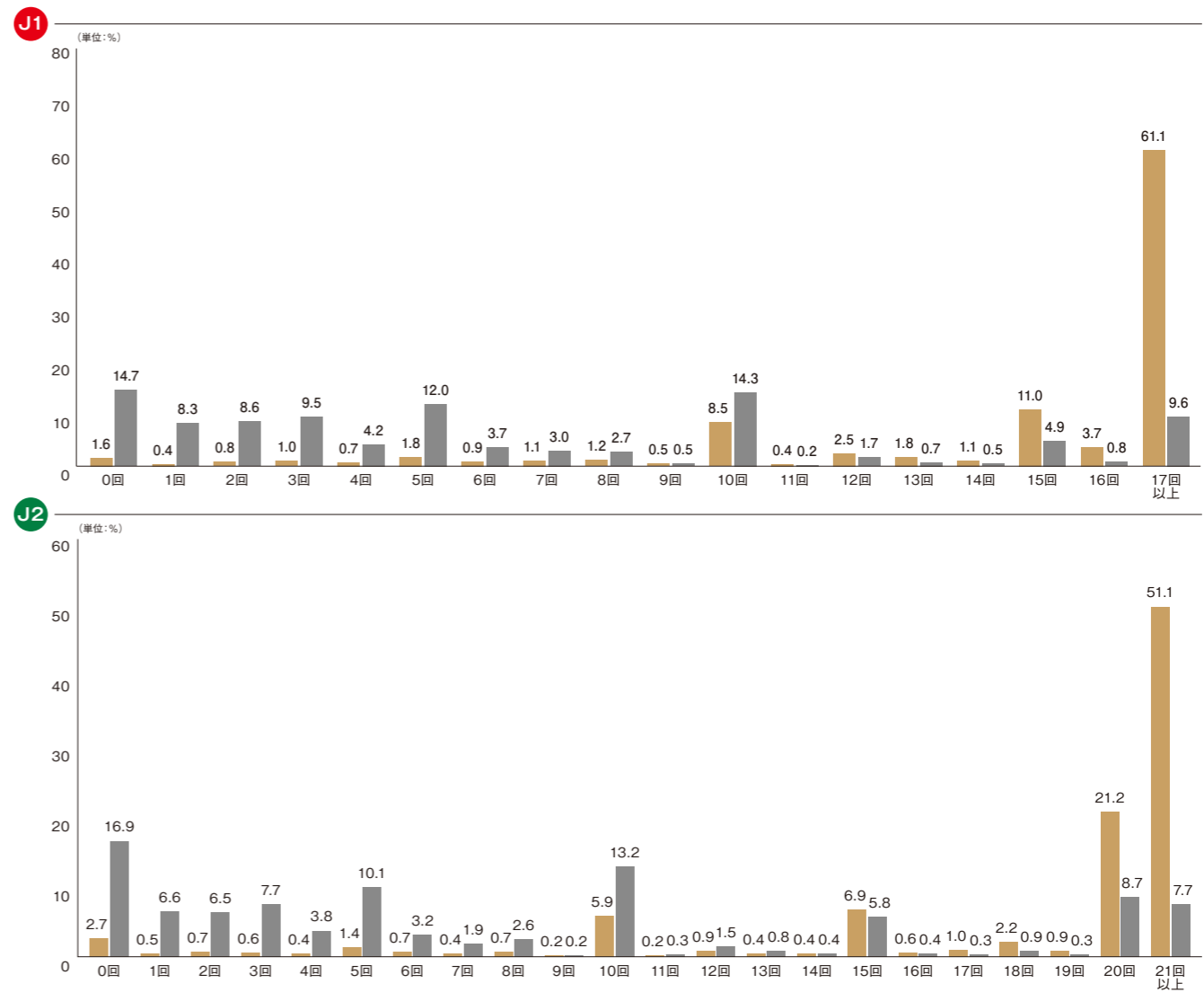
シーズンチケット所有者とそれ以外の観戦者として比較してみると、J1においてはシーズンチケット所有者の方が「17回以上」とする割合(61.1% vs 9.6%)が、またJ2においても同様に「21回以上」とする割合(51.1% vs 7.7%)が顕著に高くなっている。

### 平均観戦頻度(チケット種別)

※2018シーズン観戦実績についての質問

■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外

集計対象: J1 全回答者(n=7,429) 集計対象: J2 全回答者(n=9,016)





## シーズンチケット所有者の平均観戦回数は、J1が「16.3回」、J2が「20.2回」

シーズンチケット所有者とそれ以外の観戦者として比較すると、シーズンチケット所有者の平均観戦回数がかかなり高くなっている (J1:16.3回 vs 6.6回, J2:20.2回 vs 8.3回)。

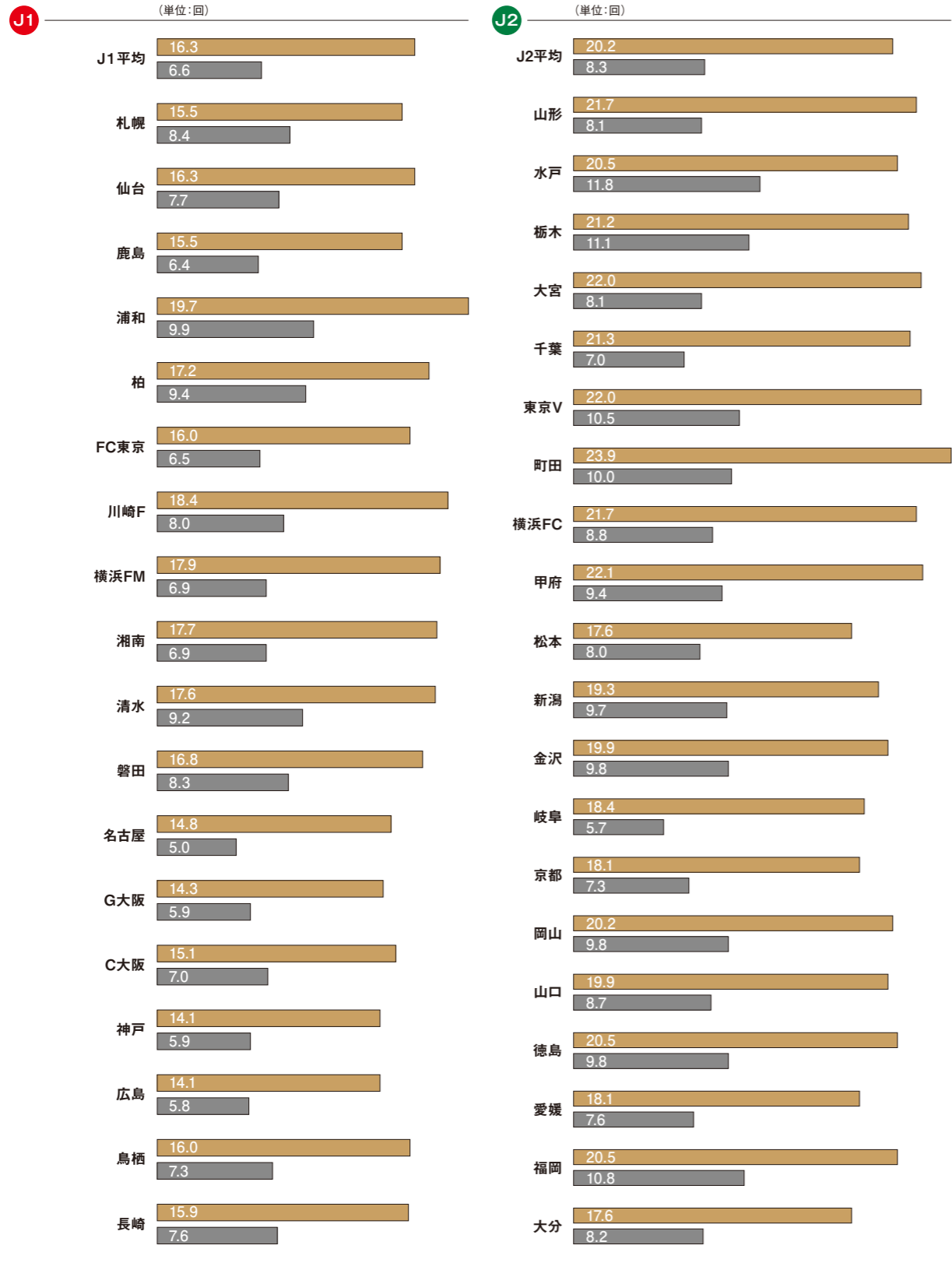
### 平均観戦頻度(チケット種別)

※2018シーズン観戦実績についての質問

■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外

集計対象: J 1 全回答者 (n=7,429)  
集計対象: J 1 ホームクラブ応援者 (n=6,722)

集計対象: J 2 全回答者 (n=9,016)  
集計対象: J 2 ホームクラブ応援者 (n=8,165)



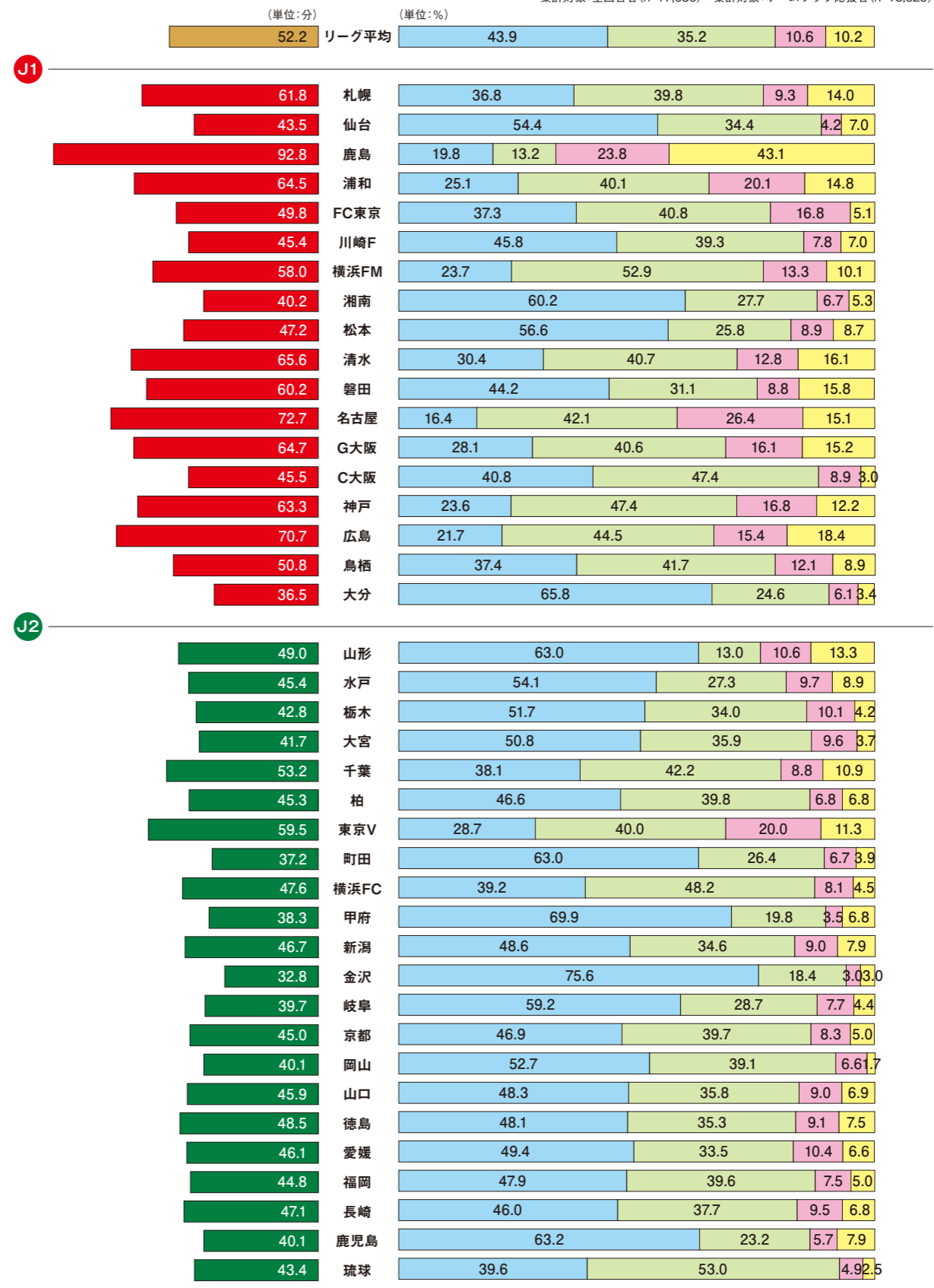
## スタジアムまでにかかる時間は、平均52.2分

観戦者全体のスタジアムへの平均アクセス時間は、52.2分である。その内訳となるアクセス時間分布では、60分以内は79.1%で、うち30分以内の割合が43.9%である。クラブ別にみると、鹿島(92.8分)、名古屋(72.7分)のアクセス時間が大きい傾向にあり、金沢(32.8分)、大分(36.5分)、町田(37.2分)、甲府(38.3分)などはアクセス時間が小さい傾向がみられる。

### 平均アクセス時間・アクセス時間分布(クラブ別)

■ 30分以内 ■ 31-60分 ■ 61-90分 ■ 91分以上

集計対象: 全回答者 (n=17,086) 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=15,329)



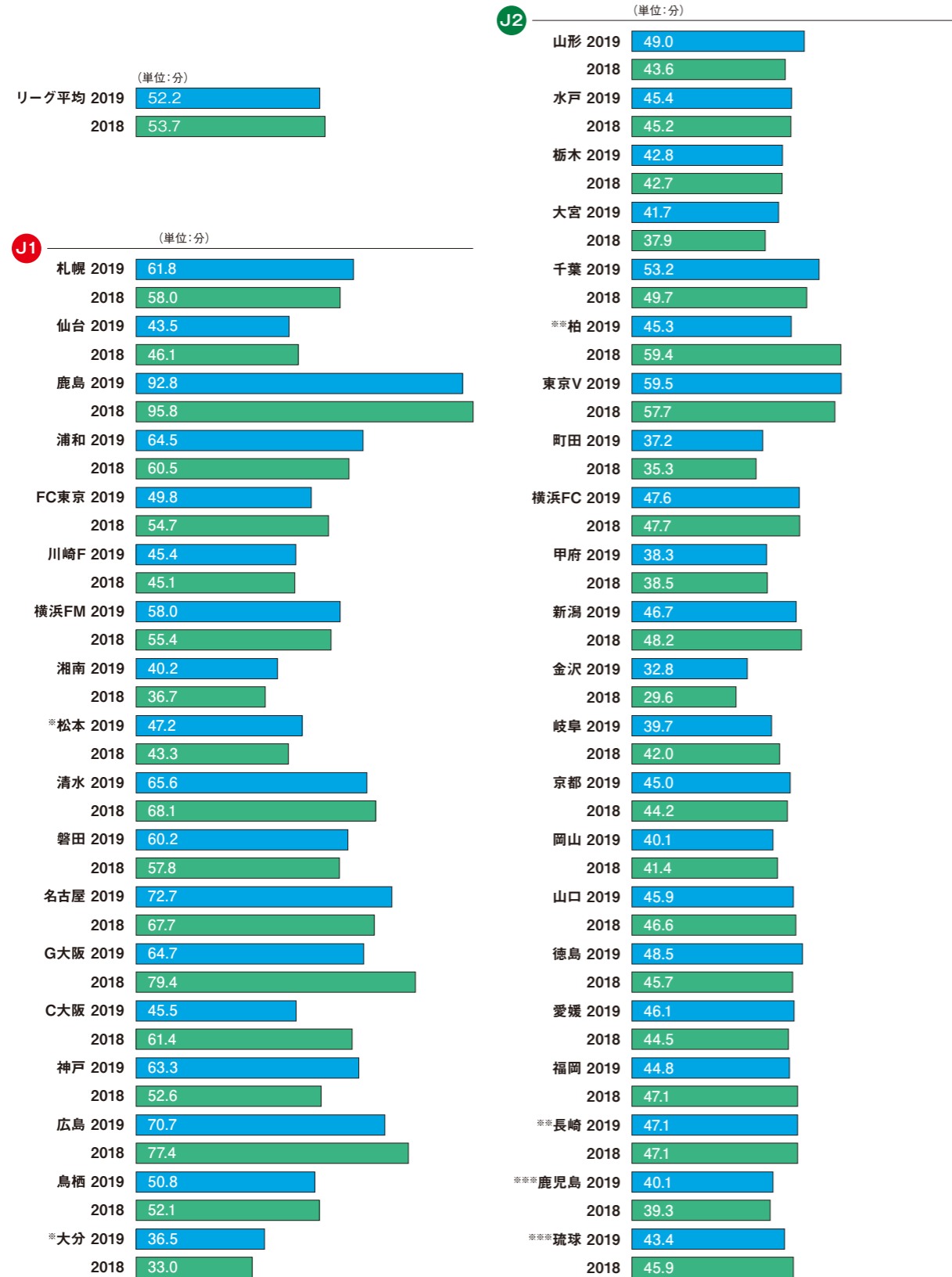




平均アクセス時間(2019/2018比較)

■ 2019実績 ■ 2018実績

集計対象:全回答者(2019 n=17,086/2018 n=17,102) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,329/2018 n=15,106)

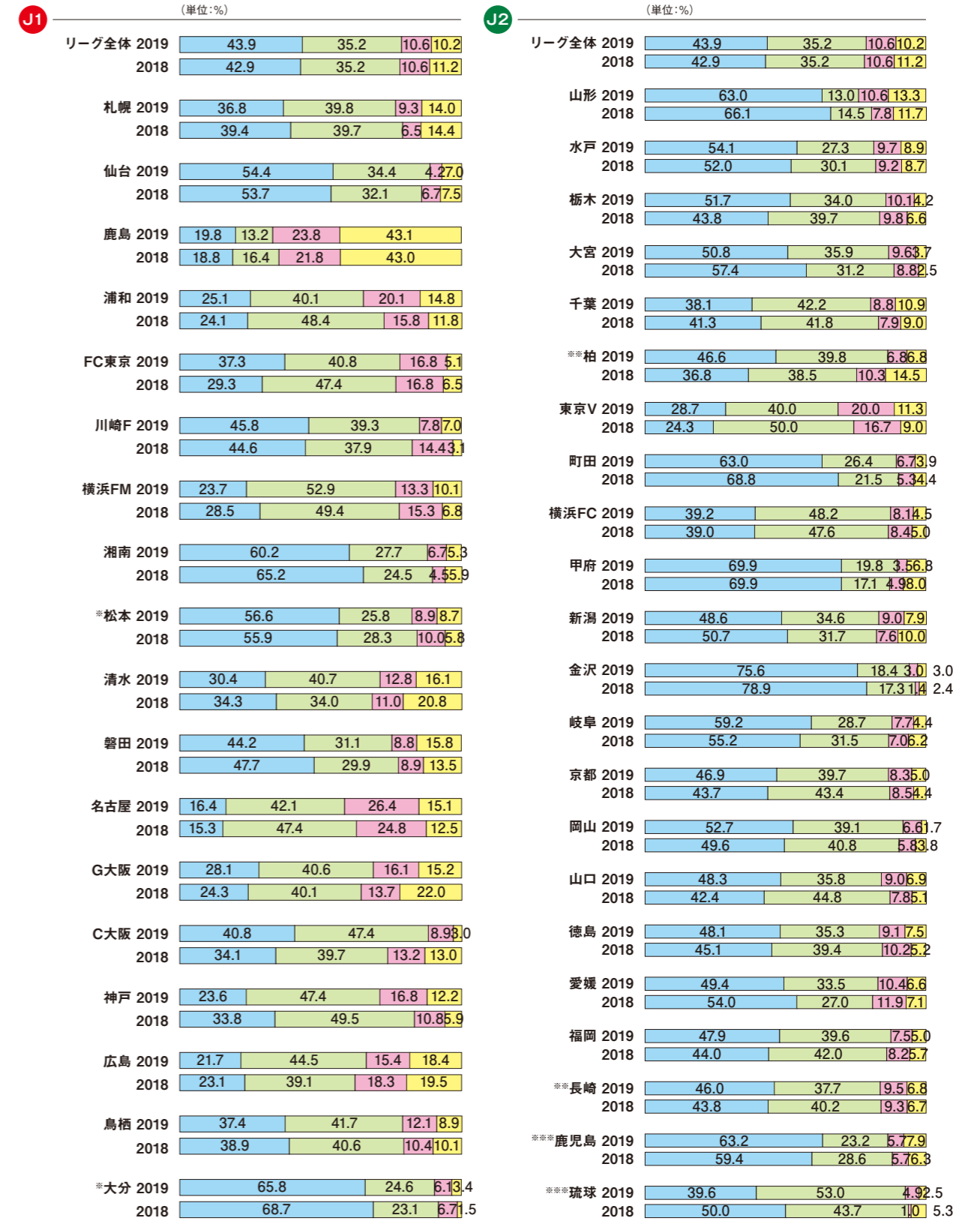


\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

平均アクセス時間分布(2019/2018比較)

■ 30分以内 ■ 31-60分 ■ 61-90分 ■ 91分以上

集計対象:全回答者(2019 n=17,086/2018 n=17,102) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=15,329/2018 n=15,106)

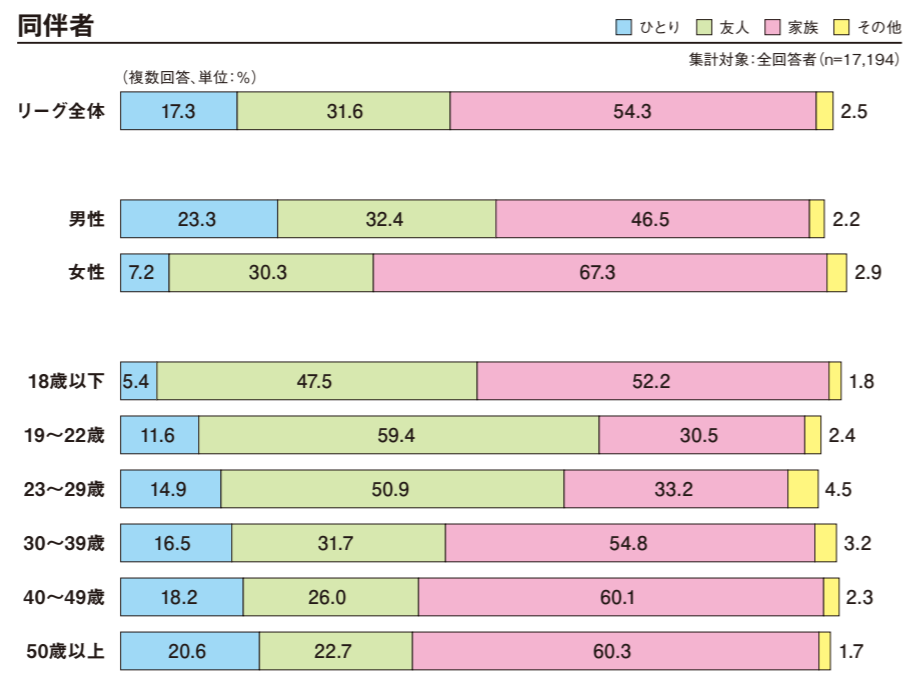


\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属



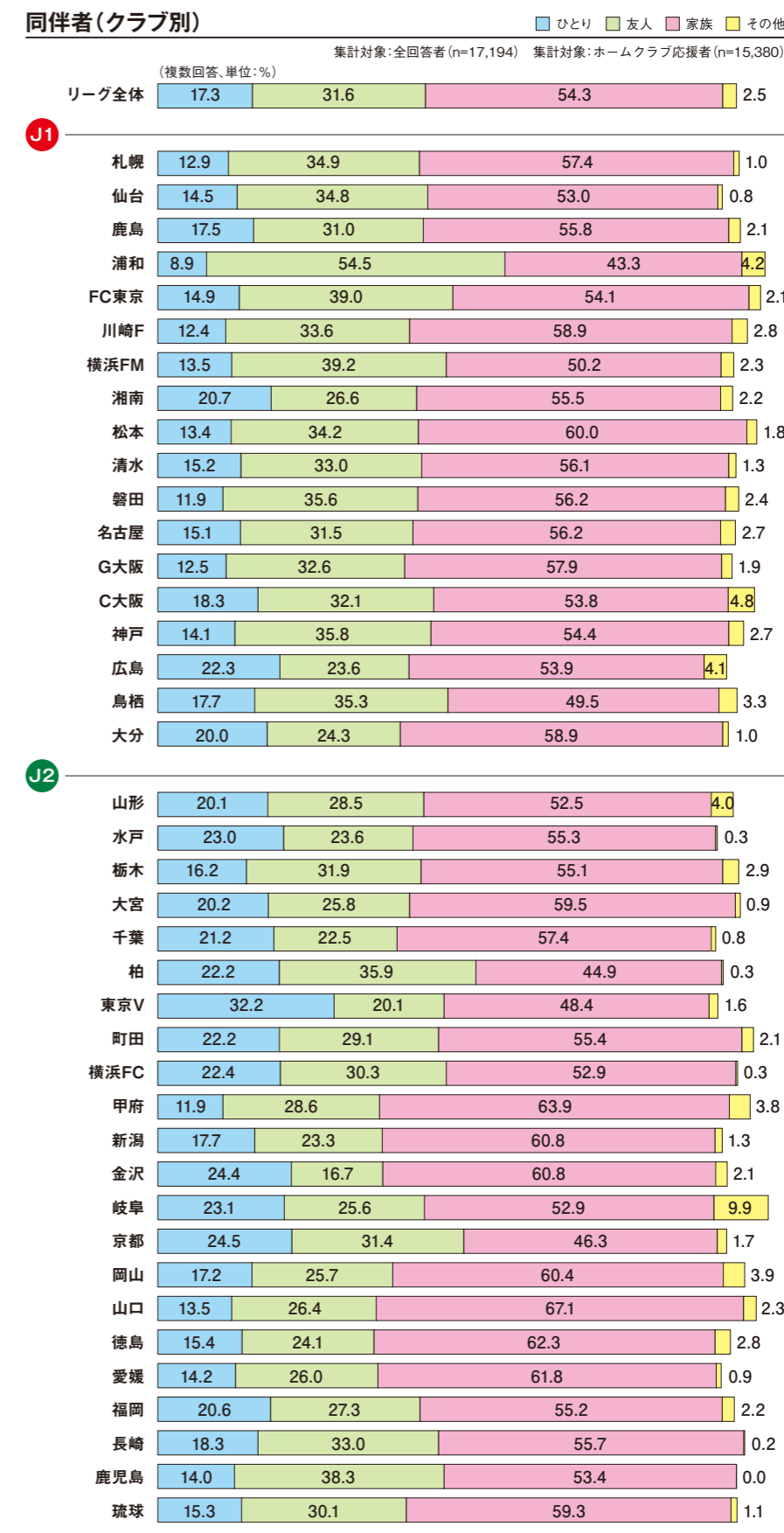
## 54.3%が「家族」と一緒にスタジアム観戦

「家族」と一緒に観戦する観戦者が54.3%で最も多く、次いで「友人」とが31.6%である。「ひとり」で来場する割合は全体の17.3%である。男性に「ひとり」で来場する割合が高い傾向（男性:23.3%、女性:7.2%）、女性に「家族」と来場する割合が高い傾向（男性:46.5%、女性:67.3%）がみられる。また、30代以上に「家族」と来場する割合が高い傾向、29歳以下に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられる。



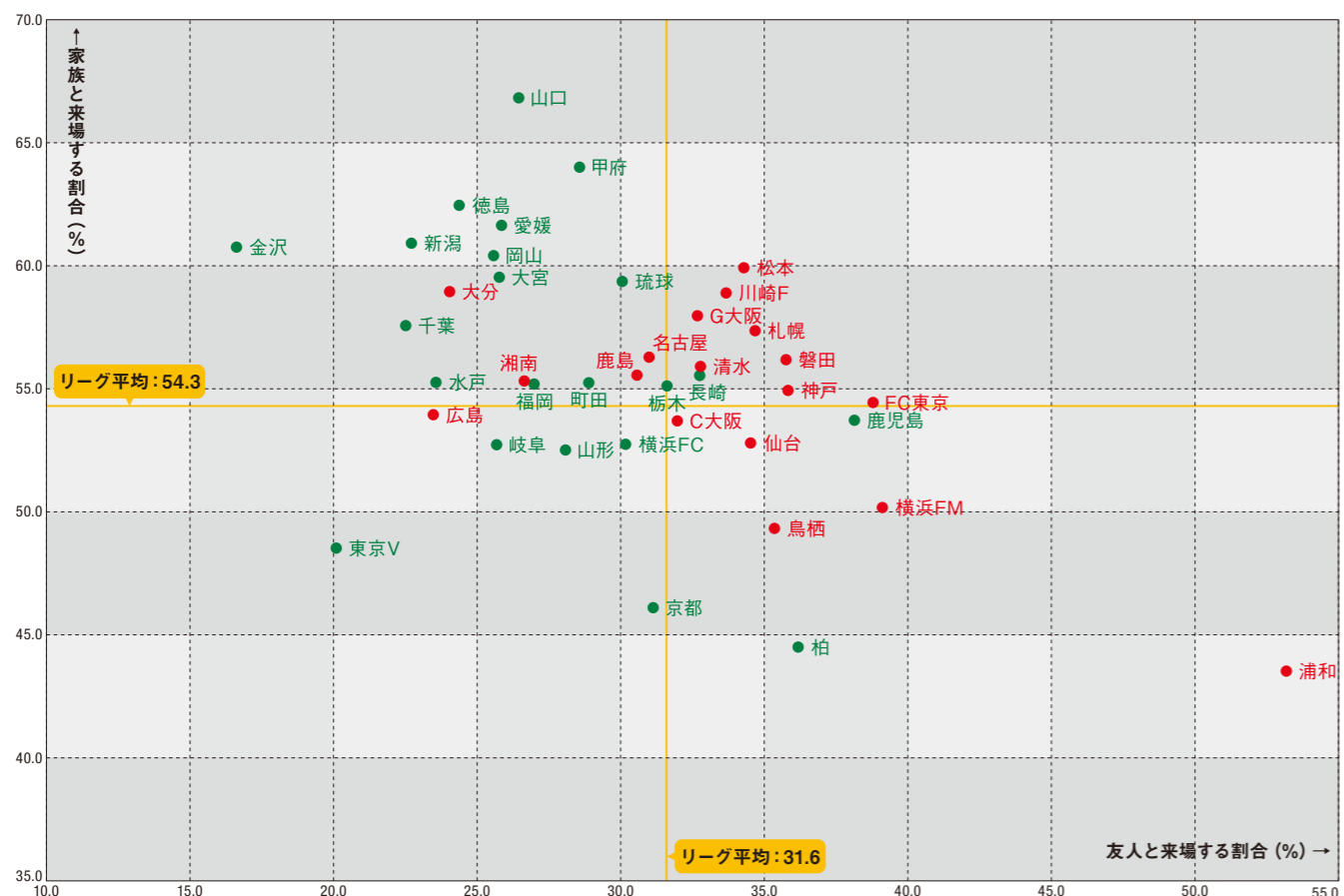
## 昨年同様に「家族」との観戦が多かったのは山口 「友人」との観戦が多かったのは浦和

東京V(32.2%)に「ひとり」で来場する割合が高い傾向、浦和(54.5%)に「友人」と来場する割合が高い傾向、山口(67.1%)、甲府(63.9%)、徳島(62.3%)などに「家族」と来場する割合が高い傾向がみられる。

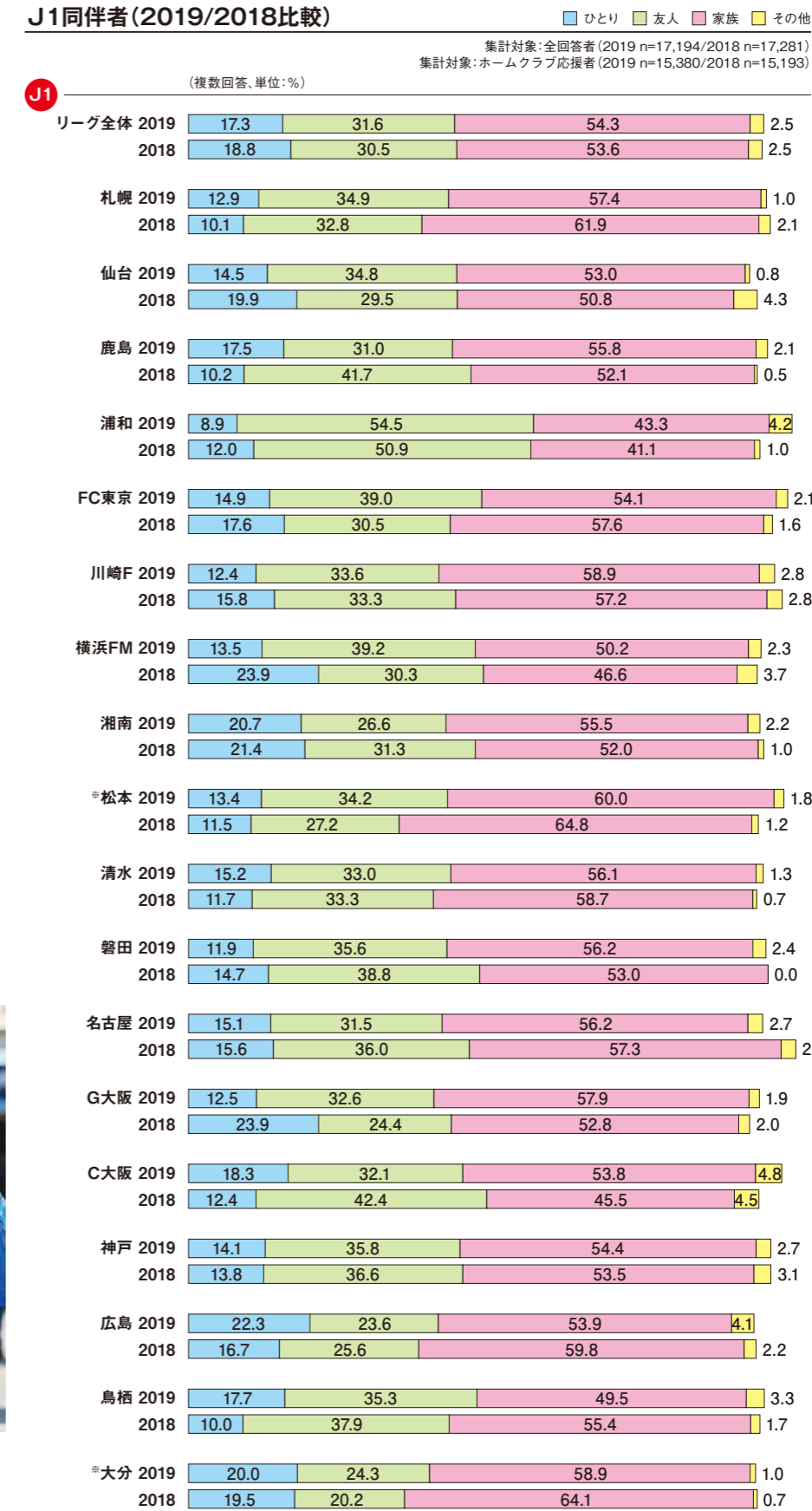




同伴者(クラブ別)



J1同伴者(2019/2018比較)

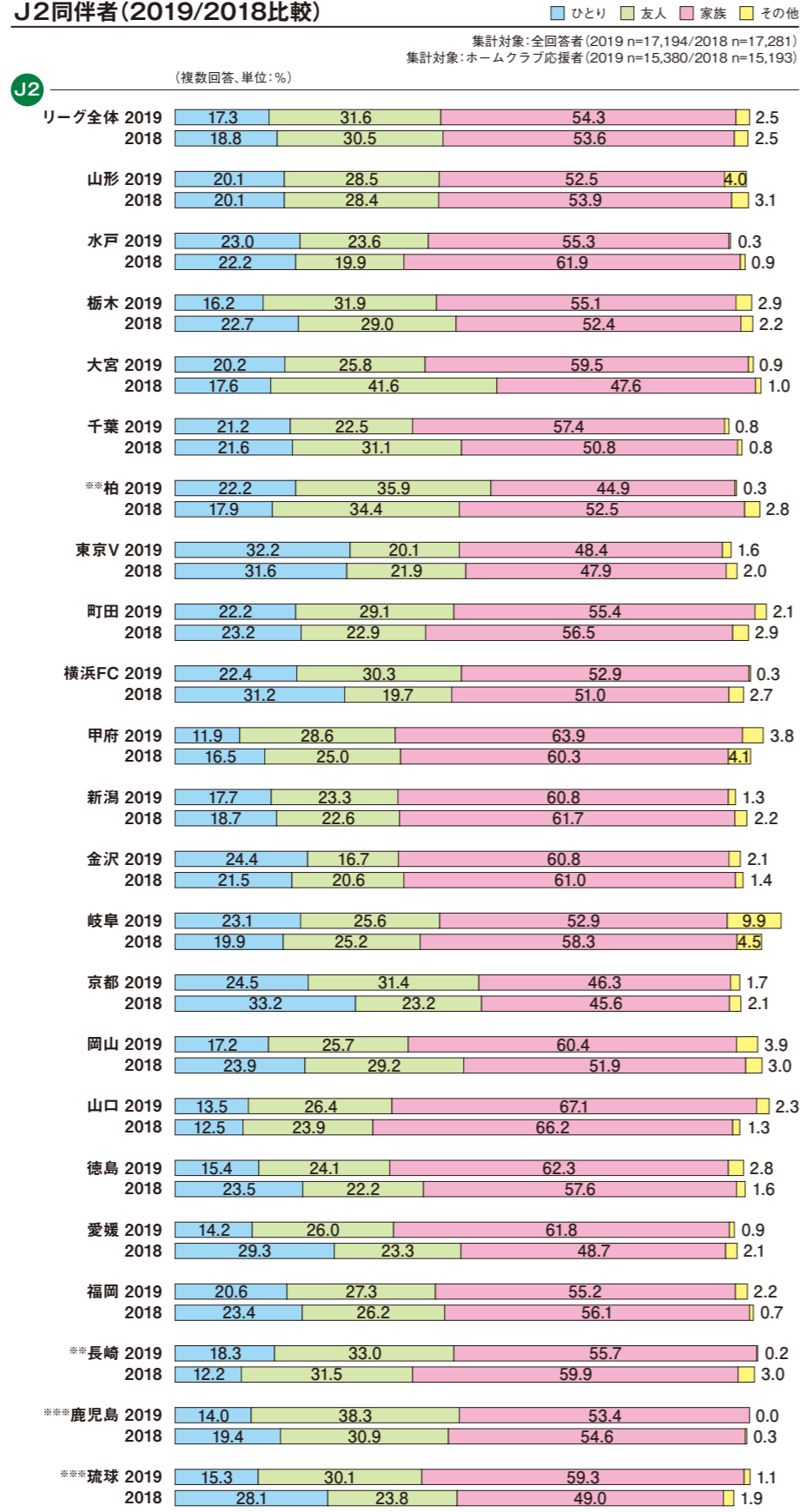


\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属





### J2 同伴者 (2019/2018比較)



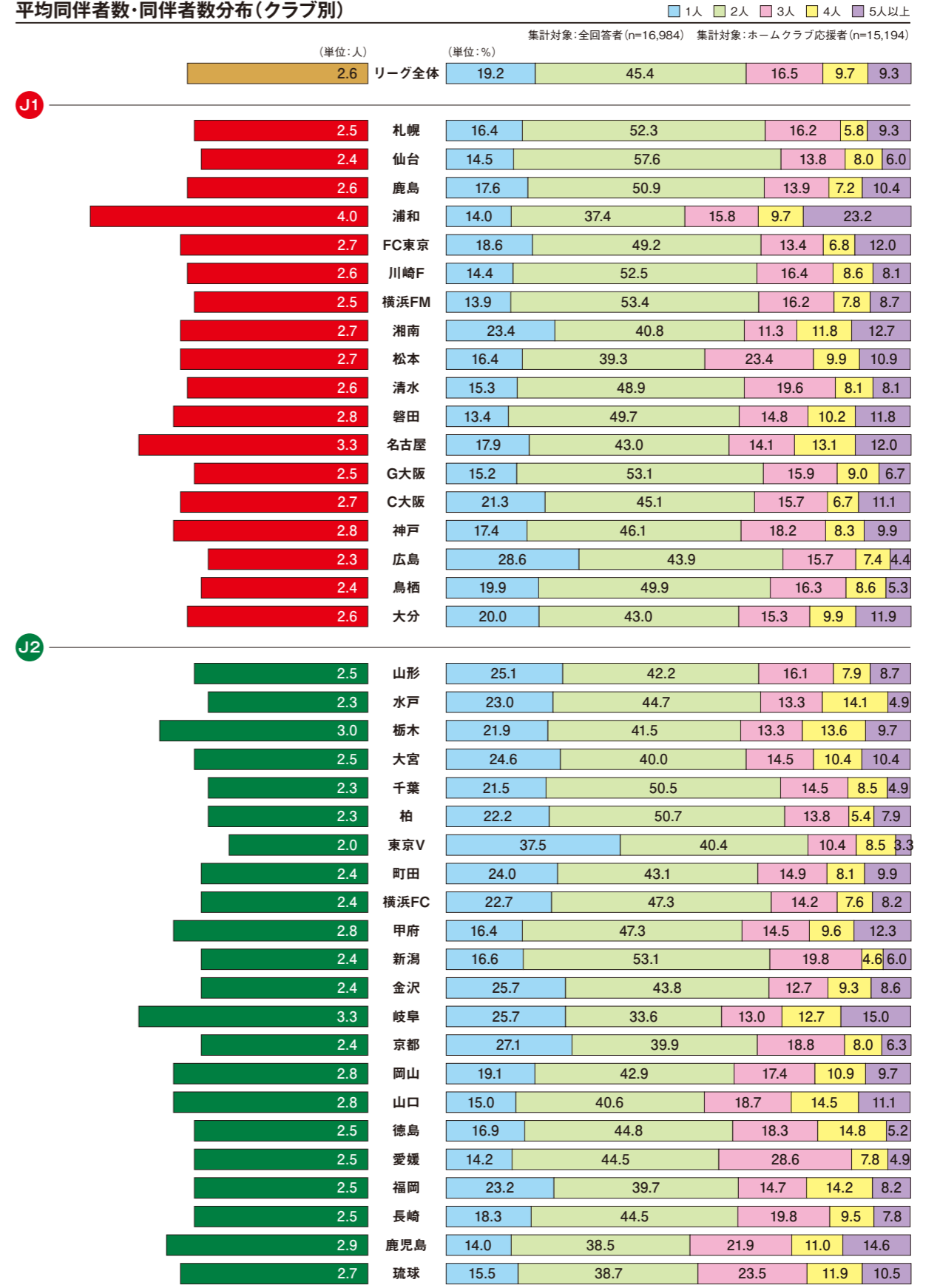
※※ 柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 ※※※ 鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属



### 平均同伴者が最も多いのは浦和

Jリーグ全体での平均同行者数は2.6人で、「2人」で来場する割合(45.4%)が最も高くなっている。平均同行者数が最も多いクラブは浦和(4.0人)、名古屋・岐阜(3.3人)となっている。

### 平均同伴者数・同伴者数分布(クラブ別)

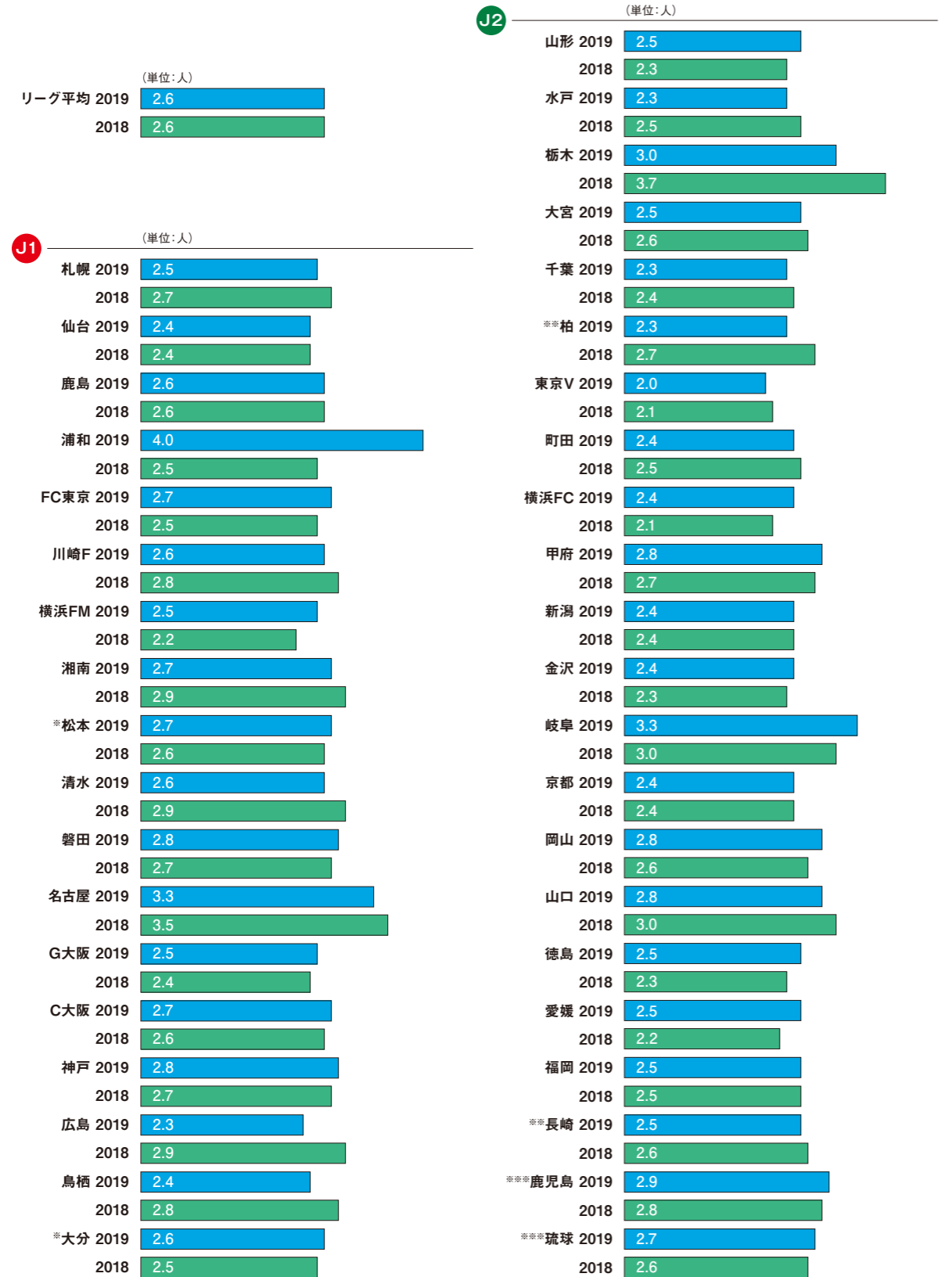






平均同伴者数(2019/2018比較)

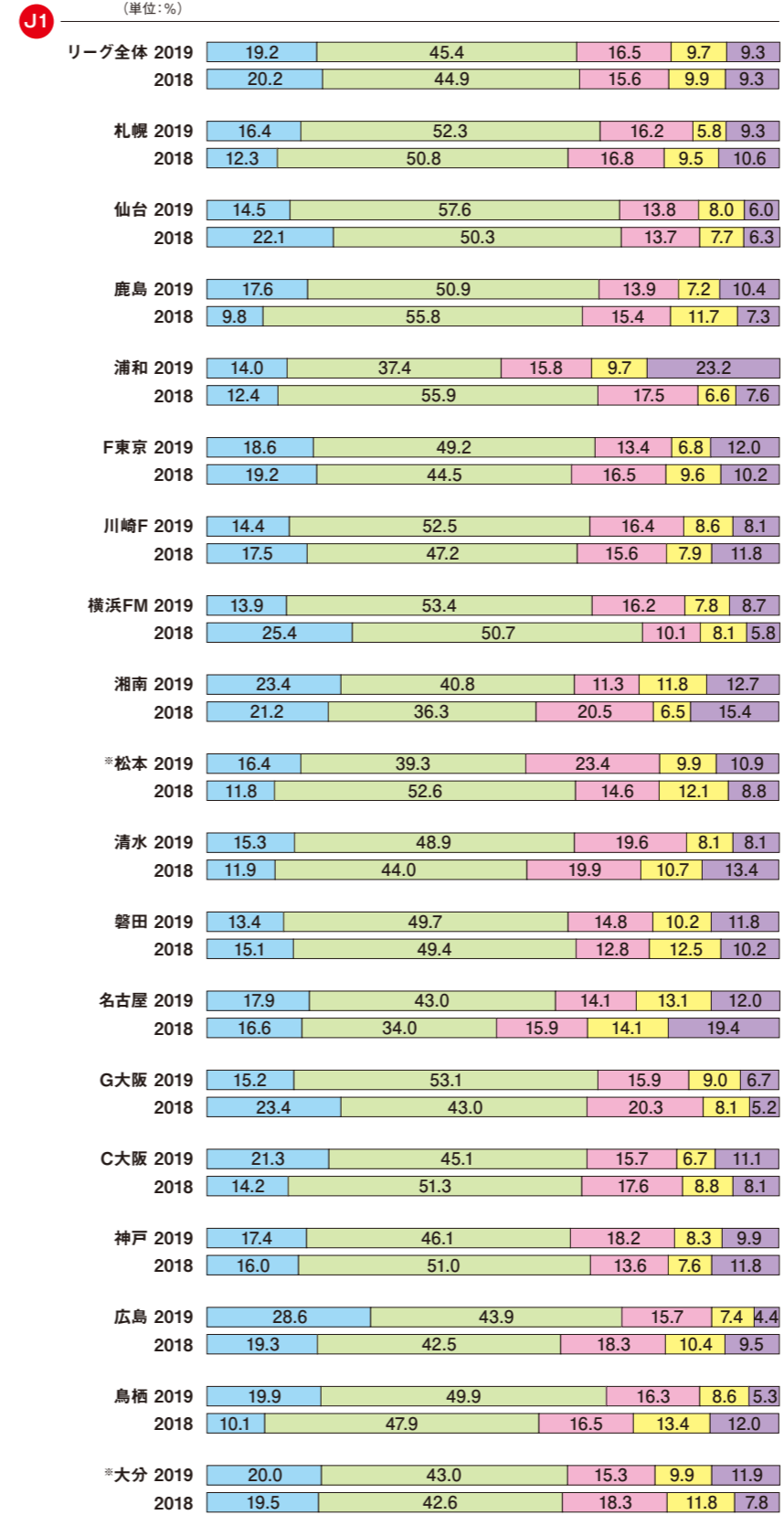
集計対象: 全回答者(2019 n=16,984/2018 n=16,941) 集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=15,194/2018 n=14,896)



\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属 \*\*柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\*\*鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

J1同伴者数分布(2019/2018比較)

集計対象: 全回答者(2019 n=16,984/2018 n=16,941) 集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=15,194/2018 n=14,896)

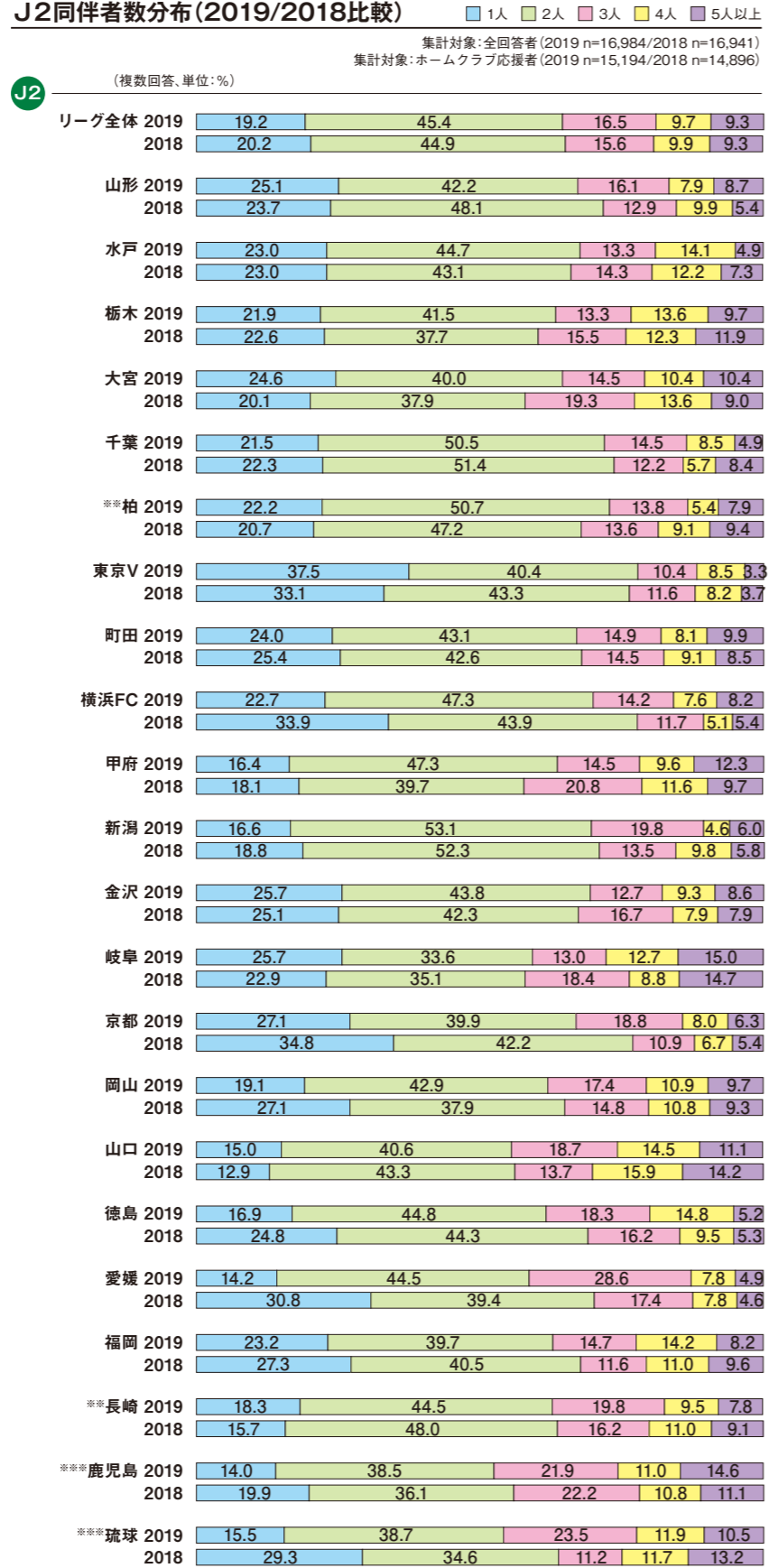


\*松本、大分は2018シーズンJ2に所属





### J2 同伴者数分布 (2019/2018比較)

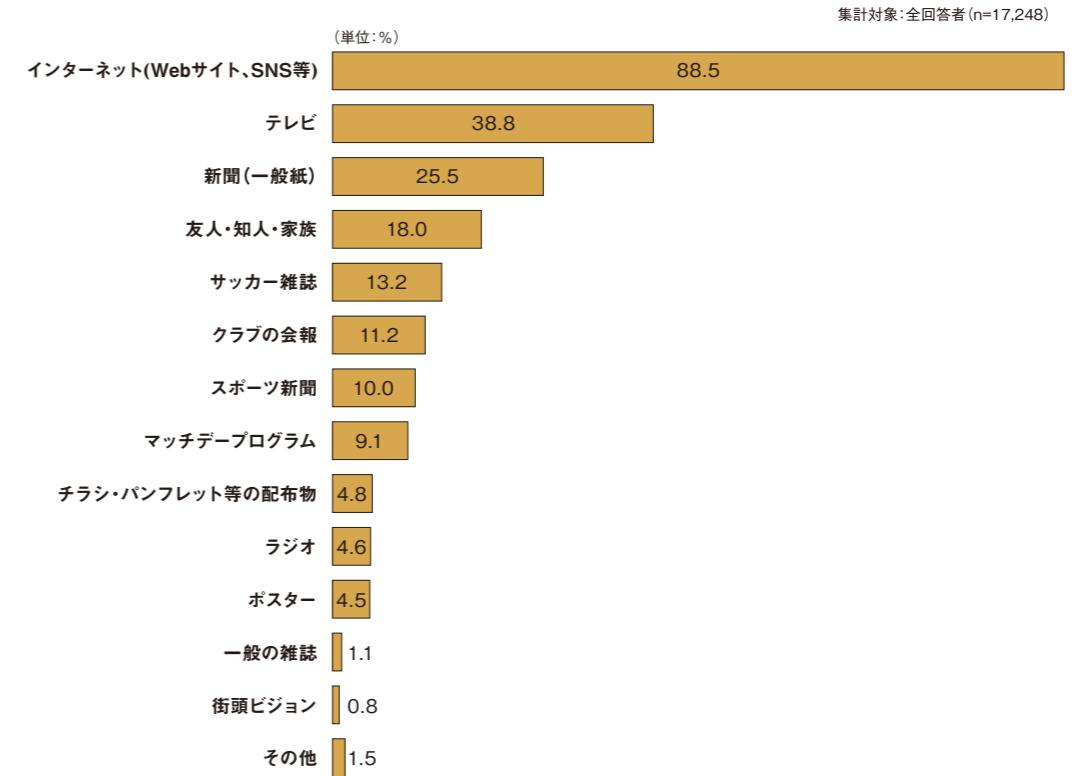


\*\* 柏、長崎は2018シーズンJ1に所属 \*\* 鹿児島、琉球は2018シーズンJ3に所属

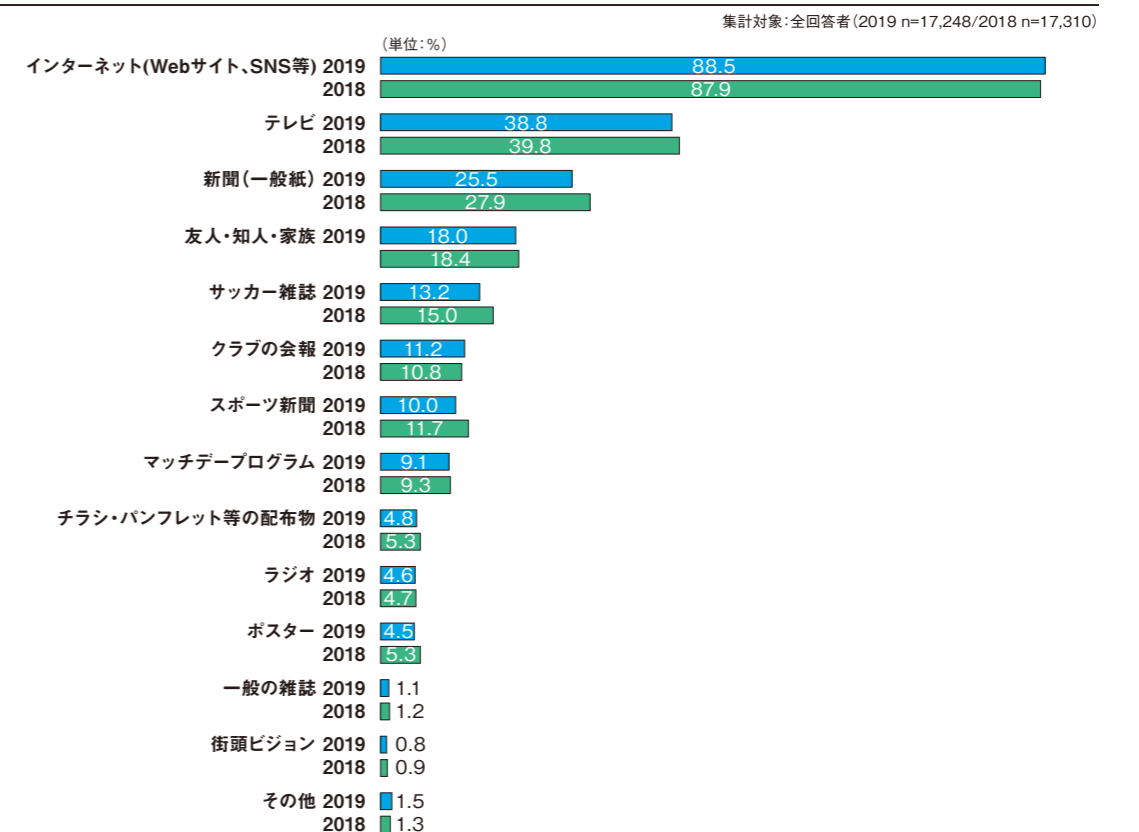
## 主な情報ソースは「インターネット (WEB サイト、SNS 等)」

Jリーグの情報入手経路は、「インターネット (WEB サイト、SNS 等)」(88.5%) が主たるものとなっており、「テレビ」(38.8%)、「新聞 (一般紙)」(25.5%) がそれに続いている。

### 情報入手経路 (リーグ全体)



### 情報入手経路 (2019/2018比較)





情報入手経路(クラブ別)

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,451)

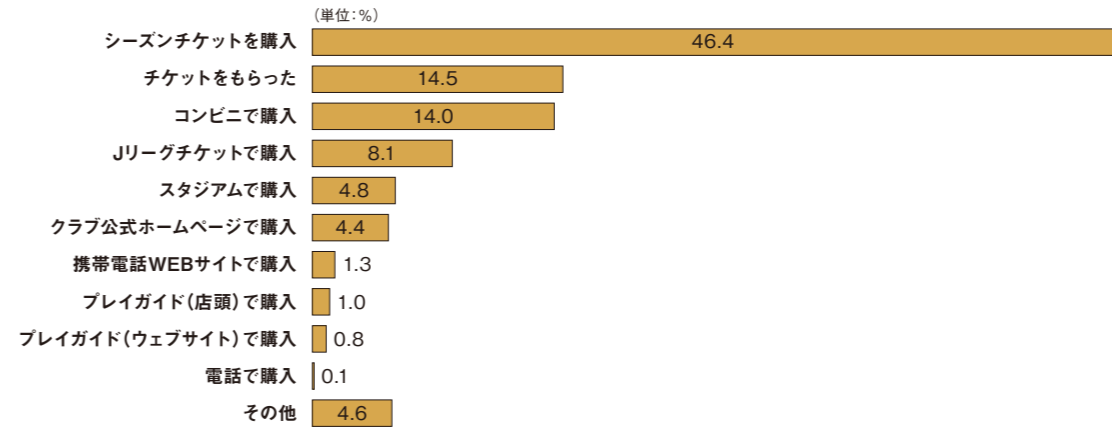
クラブ	インターネット	テレビ	新聞(一般紙)	スポーツ新聞	クラブの会報	友人・知人・家族
<b>札幌</b>	90.6	56.2	41.8	20.3	18.1	
<b>仙台</b>	94.5	52.6	52.1	40.9	14.7	
<b>鹿島</b>	92.3	41.9	28.4	17.0	16.7	
<b>浦和</b>	93.8	39.2	18.9	16.9	15.4	
<b>FC東京</b>	91.3	39.6	19.5	14.5	14.0	
<b>川崎F</b>	94.8	44.3	30.7	18.0	15.5	
<b>横浜FM</b>	95.2	41.2	24.1	15.4	10.9	
<b>湘南</b>	91.1	33.0	20.8	17.2	12.7	
<b>松本</b>	89.9	47.6	46.6	18.0	15.2	
<b>清水</b>	89.6	53.3	35.8	27.9	22.3	
<b>磐田</b>	92.7	47.2	29.1	21.5	19.2	
<b>名古屋</b>	90.8	31.3	20.1	18.0	15.3	
<b>G大阪</b>	92.0	33.5	19.1	17.1	13.2	
<b>C大阪</b>	93.9	29.1	14.9	14.9	13.5	
<b>神戸</b>	89.4	35.5	17.2	17.2	15.9	
<b>広島</b>	86.4	45.5	45.2	19.5	18.6	
<b>鳥栖</b>	93.5	44.6	35.8	16.9	10.2	
<b>大分</b>	89.2	45.3	37.4	16.7	11.3	
<b>山形</b>	84.3	46.1	42.4	17.3	15.2	
<b>水戸</b>	93.0	36.9	24.4	21.1	19.0	
<b>栃木</b>	88.5	32.9	30.8	12.5	11.2	
<b>大宮</b>	94.2	33.2	17.1	15.0	14.5	
<b>千葉</b>	93.3	26.6	16.0	12.1	10.1	
<b>柏</b>	94.1	34.6	23.2	20.3	17.6	
<b>東京V</b>	93.5	21.0	14.8	13.9	12.9	
<b>町田</b>	93.6	25.1	15.9	12.1	11.8	
<b>横浜FC</b>	97.2	40.8	29.3	19.0	17.0	
<b>甲府</b>	81.4	53.9	46.6	12.1	12.1	
<b>新潟</b>	84.9	54.4	52.1	15.6	12.7	
<b>金沢</b>	91.2	30.2	24.4	12.1	10.2	
<b>岐阜</b>	77.4	31.5	29.0	15.6	12.4	
<b>京都</b>	87.1	32.0	28.7	17.4	14.6	
<b>岡山</b>	88.9	45.1	38.8	13.0	8.9	
<b>山口</b>	88.9	45.9	16.1	12.2	10.1	
<b>徳島</b>	92.0	31.3	25.1	22.8	13.8	
<b>愛媛</b>	80.6	33.3	33.0	13.9	10.4	
<b>福岡</b>	91.5	36.9	16.7	10.9	10.4	
<b>長崎</b>	96.1	43.5	43.0	32.5	12.0	
<b>鹿児島</b>	85.4	42.6	31.1	18.5	9.2	
<b>琉球</b>	81.6	39.6	27.2	18.1	10.2	

「シーズンチケットを購入」が最多  
その割合が高いクラブは大分、松本

チケットの入手方法については、「シーズンチケットを購入」(46.4%)が最も高く、次いで「招待券(チケットをもらった)」(14.5%)、「コンビニで購入」(14.0%)となっている。シーズンチケットの購入率が高いクラブとして、大分(77.1%)、松本(74.5%)などがあげられる。招待券で観戦する割合が高いクラブとして、福岡(34.6%)、愛媛(26.4%)、岐阜(24.4%)、琉球(24.2%)などが、低いクラブとして、岡山(3.2%)、浦和(3.6%)、鳥栖(4.6%)などがあげられる。コンビニでの購入率が高いクラブは、山口(31.5%)、柏(30.0%)などである。

チケット入手方法(リーグ全体)

集計対象：全回答者(n=17,066)



チケット入手方法(クラブ別)

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,269)

クラブ	シーズンチケット	招待券	コンビニ	Jリーグチケット	スタジアム	クラブ公式HP	携帯電話ウェブサイト	プレイガイド(店頭)	プレイガイド(Website)	電話	その他
J1 札幌	42.9	6.5	15.5	9.3	12.8	4.5	0.5	1.5	1.8	0.0	4.8
J1 仙台	50.3	13.0	14.8	10.5	1.0	3.0	3.8	1.5	1.0	0.0	1.3
J1 鹿島	32.7	13.6	17.0	18.6	6.9	6.1	1.9	1.1	0.5	0.0	1.6
J1 浦和	65.2	3.6	12.7	0.5	0.8	14.2	0.3	0.0	0.3	0.0	2.5
J1 FC東京	57.9	10.1	8.8	9.3	1.6	3.2	1.1	0.3	0.0	0.0	7.7
J1 川崎F	62.2	8.7	10.0	10.0	0.3	3.1	0.5	0.0	0.0	0.0	5.2
J1 横浜FM	34.0	5.2	19.4	18.8	0.0	13.3	1.0	1.0	4.2	0.0	3.2
J1 湘南	55.6	7.6	14.6	11.0	0.3	2.0	2.0	2.0	0.8	0.0	4.2
J1 松本	74.5	7.0	7.5	3.9	0.8	1.8	2.1	0.0	0.8	0.0	1.6
J1 清水	48.6	16.7	16.2	7.7	0.3	2.3	0.5	4.1	0.3	0.3	3.1
J1 磐田	61.2	10.0	5.9	1.3	0.5	12.9	0.3	2.2	0.8	0.0	4.9
J1 名古屋	39.4	14.6	11.8	16.4	0.3	13.6	1.0	0.0	0.7	0.0	2.1
J1 G大阪	44.6	7.9	9.0	24.9	0.2	6.5	2.3	0.0	0.0	0.0	4.6
J1 C大阪	45.2	14.9	5.5	16.7	1.8	7.6	2.5	0.0	0.9	0.0	4.8
J1 神戸	44.8	10.3	7.7	2.1	1.1	24.1	2.7	0.3	2.4	0.0	4.5
J1 広島	58.7	11.3	6.6	6.1	2.3	2.7	0.7	1.4	0.7	0.5	9.1
J1 鳥栖	50.0	4.6	25.4	7.7	2.5	3.3	0.0	0.3	1.6	0.0	4.6
J1 大分	77.1	6.8	6.3	1.0	2.3	1.5	0.3	1.0	0.5	0.3	3.0
J2 山形	43.7	11.6	25.0	5.8	2.9	1.3	1.1	1.3	0.3	0.5	6.6
J2 水戸	36.3	15.7	22.2	7.3	14.9	0.8	0.0	0.3	0.5	0.0	1.9
J2 栃木	54.9	13.9	15.0	3.0	4.9	0.0	0.3	1.4	0.0	0.0	6.6
J2 大宮	66.9	7.3	9.2	0.7	1.6	7.0	1.2	1.2	0.9	0.0	4.0
J2 千葉	61.2	14.2	9.4	6.8	3.1	3.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.5
J2 柏	37.6	6.8	30.0	0.8	1.9	15.8	1.9	0.5	2.2	0.0	2.5
J2 東京V	64.0	9.1	4.9	11.0	3.2	2.3	1.0	0.6	0.0	0.0	3.9
J2 町田	52.4	8.7	17.4	6.6	7.6	1.6	0.3	0.5	0.5	0.0	4.5
J2 横浜FC	56.9	10.6	9.2	10.6	8.4	2.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0
J2 甲府	67.7	15.9	6.6	1.6	1.1	0.3	0.5	0.8	0.3	0.0	5.2
J2 新潟	61.7	14.9	8.0	5.2	2.2	1.3	1.1	0.6	0.0	0.4	4.5
J2 金沢	44.3	15.2	5.6	6.1	17.9	3.0	1.9	2.3	0.2	0.0	3.5
J2 岐阜	46.7	24.4	9.3	5.0	4.3	1.8	0.3	0.8	0.5	0.0	7.0
J2 京都	28.7	18.8	12.7	12.2	15.5	3.6	1.7	0.6	0.3	0.0	6.1
J2 岡山	63.6	3.2	9.3	7.1	8.8	1.7	1.0	2.4	0.5	0.0	2.4
J2 山口	34.4	9.9	31.5	5.6	5.3	1.6	1.6	3.5	0.5	0.0	6.1
J2 徳島	69.7	7.0	8.9	3.7	6.1	1.9	0.2	0.2	0.5	0.0	1.9
J2 愛媛	39.1	26.4	5.2	6.7	10.7	3.5	0.9	3.2	1.2	0.0	3.2
J2 福岡	28.8	34.6	12.5	3.6	3.3	1.7	0.6	0.0	1.9	0.0	13.0
J2 長崎	59.1	10.3	11.8	13.2	1.2	2.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.0
J2 鹿児島	47.6	12.1	23.4	3.9	4.5	2.5	2.0	0.8	0.0	0.0	3.1
J2 琉球	30.2	24.2	19.5	1.6	18.4	0.5	0.0	0.8	0.0	0.0	4.7



## Executive Summary of J3

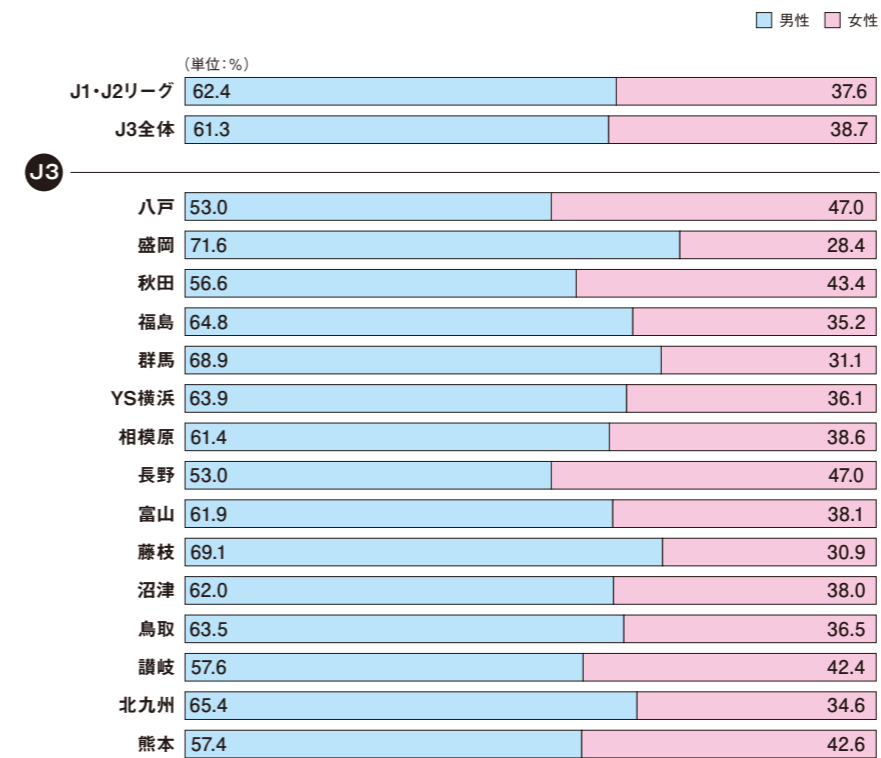
## J3調査の要約



## 性別

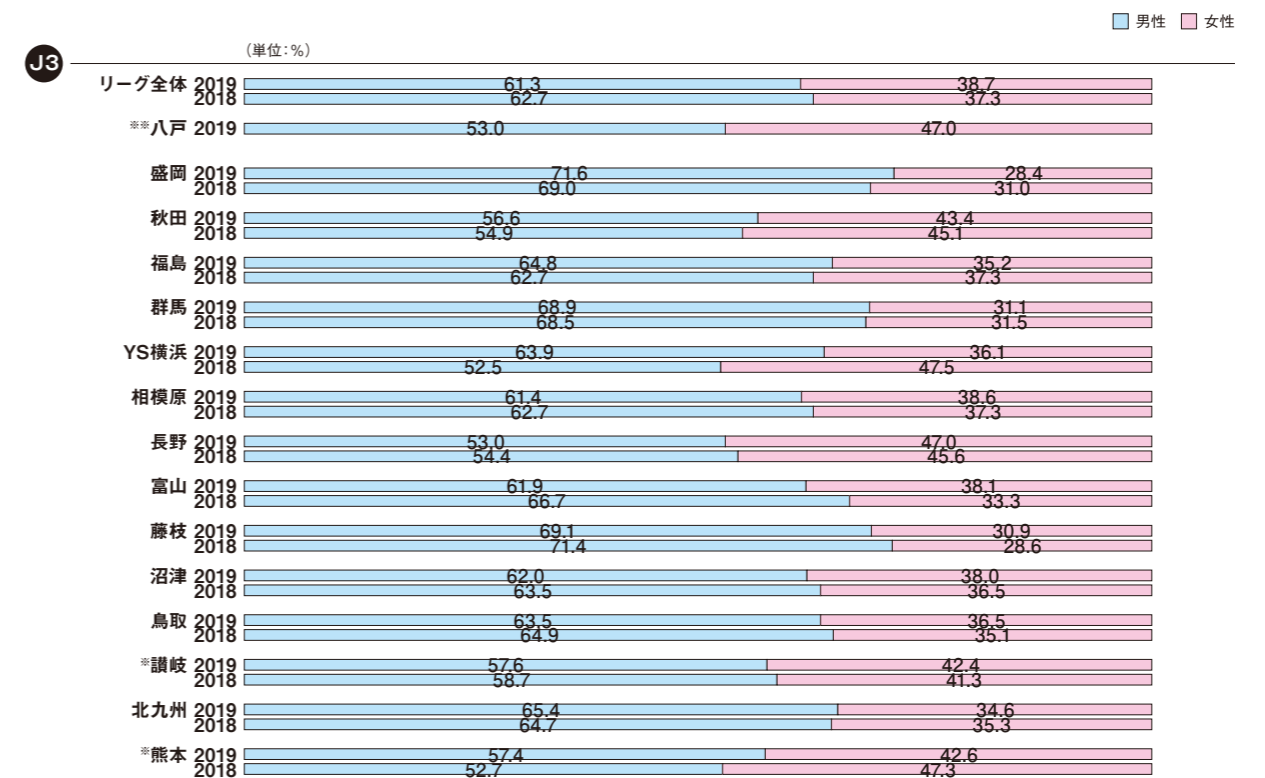
J3観戦者は約6割(61.3%)が男性で、約4割(38.7%)が女性であり、J1・J2と同様の傾向である(P12参照)。盛岡(71.6%)、藤枝(69.1%)、群馬(68.9%)の男性比率が高く、八戸・長野(47.0%)の女性比率が高い傾向がみられる。

集計対象: 全回答者(n=5,858) 集計対象: ホームクラブ応援者(n=4,832)



## 性別(2019/2018比較)

集計対象: 全回答者(2019 n=5,858/2018 n=5,270) 集計対象: ホームクラブ応援者(2019 n=4,832/2018 n=4,295)



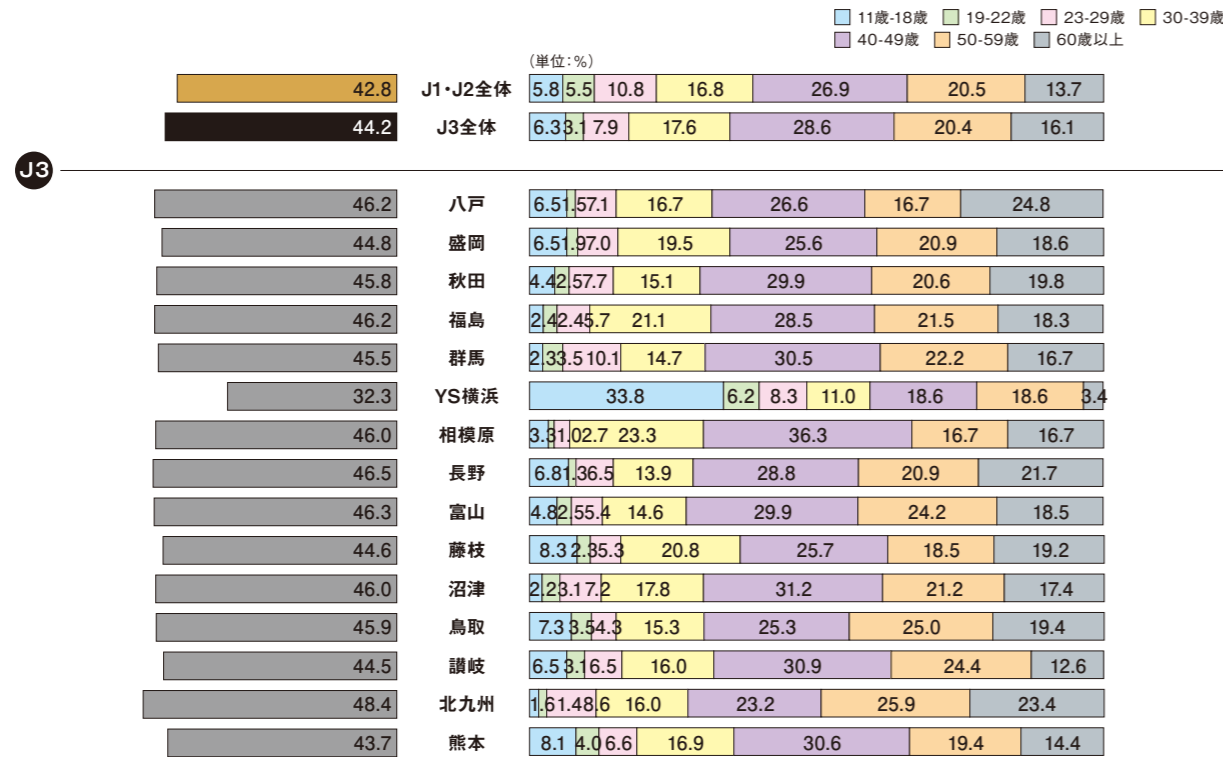
\*讃岐、熊本は2018シーズンJ2に所属 \*\*八戸は2018シーズンJFL所属



平均年齢・年齢分布

J3観戦者の平均年齢は44.2歳である。年齢層は40代(28.6%)、50代(20.4%)、30代(17.6%)が中心となっている。平均年齢が高いクラブは北九州(48.4歳)であり、低いクラブはYS横浜(32.3歳)である。

集計対象:全回答者(n=5,810) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,790)

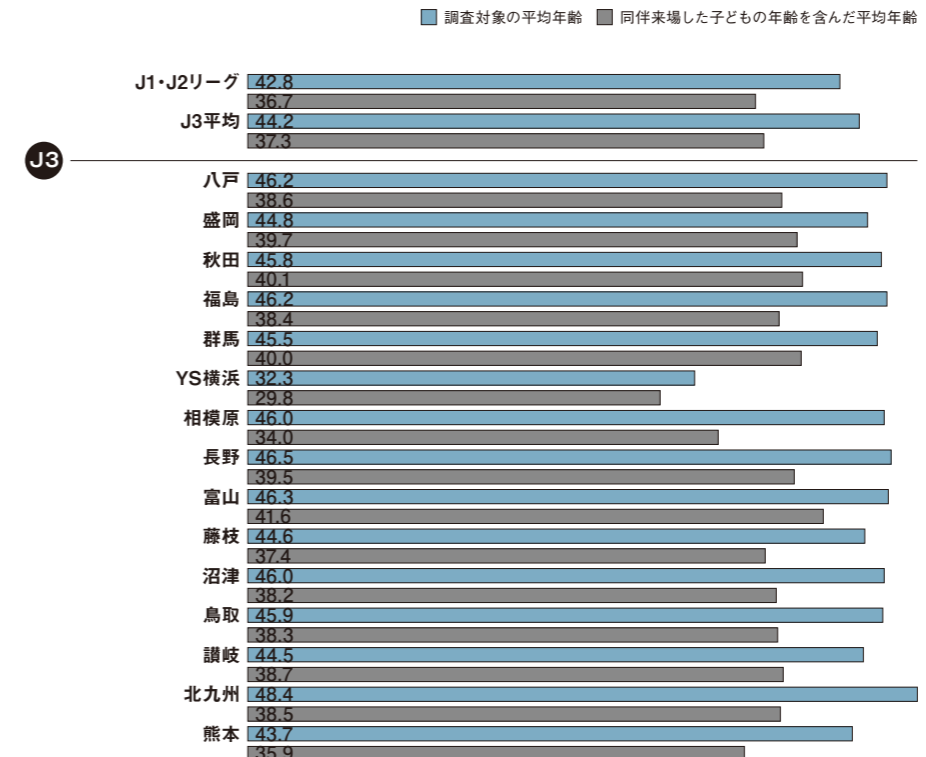


J3

平均年齢(調査対象の平均年齢と同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢)

J3観戦者の平均年齢は44.2歳であるが、回答者と一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、37.3歳となっている。

集計対象:全回答者(n=5,810) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,195)

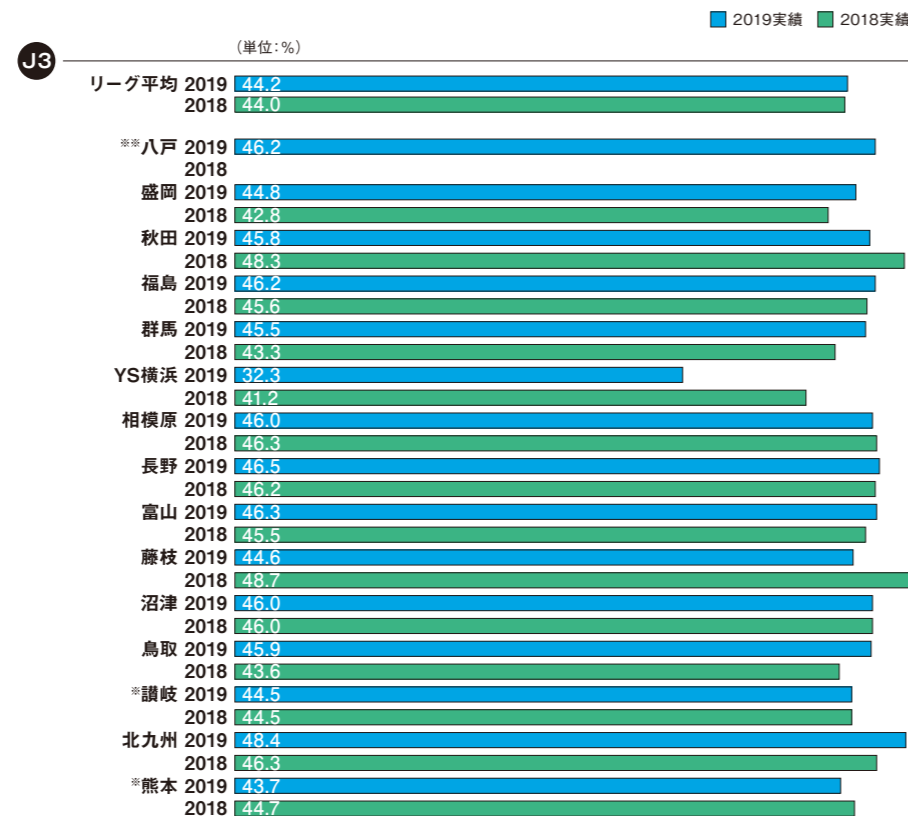


J3



平均年齢(2019/2018比較)

集計対象:全回答者(2019 n=5,810/2018 n=5,222) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=4,790/2018 n=4,195)

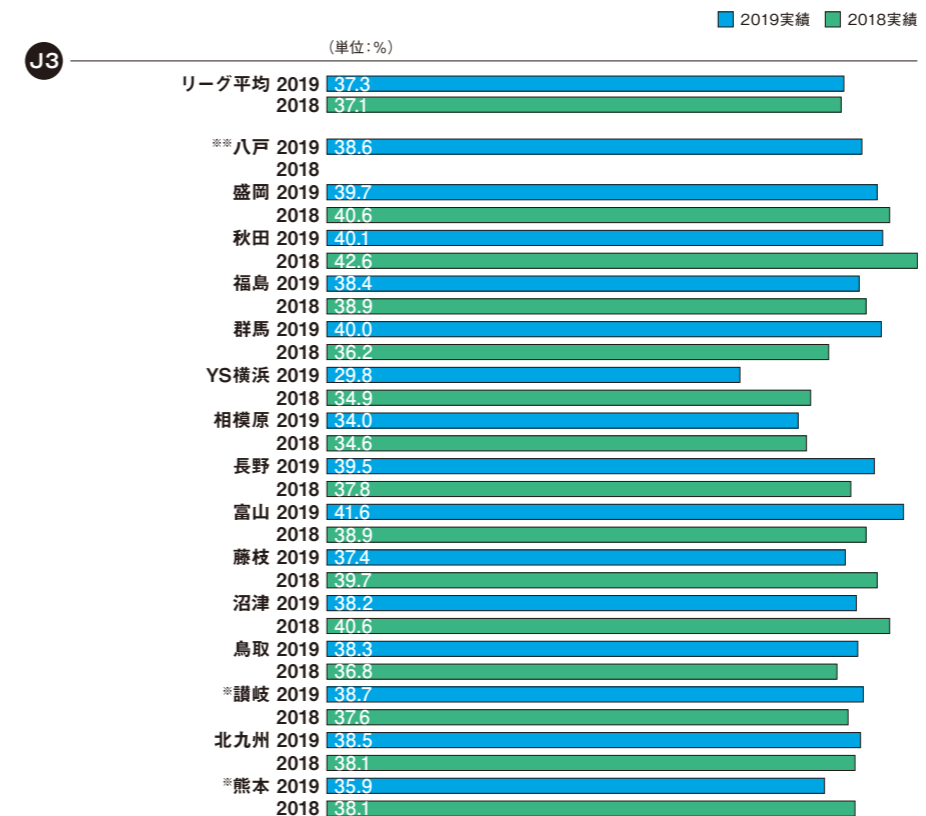


\*讃岐、熊本は2018シーズンJ2に所属 \*\*八戸は2018シーズンJFL所属



同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢(2019/2018比較)

集計対象:全回答者(2019 n=5,810/2018 n=5,222) 集計対象:ホームクラブ応援者(2019 n=4,195/2018 n=4,220)



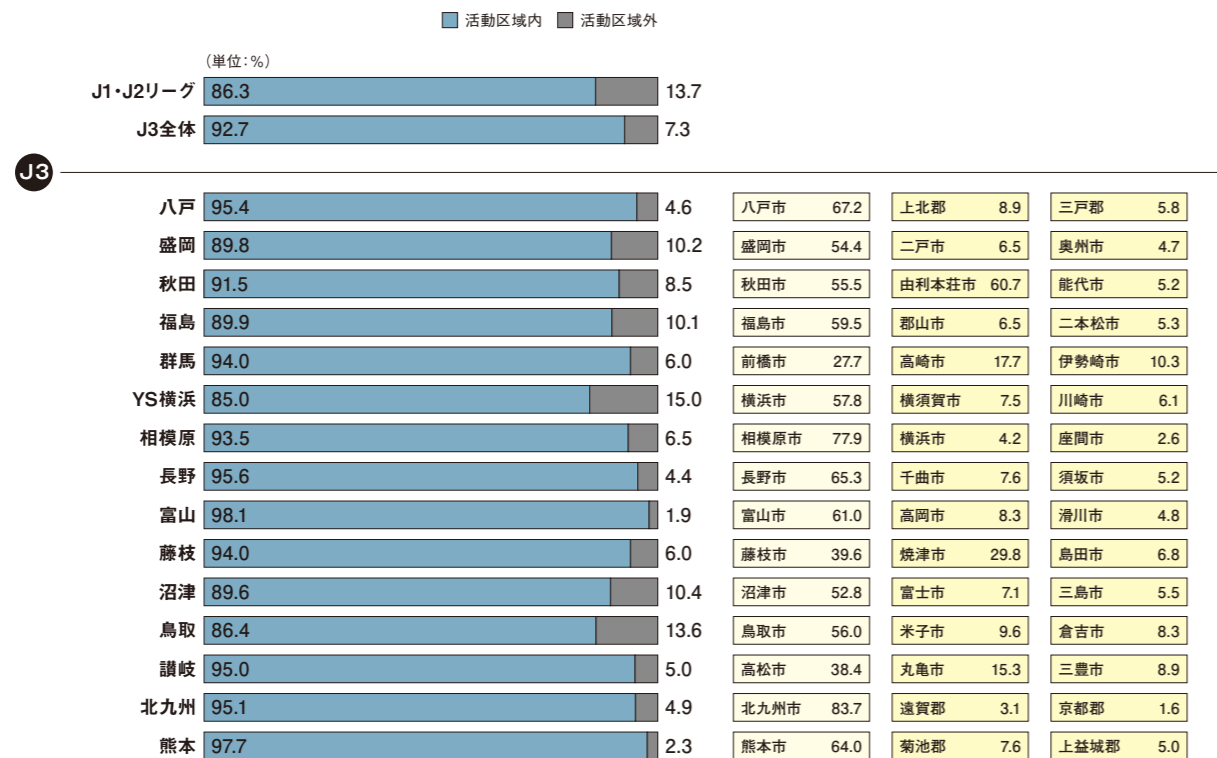
\*讃岐、熊本は2018シーズンJ2に所属 \*\*八戸は2018シーズンJFL所属



### 居住地(活動区域・市区郡町村内訳)

J3観戦者の92.7%が、ホームタウンのある都道府県に居住している。

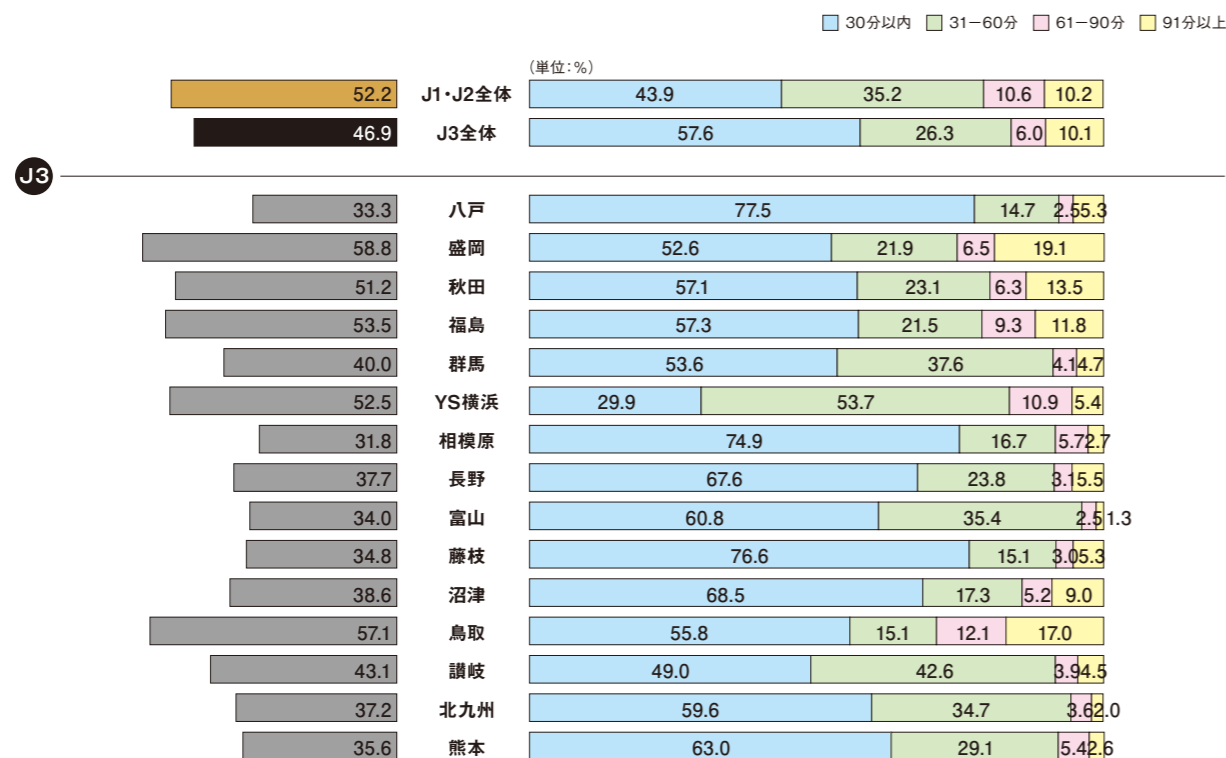
集計対象: ホームクラブ応援者 (n=4,824)



### 平均アクセス時間・アクセス時間分布(クラブ別)

J3観戦者のスタジアムへの平均アクセス時間は、46.9分である。その内訳となるアクセス時間分布では、60分以内は83.9%で、うち30分以内の割合が57.6%である。クラブ別にみると、盛岡(58.8分)、鳥取(57.1分)、福島(53.5分)、YS横浜(52.5分)などの平均アクセス時間が長く、相模原(31.8分)、八戸(33.3分)、富山(34.0分)、藤枝(34.8分)などは平均アクセス時間が短い傾向がみられる。

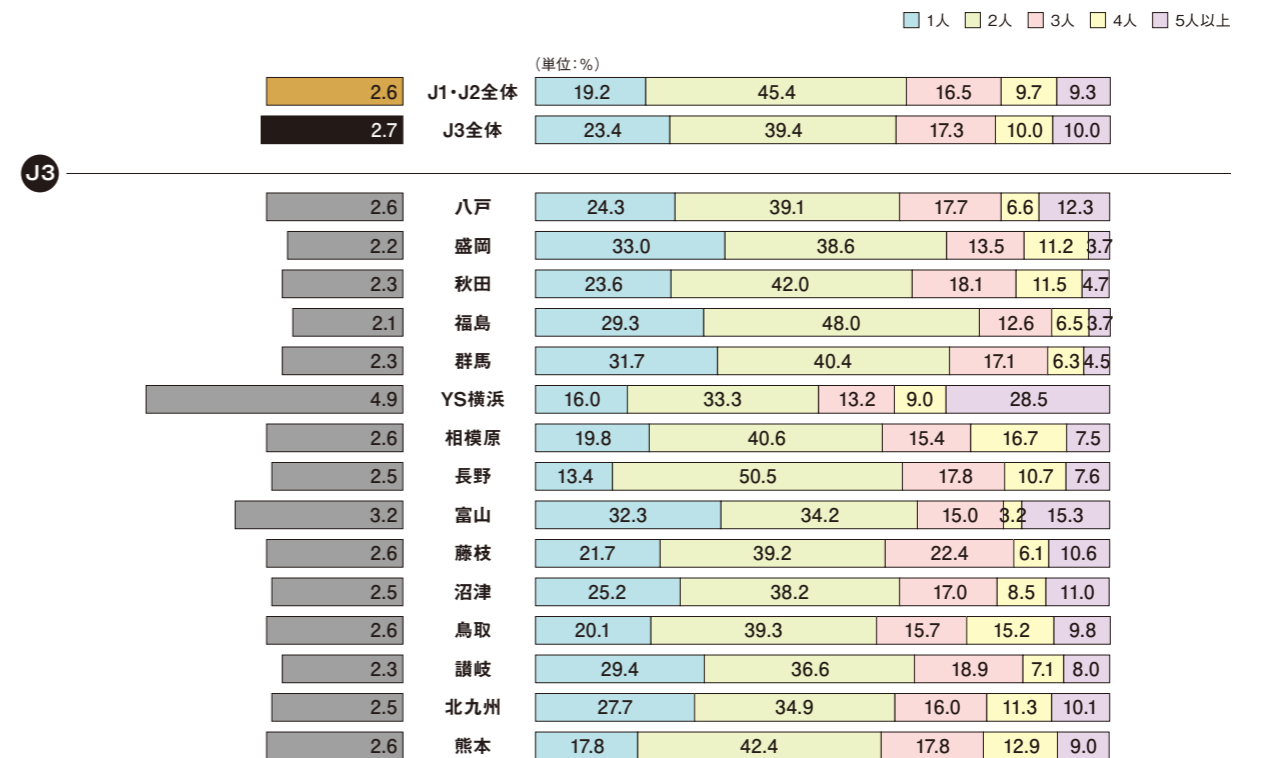
集計対象: 全回答者 (n=5,764) 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=4,774)



### 平均同伴者数・同伴者数分布(クラブ別)

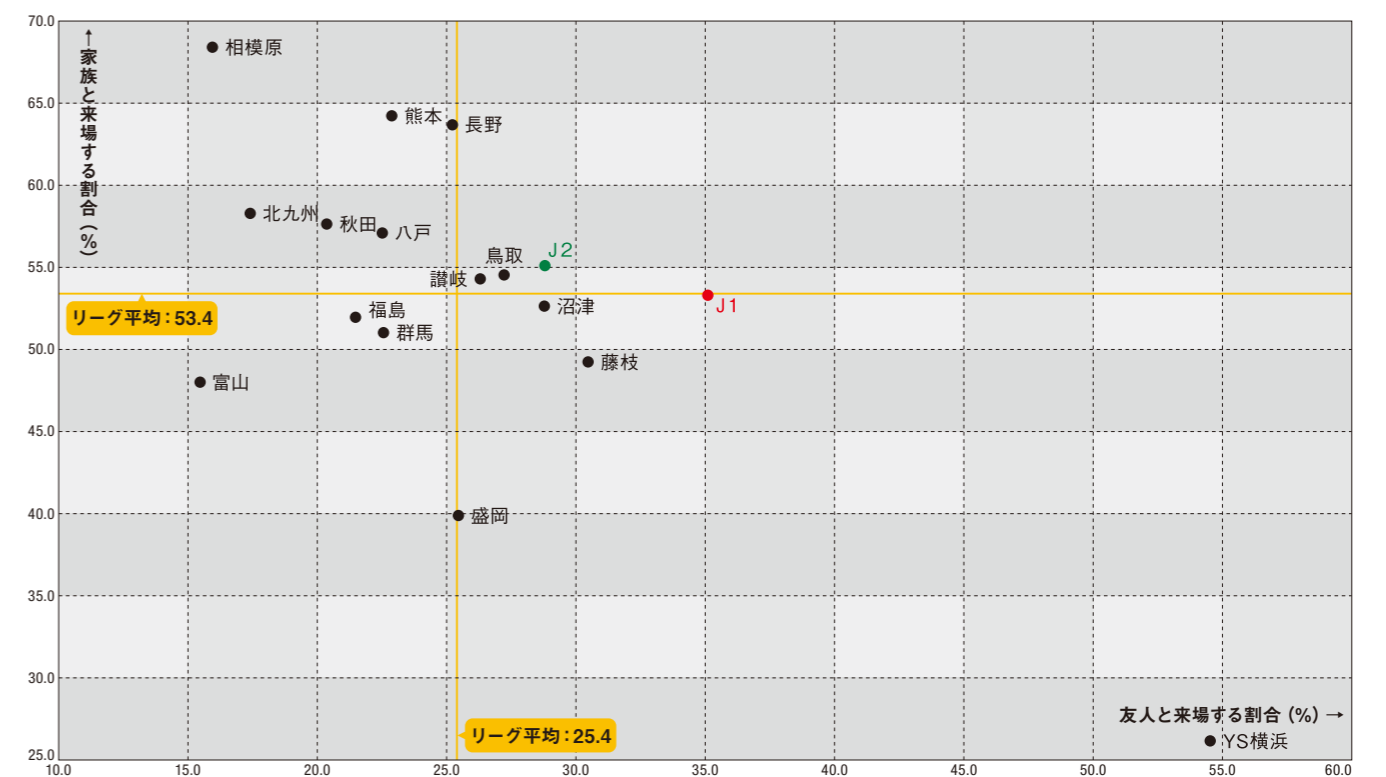
J3観戦者の平均同行者数は2.7人で、2人で来場する割合(39.4%)が最も高くなっている。平均同行者数が最も多いクラブはYS横浜(4.9人)となっている。

集計対象: 全回答者 (n=5,743) 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=4,738)



### 同伴者(クラブ別)

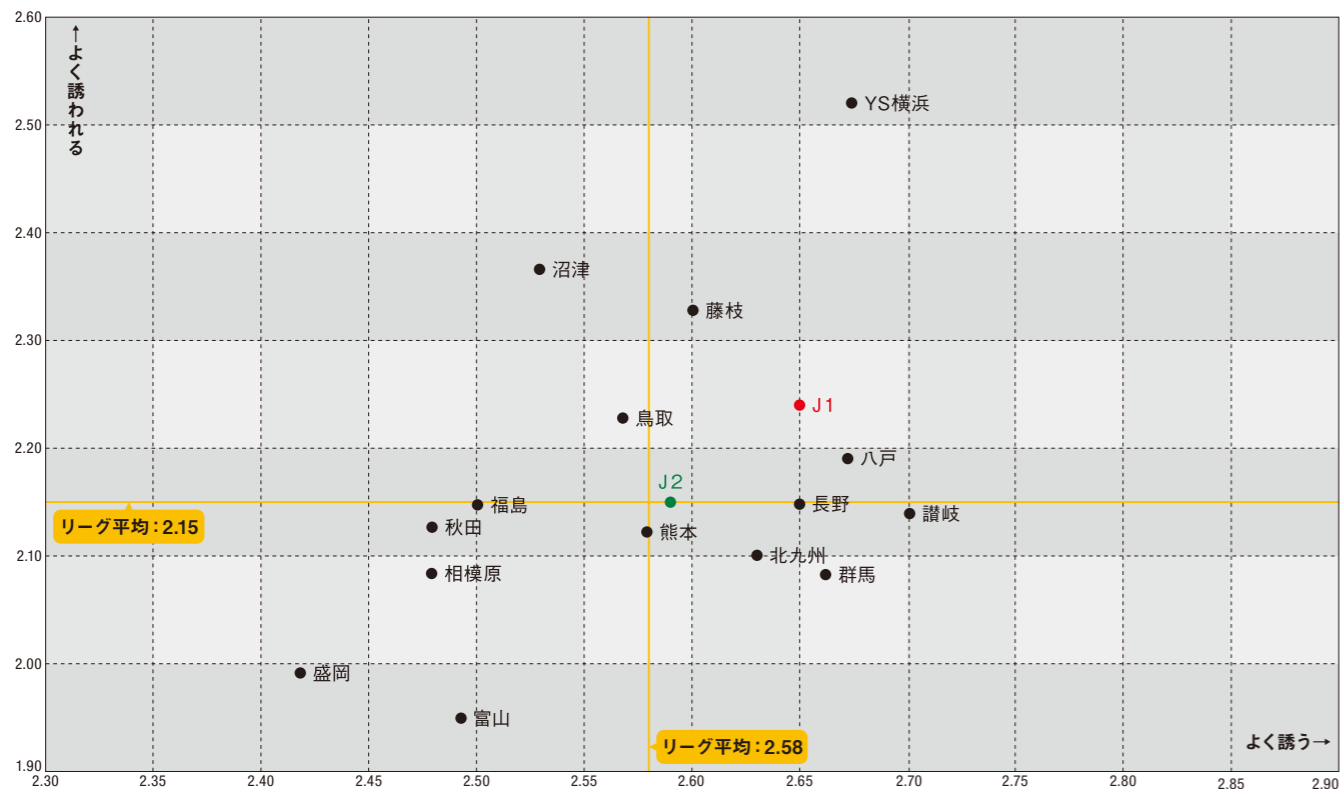
相模原、熊本、長野の観戦者に「家族」と来場する割合が高い傾向がみられる。





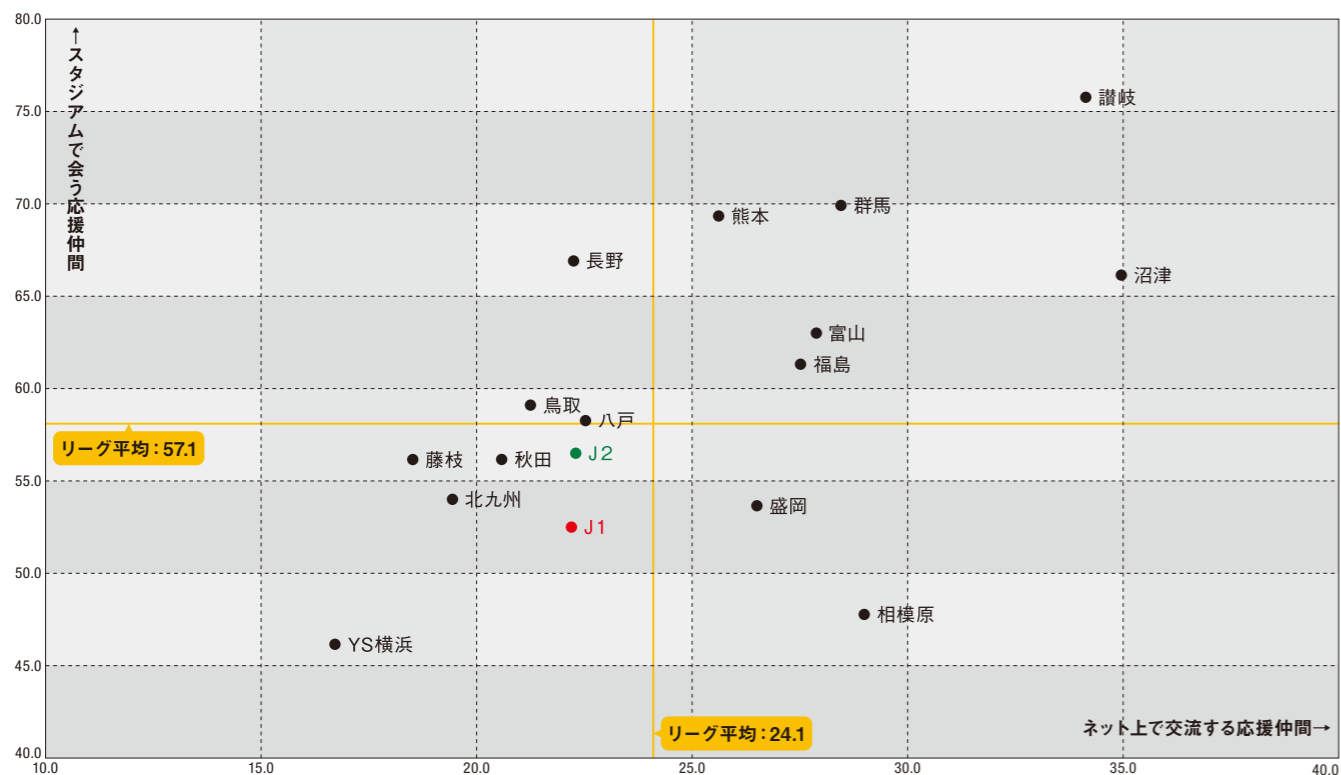
### スタジアム観戦についての勧誘行動・被勧誘行動

YS横浜の観戦者に勧誘・被勧誘行動が盛んな傾向がみられる。



### ファンコミュニティ

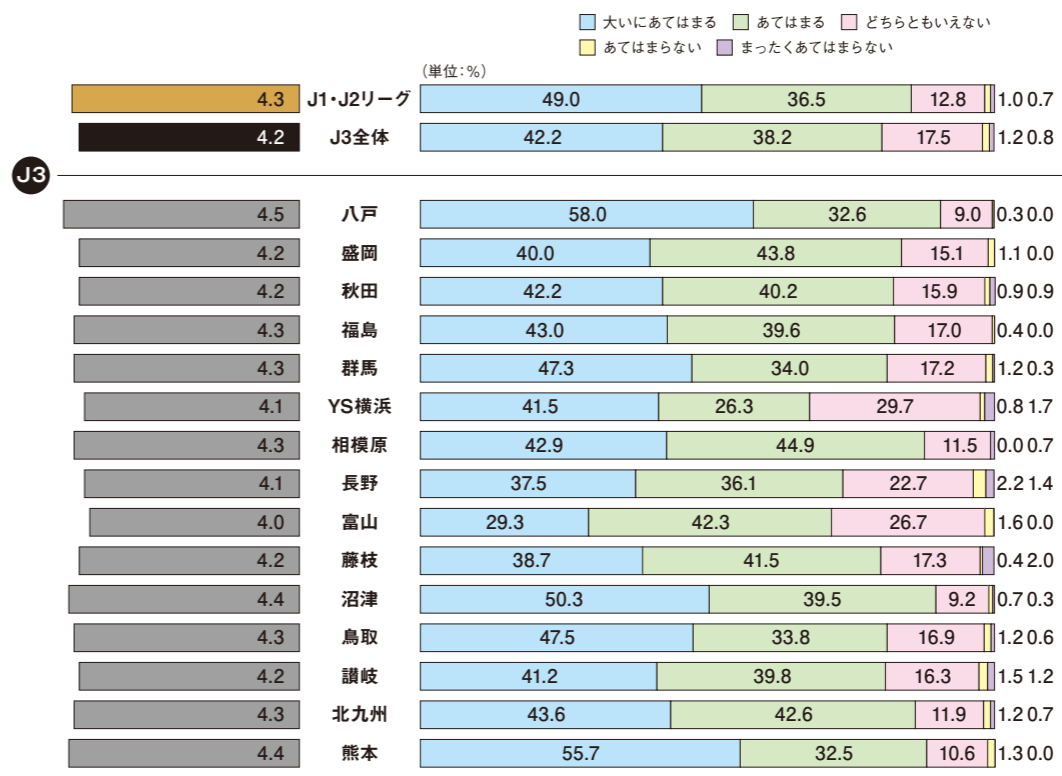
讃岐、群馬、熊本の観戦者にスタジアムで会う応援仲間のいる割合、沼津、讃岐の観戦者にネット上で交流する応援仲間のいる割合が高い傾向がみられる。



### Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている

「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、J3観戦者の80.4%(42.2%+38.2%)が肯定的である。

集計対象:全回答者(n=5,361) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,470)

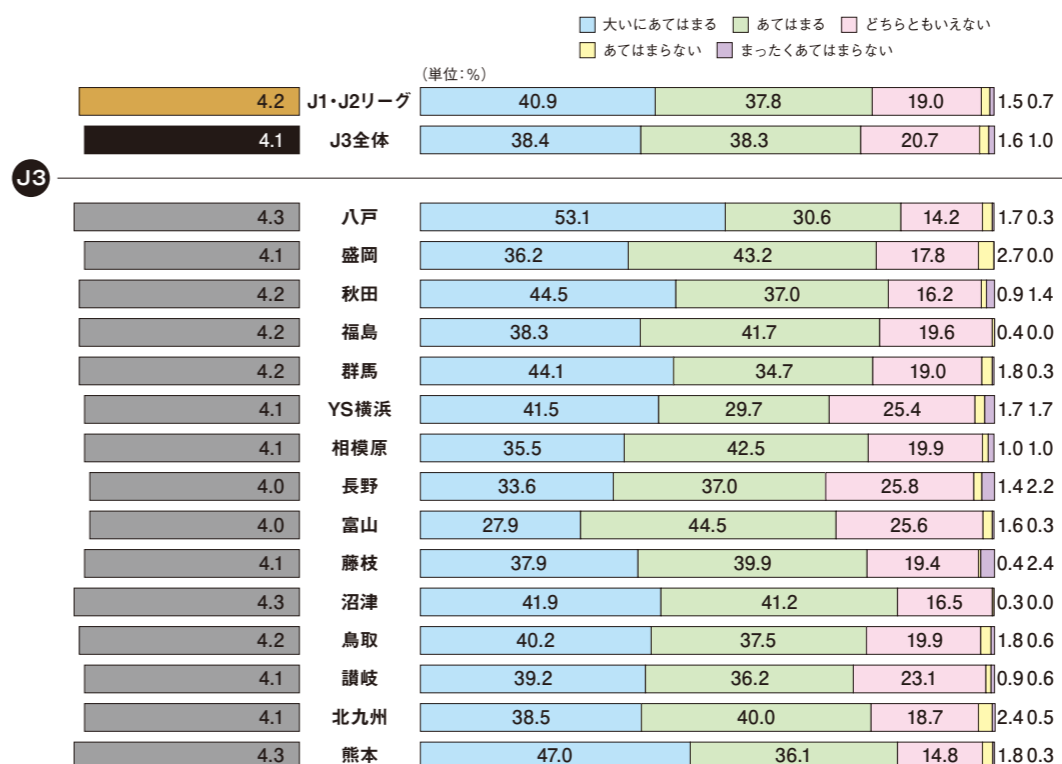


※ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である

### サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる

「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、J3観戦者の76.7%(38.4%+38.3%)が肯定的である。

集計対象:全回答者(n=5,352) 集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,464)



※ポイントは、五段階評定尺度(とてもあてはまる:5~まったくあてはまらない:1)で求めた回答の平均値である

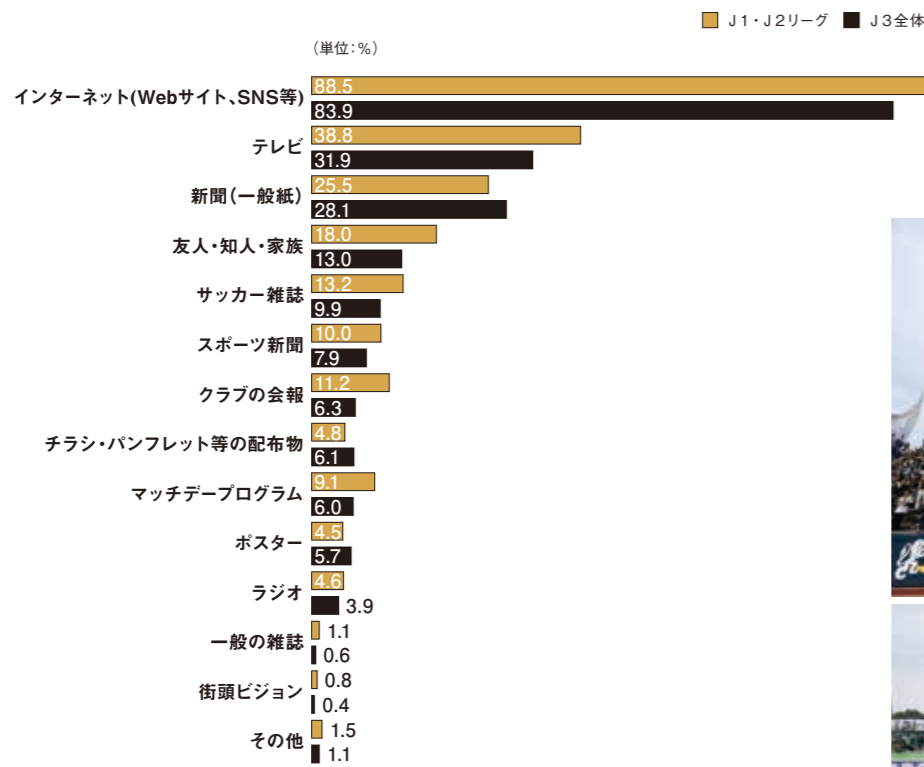




情報入手経路

J3観戦者の情報入手経路は、「インターネット(Webサイト、SNS等)」(83.9%)が主たるものであり、テレビ(31.9%)、新聞(一般紙)(28.1%)が続いている。

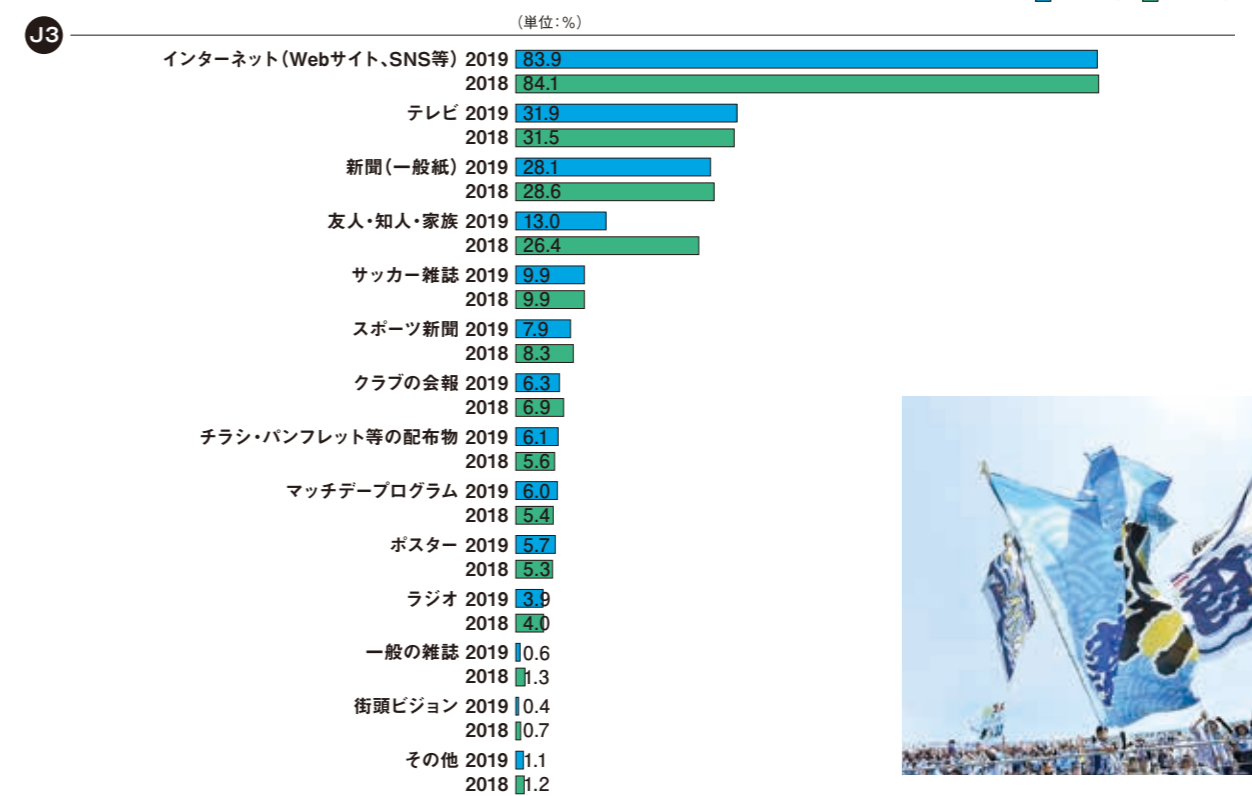
集計対象:全回答者(n=5,805) ※複数回答



情報入手経路(2019/2018比較)

Webサイト、SNS等のインターネットが主な入手経路であった。昨シーズンに比べ、友人・知人・家族などからの口コミが弱くなっている。

集計対象:全回答者(2019 n=5,805/2018 n=5,166) ※複数回答



チームアイデンティフィケーション

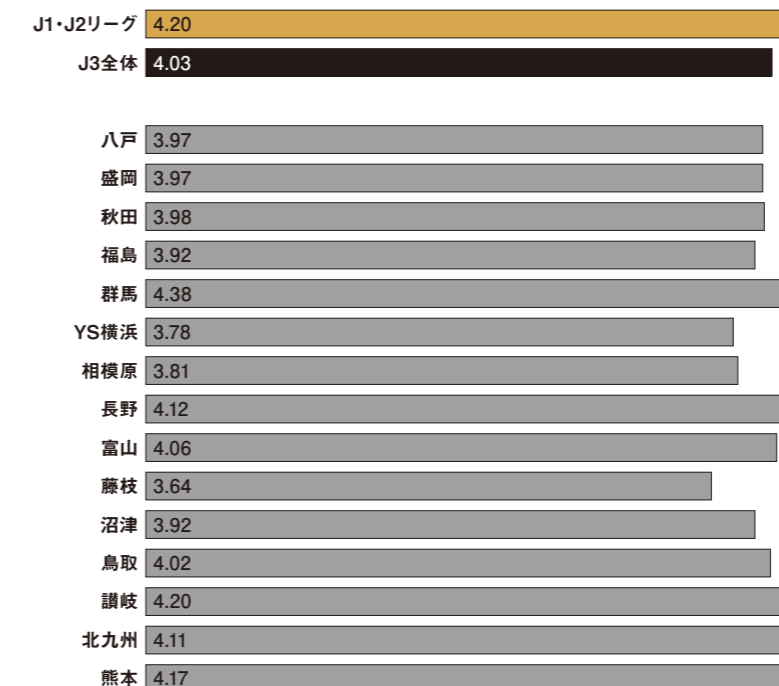
J3観戦者のチームアイデンティフィケーションは、平均で4.03(5点満点)であり、J1・J2観戦者(平均4.20)よりも弱い傾向がみられる。群馬(4.38)が高い傾向、藤枝(3.64)が低い傾向がみられる。

集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,467)

情報入手経路(クラブ別)

集計対象:ホームクラブ応援者(n=4,806) ※複数回答

クラブ	インターネット	テレビ	新聞(一般紙)	友人・知人・家族	サッカー雑誌	スポーツ新聞	クラブの会報	チラシ・パンフレット等の配布物	マッチデープログラム	ポスター	ラジオ	一般の雑誌	街頭ビジョン	その他
八戸	72.0	32.9	40.5	14.0	10.7									
盛岡	91.1	29.1	25.8	16.9	11.7									
秋田	82.7	36.3	35.2	11.3	10.4									
福島	87.9	34.8	32.4	14.6	13.8									
群馬	85.3	34.3	25.9	15.3	12.7									
YS横浜	83.0	43.3	15.6	12.1	9.2									
相模原	90.2	20.3	10.5	10.5	6.9									
長野	86.9	41.9	40.3	12.3	8.1									
富山	81.1	34.4	23.0	20.5	13.6									
藤枝	83.3	35.2	28.8	15.9	12.1									
沼津	83.6	27.2	21.6	15.4	9.0									
鳥取	82.5	38.4	34.7	13.7	11.3									
讃岐	91.4	31.3	31.0	11.9	10.0									
北九州	88.6	27.3	22.6	10.1	9.4									
熊本	90.1	38.6	34.1	11.9	10.9									





付録 Appendix

スタジアム観戦者調査2019 調査票  
(リーグ共通項目抜粋)

アンケート調査へのご協力をお願い

このアンケートは、今後のリーグの試合およびクラブの運営を検討するための情報を収集することを目的に、本日、リーグをご観戦の皆様を対象として実施しております。ご回答は匿名でいただきます。すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた情報に個人を特定することはできません。

以上の主旨をご理解いただき、早速ご回答とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。  
(公社)日本プロサッカーリーグ クラブ系○○○○○○○

以下に回答をご記入ください

1) 性別 1. 男性 2. 女性

2) 年齢 ( )歳

3) お住まい ( )都・道・府・県 ( )市・区・町・村

4) ご家族 1. 独身 2. 既婚 一お子さんは 1. いない 2. いる ( )歳 ※一歳下のお子さんの年齢をご記入ください

5) 昨年のスタジアム観戦回数 ※J1リーグ観戦/クラブ観戦 ※J2、J3はリーグ観戦のみ

6) あなたは(ホームクラブ名)のファンですか。もし、そうであれば、応援して何年目ですか

7) スタジアムまでの所要時間(片道)および交通手段

8) スタジアムまでの所要時間(片道)および交通手段

9) 今日合計何人でお来りですか

10) 「リーグ」の情報は、主にどこから入手していますか(いくつでも)

11) 本日の観戦のチケットについて

12) リーグの試合のテレビ放送について

13) よく見るサッカー(ニュース)番組(いくつでも)

14) リーグスポンサー・パートナーについて

15) 1ヶ月の自由裁量所得(おこづかい)

16) リーグの試合をスタジアムで観戦、観戦するようになった、どのくらいがたりますか

17) リーグ観戦に周囲の人を誘いますか

18) 周囲の人からリーグ観戦を誘われますか

19) スタジアムで会う応援仲間

20) ネット上で交流する応援仲間

Q2. あなたは、以下の意見をどのように思いますか。

Q3. あなたは、以下について、どの程度あてはまりますか。

Jリーグ スタジアム観戦者調査2019 サマリーレポート

J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2019 SUMMARY REPORT

発行日 2020年1月31日  
 発行人 村井 満  
 発行所 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)  
 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階  
 www.jleague.jp/  
 監修 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)  
 筑波大学体育系准教授  
 仲澤 眞  
 協力 Jリーグ55クラブ  
 写真 Jリーグ  
 制作・編集 株式会社電通  
 (編集協力:株式会社スケール)

